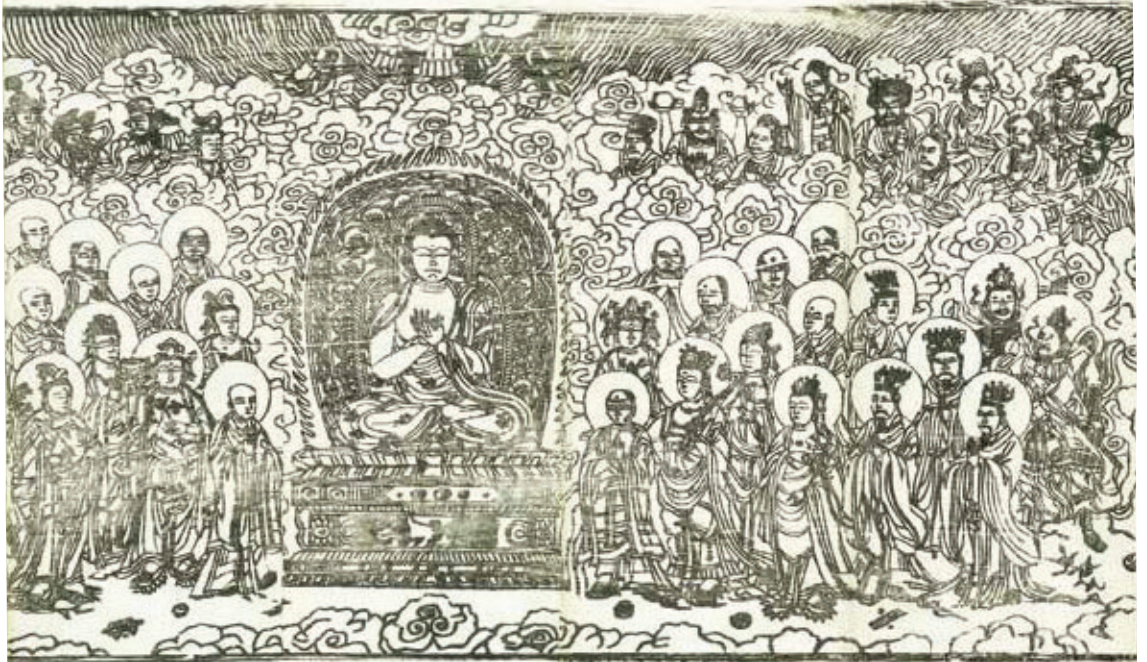


CNEAS

# 清初刊教派系宝卷二種の原典と解題

— 『普覆週流五十三参宝卷』 と  
『姚秦三蔵西天取清解論』 —

磯 部 彰 編



東北アジア研究センター叢書 第40号

# 清初刊教派系宝卷二種の原典と解題

— 『普覆週流五十三参宝卷』 と  
『姚秦三蔵西天取清解論』 —

磯 部 彰 編

東北アジア研究センター研究ユニット  
「東アジア出版文化国際研究拠点の形成」研究成果  
東アジア善本叢刊 第10集

---

東北アジア研究センター叢書 第40号

---

東北大学東北アジア研究センター

---

Copyright © 2010 by Center for Northeast Asian Studies, Tohoku University

Kawauchi41, Aoba-ku, Sendai, 980-8576 Japan

All rights reserved

<http://www.cneas.tohoku.ac.jp/>

---

## 清初刊教派系宝卷二種の原典と解題

—『普覆週流五十三参宝卷』と『姚秦三蔵西天取清解論』—

磯 部 彰

### 目 次

#### 〔 研 究 〕

- (一) 教派系宝卷2種の影印に際して ..... [1]
- (二) 『普覆週流五十三参宝卷』 解題 ..... [3]
- (三) 『姚秦三蔵西天取清解論』 解題 ..... [8]

#### 〔資料本体〕

- (例言) ..... 1
- (目次) ..... 2
- (『普覆週流五十三参宝卷』・『姚秦三蔵西天取清解論』 カラー口絵) ..... 3
- (原典) 『普覆週流五十三参宝卷』 ..... 11 ~ 389
- (原典) 『姚秦三蔵西天取清解論』 ..... 391 ~ 436

## 清初刊教派系宝卷二種の原典と解題 — 『普覆週流五十三参宝卷』と『姚秦三蔵西天取清解論』 —

### (1) 教派系宝卷2種の影印に際して

中国近世以降、郷村社会は様々な方法で維持されて来た。官僚機構や地主・佃戸という政治経済的な体制による支配方法もその一つである。これは、社会秩序を国家権力を背景とした上からの力で維持して来た。これに対し、村民相互の交流や意識の共有といった精神活動は、郷村社会内部から外へ向かって発信され、社会秩序を維持する方向に動いた。例えば、宗教を通して人心の結合意識の確認は大切な行為で、寺廟や宗廟で行なわれる祭祀演劇、宗教奉仕活動などは、社を中心とした郷村社会での重要な活動であった。しかし、民国以降、郷村の村民が行なって来た精神文化の多くが、非近代的・迷信という名のもとに放棄を強制され、破壊されて来た。とりわけ、人心が乱れ、家族単位自体の安定性を失いつつあった文化大革命期に顕著に現われた。ところが、文革が終わり社会の再編が始まる中に、急速な近代化と資本主義的要素が郷村に浸透しはじめると、体制の変革は郷村社会の人々に新たな動揺をもたらし、再びかつての精神的支柱であった祭祀演劇や宗教活動の復活、或は寺廟の再建などが呼応するかのようにならされた。それらは、一見民国以前と同じ様相を呈するが、内実では旧代とは多少様相が異なる。ところが、近世以降、郷村住民の生活の中に発生しその精神生活を支えて来た宝卷を扱う宣卷活動は、途絶えることなく今日に到り、なお婦女子を中心に行なわれ、節季ごと、種々の題名の宝卷が、仮りにしつらえられた祭壇に祀られた様々な神々の神牌の前で演唱されている。民国初に滅んだということが定説であった宝卷は、なお存在意義を持った。

では、民国初期に、迷信追放、欧米文化の輸入などのもとの存在が絶えたはずの大衆仏教の宝卷が、いかなる理由と状況下において生き延び、しかも急速な市場経済が進行する郷村社会に再びその姿を見せ始めたのであろうか。

かつて、教義を主体とする宝卷は、郷村社会の僧尼が、仏典に似せて作った教派色の強い、しかも文理が整わぬ内容であった。やがて、中国の小説や戯曲の故事を取り入れ、老若男女にも理解し得る内容に取って代られ、故事系宝卷が盛行していった。この背景には、清

朝中期頃から郷村社会内で自律的な動きを見せる宝卷所有教団は、教匪と見なされ、徹底的な弾圧を受けて来たからであろう。にもかかわらず、宝卷そのものは、時には信仰とともに地下にもぐって生き延びて今日に及ぶ。今日でも、人民政府も、宝卷は新しい「教匪」の経典として、その出版や研究に監視の眼を光らせている。そのような歴史的な流れにあって、従来、その存在が疑問視された宝卷とその宣卷事業が、江浙地方の郷村はもちろん、遥か甘陝方面にまで派及し、地方劇や語り物とは一味違う形で伝承され、今日なお住民の日常生活に影響を与えていることは、文化史からも、文学・宗教史からも注目すべきであろう。その宝卷の中国社会に果たした役割を考える時、宝卷源流としての教派系宝卷の調査・分析、及び社会との関わりを明らかにすることは、必須の事項であり、後の故事系宝卷を含めた宝卷全体の文化史的役割を明らかにすることによって、中国の大多数を占める郷村社会の構造の一端を窺い知ることが出来るという点で重要である。

従来の宝卷研究において、その基本とも言うべき宝卷の版本そのものの研究は欠落していた。それは、教派系宝卷が抱える本質的な問題と密接な関係がある。つまり、「教匪」の中核と見られていた経義を宝卷が媒介していたからに他ならない。それゆえ、禁書の波をもろに被ることになり、伝存が乏しい状況を迎えたのである。そのため、教派系宝卷を研究する中でかつて存在した旧宝卷類の原本を搜集し、近世中国社会を探る資料の一つとして影印刊行することは、宝卷研究と併せて大切なことであろう。今回、研究調査の過程で発見した二種の教派系宝卷を資料公開のため、影印の形で出版する。黄天道系の民間宗教を研究する資料ばかりではなく、清初の出版文化研究の資料ともなり得るものである。以下に、その2宝卷の概要を紹介する。

## (2) 『普覆週流五十三参宝卷』 解題

五十三参宝卷は、従来の研究史では知られていなかった教派系宝卷で、『破邪詳弁』（注1）にも言及がない。

本宝卷は清の康熙32年（1693）、北京にあった経舗の一軒、党家で印出された、現存する唯一の刊本である。書誌は、以下の通りである。

表の表紙は雲龍をあしらった錦織絹布で装幀される。中央に題簽があり、金字で「普覆週流五十三参宝卷」と鈔写される。折本三帖。全長縦38.5cm×横12.8cm。匡郭内天地26.9cm、一紙幅66.5cm。半帖4行・行15字、天地双辺。見返しは、如来を中心に諸菩薩・護法神を描く説法図が置かれ、その後半帖ごとに蓮牌木記「皇圖永固 帝道遐昌／佛日增輝 法輪常轉」「皇帝萬歲萬萬歲」「御製／六合清寧 七政順序 雨暘時若 萬物阜豊／億兆康和 九幽融朗 均躋壽域 溥種福田／上善攸閑臻 障碍消釋 家崇忠孝 人樂慈良／官清政平 訟簡刑措 化行俗美 泰道咸亨／凡序有生 俱成佛果」と記した蓮牌を順次3牌置き、その後、經典本文に入る。

卷上の経首題・経末尾題名は、

「普覆週天五十三参宝卷上」

「上卷終」

卷中の経首題・尾題はそれぞれ、

「普覆週天五十三参宝卷中」

「普覆週流五十三参宝卷中」

卷下の経首題は、

「普覆週流五十三参宝卷下」

とし、尾題はなく、本宝卷刊行の経緯、刊年、そして空刻の蓮牌があり、空欄に「請竹林寺薛師傳壹套三冊」という墨書がある。そして、最後は韋馱天尊像になっているのは、大蔵経や他の教派系宝卷と共通する。

「週天」「週流」と混記するが、一紙の右端に「週流中」「週流下」の刻記があることや、本文の用例から見て経名としては、「週流」の文字が相対的に良いようである。

経文の空白部分には、宝珠類の紋様が刻まれる。かつて、本帖装の装幀と同じ龍紋布の

---

（注1） 沢田瑞穂氏『校註破邪詳弁』（道教刊行会、1972年）に拠る。

経帙に収められていたが、時代の経過による汚損がはなはだしいため、現蔵者によって経帙は廃棄された。

五十三参宝卷は、教義説法を主体とした教派系宝卷に属し、在俗の信者を救済し解脱させることを信条にしている。教派系宝卷によく見られるように、文面は読書人が読むような整ったものではなく、宗教的情熱で体得するような粗雑な内容から成る。全体を通して、次のような5つの方面から成るように見える。

- (1) 善男信女が生を送る塵俗の世の有様について
- (2) 俗世に沈淪する善男信女の本来の姿について
- (3) 解脱のために在俗側から行なうべき発願と修行の方法について
- (4) 善男信女を受け容れる仙仏側から差し伸ばされる方便や教義について
- (5) 宝卷の宣卷を媒介として行なわれる善男信女の還郷と結果としての済度

まず、第一段階の俗塵の世の有様については、経文では在家信者の境遇を苦難の連続と捉え、長くその身を置く場所ではないとくり返し説くものの、一般的な言葉、単純な表現で終始する。おそらく、当時の教派系宝卷の主體的受容層、つまり主な説法の対象者を想定するならば、下層に属した者が主力をなしていただろうから、あえて日常生活の苦勞を説くまでもなく、むしろ、現実の俗塵に身を置く者はすべて「失郷」人と見なし、その失郷人には永久に沈淪する者と超塵し得る者との区別が存在すると規定し、在家人の心構えのあり方につなげる。そして、沈淪と超塵の分岐点を、黄天道・円頓教との出会いがあるか否かに定める。黄天道・円頓教に有縁の人は、発願して家郷へ帰ることを求めれば、善男信女として救済の機会を持ち得るとする。しかし、同じ失郷人でも、俗世の慾にかられる頑迷で昏盲な愚人は、六根が穢れているため、発願の契機を持ち得ないと言う。つまり、失郷人が極楽家郷へ行くに際して、黄天道・円頓教に帰依するか否かでその選別がなされる、と暗に示すのである。

では、「失郷人」とは本来どのような存在であり、いかなる結果から「失郷」せし者となったのか。これは、本経教義の中核の一つをなす点で注視すべきもので、実際、本文中ではくり返し呈示される。

人間は、もともと、無始より本来の面は清浄であり、靈光を持つ真性、仏性の存在であった。その真性は、本経では明珠、無価宝珠にたとえられる。その仏性（真性とも、真の仏性とも言う）は、既に備わるものであるので、修行などの作為では得ることが出来ないものである。しかしながら、縁がなければ、人がみな持つはずの無価宝珠には出会いがたい、



と言う。経文では、仏性・無価宝珠を人間に対し客観的に対峙させているが、要は、個人の内面の仏性に気づかないということである。仏性、真性とは別に「本性」という語句も持ち出し、本性は（古）弥陀と規定し、失郷子は男女の区別はなく、真僧であったとも言う。おそらく、人間の真性を客観物とすれば無価宝珠、つきつめれば古弥陀であったのが、真性のけがれで靈光を失い、現世に浮遊して家郷を失った存在である、ということであろう。

では、善男信女は、いかなる方法を探れば還郷、つまり原位に身を置くことが出来るようになるのか。

在俗の信者、つまり脩行人（有縁の人、賢良とも、善男信女などとも呼ぶ）は、正念を持って救済（還郷を得る）を信じ、大道が目前にあることを自覚するために、もろもろの邪教傍門を信じず、偶像崇拜をやめ、有字経たる経五千四十八巻を読誦することなく、天地の運行（功）に従う。そして、心清く意浄くして蓮台たる蘊空に置き、本来持つ真性、無価宝珠から発する靈光の輝きを取り戻すため、無為法に拠って先天の一炁、真精炁を採取し、空懸の無字経を読誦して金剛の身となる煅煉を積み、明心見性を得れば、真の禪入定をし、再び光に包まれ、真空を悟ることとなる、と説かれる。

一方、善男信女を救済する側について、五十三参宝巻では、いかなる救済の方便が設定されるのであろうか。つまり、救済される者がまず目指すべきは、情実などを認めない黄天聖道という無上の仏道へ入る清浄の門であり、その無縫の門をくぐり、内側に設けられた一乘円頓教に行き着くことこそが、三世諸仏の言う正門に入ることにほかならない。簡単に言えば、黄天道円頓教に帰依せよ、ということである。従って、在家信者の救済に向けて記される方便こそ、黄天道円頓教の教義ということになる。ここに、本経が、教派系宝巻であることが如実に示される。

宝巻名を『普覆週流五十三参宝巻』とするのは、黄天道の教義を発展的に吸収した円頓教の教義の一部と、宝巻構成の依拠した仏典を示すものであろう。「普覆」とは、無字経たる転法輪が、昼夜を問わず普く乾坤を大光明で覆いつくす、という意味である。「週流」とは、「普覆」の結果、天地の運行が循環して、八卦が週り<sup>めぐ</sup>流れて行き渡るという意味である。「五十三参」は、『華嚴経』にある善財童子が五十三所の賢者菩薩を訪れて悟りを得たように、無字経とは言いつつも、黄天道の教義を方便として「五十三」に分け、有字経体を取り、それぞれの分品によって善男信女が円頓教に参ずれば、すぐにも解脱への道に入れるように間口を拡げる、といった意を込めたのであろう。

教派系宝卷の内容や構成は、沢田瑞穂氏が指摘するように、論理一貫したものとはいえない。今日なお、それらは文献学的検証を経ているとは言えず、誤刻・誤写などといった外的状況もあろうが、やはり原刻（原作）段階から、伝統的な読書人からすれば、読むに耐えない内容であったのであろう。康熙年間の刊行でありながら、「妙理玄玄」「無為法甚深妙玄」（巻中）と「玄」字を憚らない点は、書く方も書く方であるが、出す方も出す方で、その無頓着な感覚が教派系宝卷の自滅を招いたことを象徴するのではなかろうか。

次に、沢田瑞穂氏のすぐれた研究（注2）に拠り、黄天道について概観してみよう。

黄天道の教祖李賓は弥勒仏の化身で、号は普明金光仏、万全県の人であり、のちに膳房堡に居住したと言われる。妻は普光婦聖仏の化身、三人の娘は、長女が普浄古仏、次女が普賢古仏、三女が円通古仏のそれぞれの化身であり、清末の光緒頃、万全県の膳房堡で黄天道の遊行僧志明が普明仏李賓の墓碑を発見するに到ったと言われる。李世瑜氏が紹介した万全県の李賓の墓碑を主とする黄天道教祖伝説を、沢田瑞穂氏は、『虎眼禅師遺留唱経巻』の康熙31年李蔚序及び『衆喜粗言宝巻』から、塞北の普明仏・普明寺伝承事蹟を分析し、信頼し得る部分があるとした。しかし、普明一家五人は、普明以後の法燈を相続した祖師関係を示すもので、下四俗祖の七祖李普明、八祖王普光、九祖鄭普静、十祖汪普善と数える内の、普光は王普光に、鄭普静は長女普浄古仏に該当し、黄天道の流派に円頓教をうたった。次女の普賢古仏は、汪普善に当たり、崇禎年間には教派名を円頓教と称していたらしい。三女円通は、円頓のことで、架空の祖師か普善の可能性が指摘される。普明祖・普光祖・普静祖の活動地域が、明後期から末期の宣化府方面であった。普明祖の五代目の子孫がなお万全県に残っていたことは、五十三参宝巻との関係で記憶に留めよう。

さて、黄天道の教祖相承の祖師名を見ると、『観虚空蔵菩薩経』等に記される過去五十三仏名の一部と一致する。しかも、五十三参宝巻が華嚴五十三参に記される善知識名を採らず、むしろ過去五十三仏名を撰取して構成されたことは、黄天道の教祖普明仏こと、李賓の代から教義の根底に五十三仏を利用していたことは間違いない。また、初期（明・嘉靖期）の黄天道創成期から円頓教へ転化する清初あたりまで、仏教の経典が教義の確立に利用されていたことが推測されるのである。五十三参宝巻の編者第十九会孫祖が、宣府の孫家庄で活動し、康熙32年に本宝巻を刊行したことと、前掲の普明祖李賓の五代裔李

---

（注2） 沢田瑞穂氏「初期の黄天道」（『増補宝巻の研究』、国書刊行会、1975年）

蔚が万全県に居て、黄天道の宝巻に序文を寄せていることと即応させれば、清初にあって宣化府が黄天道の聖地であり、この地で一定の教団を整えたことが推測される。しかも、黄天道とは、既に失郷人を救済する方便の名称で、第十九代祖師に居た孫祖なる教祖が率いる教団は、円頓教を宗派名としていたと見られる。同時に、祖師の一人普静祖の流れをくむ分派があり、黄天道円頓教派からは異端視されていた点（注3）も判明する。

五十三参宝巻は、宝巻巻尾に付刻される「縁起」文によって、康熙32年に北京城内の経舗で刊行されたことがわかる。第十九会孫師が得道した折、善才が化現して、多宝仏が唱経一部二冊を下したことが契機となったと跋文にはある。唱経一部二冊と五十三参宝巻一部三冊との関係はよくわからないが、黄天道開祖以来、教団の祖師に「明心見性」して就任した折、その証として、自ら宝巻を作ることが求められていたことから、五十三参宝巻が製作されたとも考えられる（注4）。

教派系宝巻は、羅祖の五部六冊以来、『西遊記』とも関係を持つ。本宝巻にも、巻上「金剛牢強普散金光如来分第十二」に、

「南方丙丁朱八戒 北方壬癸小嬰童  
東方甲木孫行者 西方白馬駝真經  
唐僧非在西天取 内有三藏無字經」

とある。また、二十七分にも「孫悟空」の名を出す。

なお、本宝巻に見られる五十三仏について、同治7年に追善供養のために出版された湧泉禪寺蔵板の『礼八十八仏洪名宝懺』には、「観薬王薬上二菩薩経云」として薬上菩薩が過去五十三仏名を告げる場面がある。『礼八十八仏洪名宝懺』は宝巻ではなく、一種の仏典のような懺文であるが、清初以来五十三仏の信仰が民間で信仰されていたことを窺うものである。

---

〔注3〕 五十三参宝巻「普静如来分第三」

〔注4〕 磯部彰「『普覆週流五十三参宝巻』に見る明末清初期の教派系宝巻の出版について」（『東アジア出版文化研究にわたり』、二玄社、2004年）、同「明末清初教派系宝巻の版本について」（『東北アジア研究』第7号、2003年）

### (3) 『姚秦三蔵西天取清解論』 解題

明代に多く登場した教派系宝卷は、大蔵経や道蔵の体裁を模倣し、折帖本形式が目立つ。内容はともかくとして、宝卷を製作する側も護持する側も、意識としては仏典に優るとも劣らぬ気持ちで接していたのであろう。清代初期に到っても、その体裁に変化はなかった。

ここに紹介する『姚秦三蔵西天取清解論』は、伝本が少ないこともあって、あまり知られない無為経系の宝卷である。沢田瑞穂氏は、取清解論を羅什訳『金剛般若経』の解論で、羅祖門の作であろうと推定している（注5）。無為教系統の『金剛般若経』の解論か否かについては、この方面での知識が乏しい筆者としては、ひとまず議論はさけるが、無為教系の宝卷であることは確かであろう。車錫倫氏『中国宝卷総目』（注6）のNo. 1413『姚秦三蔵西天取清解論』項では、その伝本について、

- (1) 明萬曆十年（1582）重刊折本一冊
- (2) 萬曆十三年（1585）刊本一冊
- (3) 萬曆壬子四十年（1612）校証・乙酉（清順治二年 1645）重刊一冊
- (4) 清康熙三十六年（1697）重刊折本一冊
- (5) 清初刊本一冊
- (6) 清初刊本一冊
- (7) 清姑蘇徐涵輝刊本一冊

の七種を挙げている。ここで紹介する版本は、第（3）萬曆壬子孟秋校証乙酉年重刊本に該当する版本である。順治刊本であるゆえ、「玄」字に欠筆はない。経帖装の折本で、表紙は黄緑色の蔓紋様入りの絹表装となっている。紺色の書題簽には墨で「姚秦三蔵西天取清解論」と記す。全長縦 36.0 cm × 横 13.4 cm、1 帖、天地匡郭内 28 cm × 13.4 cm。巻頭に如来図、蓮牌、そして本文となる。巻尾に「萬曆壬子孟秋校証乙酉年重刊」と記し、最後に韋馱天像を置く。

本文は、「奉請法王今在一会、合掌酬拜、上告世尊礼白仏言、…」と仏典の形式を模倣するが、所謂教派宝卷に属するものである。冒頭は、論講以前には仏法も天地もなく、上下がただ一個の玄虚空であったと説き、その太虚空から大光が発せられて我が仏が湧き

---

（注5） 沢田瑞穂氏校注『校注破邪詳弁』（道教刊行会、1972年）巻二「姚秦三蔵西天取清解論」（P56）

（注6） 車錫倫氏編『中国宝卷総目』（中央研究院中国文哲研究所籌備処 1998年、北京燕山出版社本 No.1412）

出でたと言う。

大虚空 發大光 安立世界  
半空中 光明顯 我仏出身  
一段光 涌出来 不分南北

そして、清気が上に上って天となり、濁気が下って地となったという天地開闢伝説を続ける。その後、老古仏は衆生が迷悶して還郷出来ないのを気につけ、仏祖真空に救済を依頼すると説く。

老古仏 毎日家 心中盼望  
想衆生 迷了家 不得還郷  
幾番家 稍書信 千万囑咐  
上写着 分明説 仏祖真空  
看罷書 心痛切 両眼垂涙……

或は

自今番 纔曉的 佛是真空  
普天下 人念仏 不知理義  
透不着 真祖意 知根達本  
若得知 佛祖意 知根達本  
不用你 閑啣氣 自然神通……

念仏をしても真祖の意を体得しなければなにもならず、仏祖の意をさとって根本を知れば、自然と了悟する、と説く。「論五」葉と「論六」葉との間に、『破邪詳弁』巻二で引用される一文がある。また、文中に見られる「太虚空」「大光」「仏祖真空」などの語句、或いは

全容易 不慣想 真空顕現  
有当人 為正主 就是真經  
這真經 臨危時 無仏無祖  
無昼夜 放光明 本体無生  
無生体 無辺表 諸仏聚会  
堅固身 無営転 自古常存  
古家郷 真聖境 光明不断……

などと言う箇所は、浅井紀氏が羅祖の五部六冊のうち、『苦功悟道卷』を主とした羅祖の「悟り」(注7)における分析内容を想起せしめるものである。羅祖が浄土信仰を出発点として、

『金剛科儀』に説かれる『金剛般若経』の空の思想の影響を受けているという浅井氏の指摘は（注8）、『姚秦三蔵西天取清解論』が鳩摩羅什の『金剛般若経』の解論であるとする沢田瑞穂氏の見解を間接的ながらも補強するものかも知れない。「解論」講説については、本文中に幾箇所か登場、その中で「解論」の性格が示される。

上告世尊礼白仏言、本六字是真、四字是真、世尊答曰、解論講説、無字是真、有自是仮、六字仏是誘引法門、四字仏亦是誘引法門、五千四十八卷、為教化門路、求食之法…

この箇所の子尊が「無字是真」云々と答える部分は、『西遊記』第九十八回で、西天へ到着した唐三蔵に無字の教典を与えて、「白本者、乃無字真経、倒也是好的。」と、これも真経と説く場面を連想させる。『西遊記』にも、無為教の影響があったことを窺わせる場面ではある。「無字真経」は後文で、その功用が強く説かれる。

羅祖の五部六冊が登場した明代中期、沢田瑞穂氏は道人と呼ばれる半職業人による家庭内での宣卷もあったと指摘し、宗教文学たる宝卷は、「庶民大衆の信仰生活」を知る上での重要な資料と見ている（注9）。教派宝卷の護持と密接な関係にある宗教のうち、白蓮教系の宗教組織は元末明初より、明代中期、末期に大規模な反乱をくり返した。鈴木中正氏は、宗教反乱は、土着の宗教結社員と流寇性の強い武力派分子との結合の上に行われたと見られる（注10）。従って、教派宝卷は、ある段階で武力派流寇集団の背後を支えることになった。しかし、宗教派と武力派という二元的勢力の矛盾をかかえる反乱軍では、宝卷の役割も限界があり、民生の破壊によって、宗教派とともに宝卷も組織から除外されていったのであろう。西北の酒泉地方に残る宝卷は、故事系宝卷以外、教派系宝卷もあったか否かは不明であるが、敦煌変文の直系に生成したもの（注11）ではなく、明清代に辺塞に配された軍人、或は入植の小農民、或は行商人、流民、行脚僧などによって伝えられ

---

（注7）浅井紀氏『明清時代民間宗教結社の研究』（研文出版、1990年）第一章「羅教の成立」第二節

（注8）同上 P33

（注9）沢田瑞穂氏『増補宝卷の研究』（国書刊行会、1975年）第一部「宝卷序説」第十章「宝卷の普及一宣卷」P82、97など。

（注10）鈴木中正氏『中国史における革命と宗教』（東京大学出版会、1974年）第六章・第七章

（注11）『酒泉宝卷』（上編）（甘肅人民出版社、1991年）「前言」

たものではないか。宝卷は、社会秩序が小康を保っていたときには、基本的には食の一応足った農民たちの宗教教義の証であり、明日の命もおぼつかない流民のためのものではなかったに違いない。

浅井氏は、羅祖の「無為法」は、非エリートたる「庶民大衆」を主たる対象とした教義と見られている（注12）。羅祖自身は、代々軍籍に身をおいた運糧軍人と言われ、遊牧民的存在であったが、無為教の信者たちは必ずしも流浪の民ではなかったと思われる。酒井忠夫氏は、羅祖の出身から、無為教が漕運に従事した軍人、そして水手の集団に浸透していった可能性を指摘して、清初の糧船水手グループに羅教結社があったことへの説明としている。また、劉天緒の結社の構成員が、庸流下賤の徒・菜傭踏麵人と衛軍軍人であったと指摘した（注13）。しかし、定職があるとしても、浮遊する状況に常に直面する可能性を持つ階層の下層大衆が宗教基盤であったことには変わりがなく、受容者たる信者たちは、明中期悪化を重ねる王朝紀綱のもとに、表面的には一時的に安定したように見える生活とは裏腹に、その内心は、本宝卷にも説かれるような「在苦海 生死転 不得還郷」の民、つまり、心の遊民、心の「浮浪者」に置かれていた。宣卷の人は、遊行の徒である場合も多いことから、定まらぬ人生の行末を説くには長じていたことであろう。『姚秦三蔵西天取清解論』も、無為教を説く宣卷人によって、心の還郷を求める農民に説かれたのであろう。もちろん、『破邪詳弁』序に弘陽教の経巻が大蔵経の経巻と装丁の面で少しも遜色がないと言うこと、或いは、「遊食僧道」が都で盛んに布教活動をしていたこと、弘陽経巻の刊記に内監の助力を得たと明記することなど（注14）から、地主や宦官などもその支持者であったであろう。この点は、明末清初の教派系宝卷が北京城内で開板されたことでも裏付けられる。

最後に、『姚秦三蔵西天取清解論』に記される姚秦三蔵とは、如何なる高僧を指すのかという点に言及して、結びとしよう。

姚秦とは、五胡十六国の一国、後秦（384～417）王朝を指し、羌族の姚萇が建国したので姚秦とも呼ばれる。第二代姚興は、仏教に傾倒し、国師の礼をもって鳩摩羅什を迎えた。鳩摩羅什は、長安に留まって多くの経巻を訳出した（『晋書』卷九十五「鳩摩羅什」、『広

---

〔注12〕（注7）浅井氏著書 P47

〔注13〕酒井忠夫氏『中国善書の研究』（国書刊行会、1972年）第七章 P470 - P475

〔注14〕馬西沙氏『清代八卦教』（中国人民大学出版社、1989年）P31 - P32

弘明集』卷二十三「鳩摩羅什法師誄并序」)。従って、一般的には鳩摩羅什を姚秦三蔵と呼ぶ。再雕本高麗蔵『妙法蓮華経』(増上寺蔵)には、「後秦亀茲三蔵法師鳩摩羅什奉詔訳」とあり、大正蔵『仏説仁王般若波羅蜜経』(245)には「姚秦三蔵鳩摩羅什訳」とあり、『金剛般若波羅蜜経』(235)及び『摩訶般若波羅蜜大明呪』(250)には「姚秦天竺三蔵鳩摩羅什訳」と表記される。その一方で、銀眼蔵(黄檗版)の『四分律蔵』には、「姚秦三蔵仏陀耶舎共竺仏念訳」と言う表記もある。つまり、姚秦三蔵とは、必ずしも特定の高僧に限るものではないことは、唐三蔵と同じである。しかし、唐三蔵の場合でも同様であるが、その時代の最も著名な僧の名前代わりに使われる場合も多い。明代の宝巻に用いられているという状況を考えると、ここで使われる姚秦三蔵とは、旧仏教を代表する鳩摩羅什のこととして良いと思われる。羅祖が『金剛般若経』に見られる空の思想の影響を受けたといわれることから、それは同意されるであろう(注15)。

---

(注15) 小稿は、かつて、平成10・11年度科学研究費「中国小説・戯曲の発展史における遊民の役割に関する研究」(10044002)成果報告書(平成12年2月)で公表した研究成果・資料をもとに、平成19～21年度日本学術振興会アジア・アフリカ学術基盤形成事業(AAP)の共同研究によって継続発展させた成果である。





東アジア善本叢刊第10集

清初刊教派系宝卷二種の原典と解題  
— 『普覆週流五十三参宝卷』と『姚秦三蔵西天取清解論』 —  
(東北アジア研究センター叢書 第40号)

---

2010年 2月25日発行 非売品

編集者 磯部 彰

発行者 東北大学東北アジア研究センター  
〒980-8576 仙台市青葉区川内41

印刷 笹氣出版印刷株式会社  
〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8-45

---

ISBN 978-4-901449-66-3

清初刊教派系宝卷二種の原典と解題

磯部 彰 編

— 『普覆週流五十二參宝卷』と『姚秦三藏西天取清解論』 —

## 例 言

- 一 本書は個人蔵の清初刊本である、『普覆週流五十三参宝卷』（康熙32年刊）三帖及び『姚秦三蔵西天取清解論』（順治2年刊）一帖を研究資料として影印したものである。
- 二 2種の宝卷原典は大型の折帖本であるため、縮印して影印した（縮尺率60%）。また、一折の両面、具体的には二折分を1頁に収めたが、折目（山折の部分）は線装本の複製とは異なり、特別な処理は施さず、閲覧状況そのままにした。
- 三 2種の教派系宝卷には解題を加えた他、原本の趣きを伝えるために、若干のカラー書影を添えた。
- 四 検索の別便を図るため、『普覆週流五十三参宝卷』は、分目を目次として加えている。
- 五 本書は、東北大学東北アジア研究センターの研究ユニット、及び日本学術振興会アジア・アフリカ術基盤形成事業での研究成果であり、かつ特別推進研究の研究の一環でもある。
- 六 本書は、東アジア出版文化研究以来継続して来た「東アジア善本叢刊」シリーズの第10集とする。当該宝卷を善本とするかは見解が分れようが、稀覯本という観点から善本シリーズに組み込んである。

# 目次

## 『普覆週流五十三參寶卷』(本体)

### 開經偈

### 卷上

普光如來分第一	17
普明如來分第二	32
普靜如來分第三	40
多摩羅跋旃檀香如來分第四	45
旃檀光如來分第五	51
牟尼幢如來分第六	57
歡喜藏牟尼寶積如來分第七	62
一切間樂見上大精進如來分第八	68
牟尼幢燈光如來分第九	74
慧炬照如來分第十	79
海德光明如來分第十一	85
金剛牢強普散金光如來分第十二	91
大強精進勇猛如來分第十三	96
大悲光如來分第十四	101
慈力王如來分第十五	107
慈藏如來分第十六	112
旃檀窟莊嚴勝如來分第十七	118
賢善首如來分第十八	124
善意如來分第十九	130
廣莊嚴王如來分第二十	138
金華光如來分第二十一	143
寶蓋照空自在力王如來分第二十二	151
虛空寶華光如來分第二十三	158
琉璃莊嚴王如來分第二十四	165
普現色身光如來分第二十五	171
不動智光如來分第二十六	178
降伏衆魔王如來分第二十七	184

### 卷下

## 『姚秦三藏西天取清解論』(本体)

才光明如來分第二十八	192
智慧勝如來分第二十九	184
弥勒仙光如來分第三十	178
善寂月音妙尊智王如來分第三十一	171
世淨光如來分第三十二	165
龍種上尊王如來分第三十三	158
日月光如來分第三十四	151
日月珠光如來分第三十五	143
慧幢勝王如來分第三十六	138
獅子吼自在力王如來分第三十七	130
妙音勝如來分第三十八	124
常光幢如來分第三十九	118
觀世燈如來分第四十	112
慧威燈王如來分第四十一	107
法勝王如來分第四十二	101
須弥光如來分第四十三	96
須摩那華光如來分第四十四	91
優曇鉢羅華殊勝王如來分第四十五	85
大慧力王如來分第四十六	79
阿閼毘歡喜光如來分第四十七	74
無量音聲王如來分第四十八	68
才光如來分第四十九	62
金海光如來分第五十	57
山海慧自在通王如來分第五十一	51
大通光如來分第五十二	45
一切法常滿王如來分第五十三	40
多宝如來分第五十四	32



卷上帖表紙



『普覆週流五十三參寶卷』旧帙表面(残)



卷中裏表紙



卷中帖表紙



卷下帖末韋馱天像



卷下帖表紙

普覆週天五十三叅寶卷中

善意如來分第十九

說善意如來天地為善是時日月燈明  
佛說大乘經名無量意教化一切衆  
生入於無量意處三昧身心不動如  
禪入定一心觀佛一名有意二名善  
意三名無量意四名寶意五名增意  
六名除疑意七名響意八名法意發



普覆週流五十三叅寶卷下

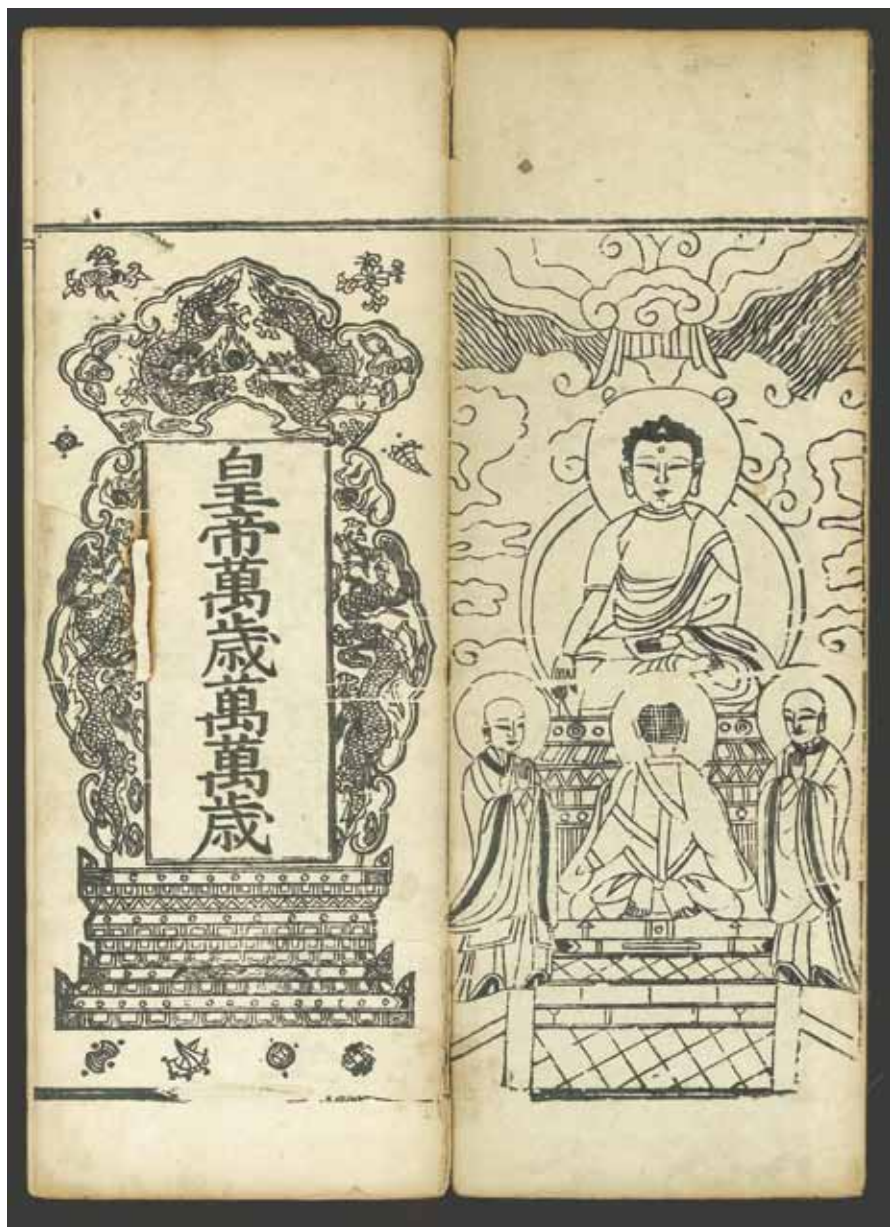
獅子吼自在力王如來分第三十七  
說獅子吼自在力王如來諸佛菩薩千  
變萬化普度衆生有緣有分親聞悟  
解五十三叅叅見佛四十八願願  
願成佛慤懃瞻禮恭敬如來清淨禪  
定皆得自在神通青龍翻海大吼一  
聲神力廣大起在虛空無量億處巍



帖裏表紙



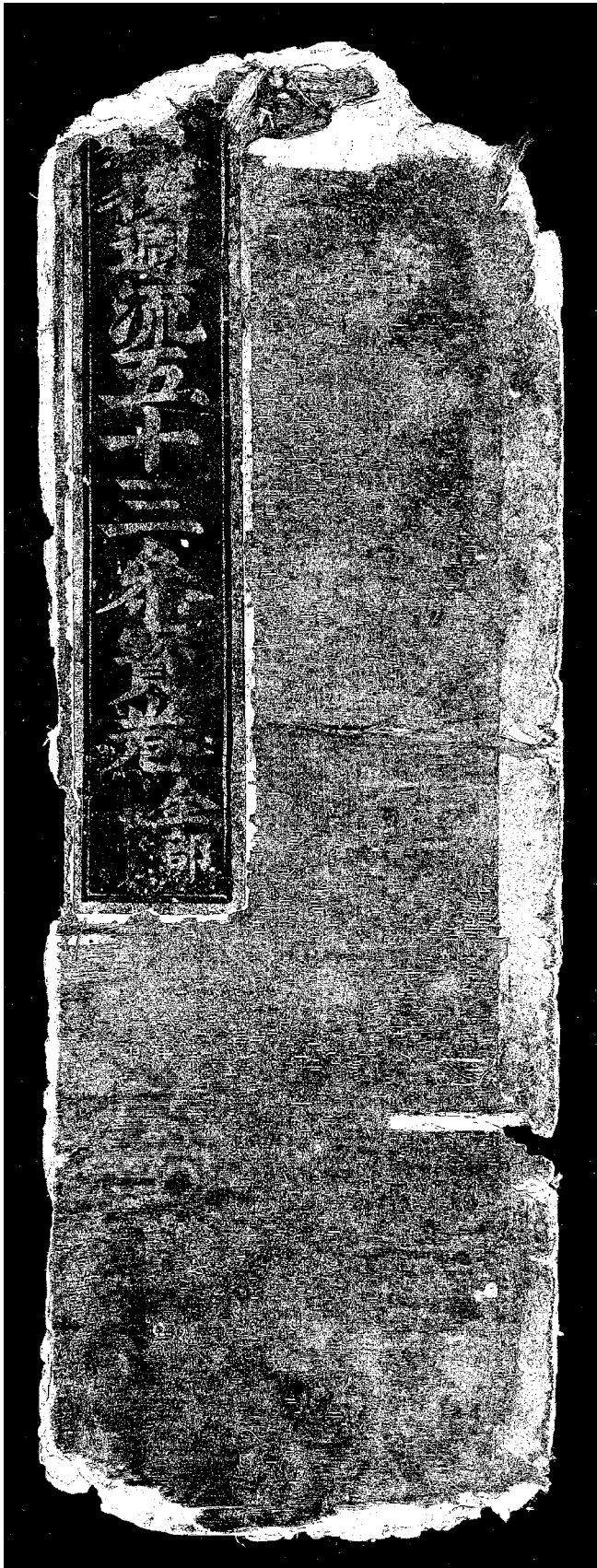
『姚秦三藏西天取清解論』帖表面



卷首圖像·蓮牌

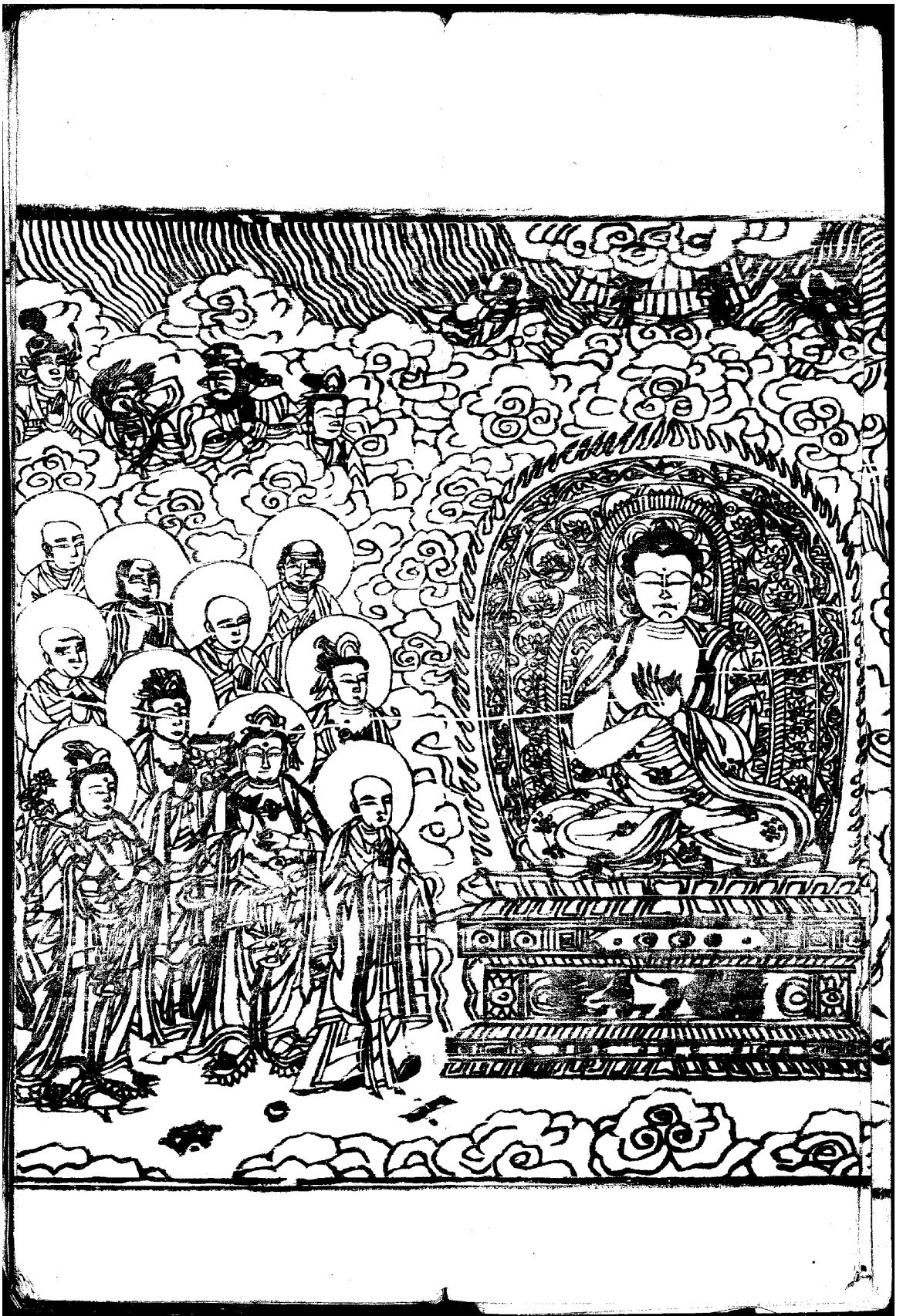


一報天地蓋載恩  
二報日月照臨恩  
三報皇王水土恩  
四報爺娘養育恩  
諸尊菩薩摩訶  
摩訶般若波羅密  
萬曆壬子孟秋校証乙酉年重刊



普覆週流五十三叅寶卷上









皇帝萬歲萬萬歲

御製

六合清寧 七政順序 兩賜時若 萬物阜豐  
 億兆康和 九幽融朗 均躋壽域 溥種福田  
 上善攸臻 障碑消釋 家崇忠孝 人樂慈養  
 官清政平 訟簡刑措 化行俗美 恭道感尊  
 凡序有生 俱成佛果

普覆週天五十三叅寶卷上

週流普覆徧乾坤 無始以來至如今  
千變萬化衆生度 今歲枯木又逢春  
南無盡虛空遍法界過現未來佛法僧三寶

開經偈



無上甚深微妙法 百千萬劫難遭遇  
我今見聞得授持 願解如來真實意  
經云道高無上甚深微妙若脩行之人

得明心見性按天地運功四相採取  
合五行煅煉按八卦週天火候行功  
子午卯酉四時相對八面方圓採先  
天如同流水上下週流採取日精月  
天地真寶此在光中所現常轉法輪  
千佛萬祖轉不退法輪有二千菩薩  
轉清靜法輪善男信女掃盡萬法絲  
毫不掛轉清靜法輪心正轉法輪心

邪法輪轉四十八願願願成佛五十  
三叅叅叅見佛乃是善才五十三叅  
叅叅見佛復見菩薩說種種之法了  
三世性得一百一十乘之法門華嚴  
經名一乘圓覺法華經名一乘釋教  
普明經名一乘圓頓教同歸一體無  
有三乘九品善才復見菩薩老母以  
右手摩頂拔屑抽釘三摩佛頂重重

囑咐汝等休違佛願度盡衆生至今  
末法之代無人究竟說種種涅槃之  
法各各超出苦海同歸西方極樂世  
界慈愍故慈愍故大慈愍故信禮常

住三寶


法



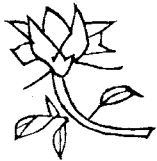
皈命十方一切佛

法輪常轉度衆生

僧



五十三叅纔展開  
諸佛菩薩降臨來  
天龍八部生歡喜  
保佑大衆永無災



展開一卷無字經 諸人合掌志心聽  
五十三叅了後事 三世諸佛正教門  
度盡娑婆塵世苦 同生西方極樂宮  
善男信女齊稱讚 共敬如來妙法輪

採取先天真陽氣 打開虛空無縫門

上照五蘊天界外 恒沙世界徹底清

男女纔得長生道 足下蓮華步步生

剎那超出三界外 三世諸佛坐蓮心

五十三叅齊了三元 普度女共男同登

彼岸正果朝元菩薩妙用八寶粧嚴

金花兩朶毫光照大千

真經本無字 展開撐破世



晝夜常持誦 六合波羅蜜

布施波羅蜜持戒波羅蜜忍辱波羅蜜  
精進波羅蜜禪定波羅蜜智慧波羅  
蜜布施者有三等布施有形的布施  
有無形的有施有說法的布施有行  
的布施出自己之財一切聖事修橋  
補路有修寺建塔齋僧布施有為之  
法人前快樂之福是石火電光不得

堅牢復入輪迴豈非真也無形的布  
施者是男女等身命布施發弘誓大  
願棄捨凡身求無上佛道是真實布  
施悟性心空剎那得無上佛道果報  
是也說法布施者若人寶滿三千大  
千七寶聚足精持四句妙偈打開寶  
藏無窮無盡說法人中最高第一度  
盡衆生亦無四相無我相無人相無

衆生相四相明絕世界皆空纔顯修  
行了道的古圓通大果報也說持戒  
布施授持阿耨多羅三藐三菩提佛  
戒三皈保守五戒清淨得阿耨多羅  
三藐三菩提正法刹那得無上菩提  
佛道果報忍辱波羅蜜修行之人萬  
事要忍誤言作忍非言喪忍惡言罵  
忍瓦石打忍斧刀殺忍鎗來刺忍如

何得忍只為佛性不得出苦修就金  
剗不壞體煉就摩訶不壞身乃是佛  
躰比做一鎧刀來不能傷瓦石不能  
夾成佛道也精進波羅蜜者若脩行  
之人勇猛精進亦無退悔之心功上  
加功以如神力刹那闖透三關九殼  
無處不照無處不顯纔是明心見性  
之人口誦經心不持經非精進口念

佛心不噫佛非精進身受戒心不持  
戒非精進念念持經念念噫佛念念  
持戒纔是脩行得道人禪定波羅蜜  
者修行之人禪中入定針對針行定  
南針對一禪一定定中有惺蘊空接  
引諸般音樂說不能盡接引還家刹  
那得無上佛道果報是也智慧波羅  
蜜者修行之人聞知佛祖的智慧亦

無絲毫恠心喜捨慈悲廣行方便後  
代賢良聞知佛大智慧同超苦海休  
信邪教傍門誑騙人錢逆子非人破  
佛堅恠永墮地獄普勸男女小心小  
心仔細仔細得了正法超凡出世

六波羅蜜最上乘 普度衆生脫苦輪

無字經 初展開 金花發現

大摩訶 般若船 普度衆生

無字經

三藏法

傳留在世

淨水瓶

垂楊柳

甘露洒心

古彌陀

駕法船

四相圍遶

度善男

和信女

早上法船

度盡了

娑婆苦

高超三界

纔認得

娘生面

丈六金身

認不得

娘生面

未得天眼

蘊空法

助音聲

天耳遙聞

卍



得正法 超三界 六根清淨

掃萬法 居本空 放大光明

闖三關 通九竅 音樂齊嚮

明發鼓 震發雷 地裂山崩

牟尼珠 在繡空 毫光萬道

無字經 常持誦 轉大法輪

無字真經放大光明普覆大乾坤四相

圍遶八卦週行上昇下降輓上崑崙毫



光萬道丈六紫金身

駐雲飛



丈六金身五蘊皆空放光明入在三昧  
定掛起懸圓鏡伏水火要均平吞查

對號好相副朝天橙二八相合對一斤  
二八相合五蘊皆空轉摩訶無影樹下  
坐八卦休錯過伏徑出娑婆訶穿山透  
海徑打黃庭過打破花瓶赴大羅

打破花飛驚天動地响一聲顆顆珍珠  
迸都跨鶩鶴鳳儼伏光耀耀百尺上昇  
下降輓上了朝圓洞好似達摩過洞庭  
聞聽正法晝夜常明轉法華時時常捧  
掛坐卧放不下儼伏舉目就見他五蘊  
皆空珠珠顛倒掛寶樹寶臺放寶花

普光如來分第一

說普光如來自從無始以來光明人人

俱有個個不無因為貪塵妄想不守一  
性之真身外貪求染污了自己靈光不  
得出期若人返照迴得六根清淨眼耳  
鼻舌身意皆為六根色聲香味觸法皆  
為六塵名為六慾眼根清淨不貪世景  
虛花有天眼觀原來真性觀三千大千  
以外將諸佛菩薩同聚一會聞聽正法  
眼根清淨人人未得天眼耳根清淨不

聞世間雜覽音聲聞聽境中音聲說不  
能盡聞聽佛聲菩薩聲重重囑咐休貪  
塵世早早皈家乃是耳根清淨鼻根清  
淨不聞世間一切香味聞佛香菩薩香  
旃檀沉水香般若真香乃是鼻根清  
淨舌根清淨不聞衆生血肉之味舌不  
嚼味舌定家鄉思衣得衣思食得食止  
飲二食一者法喜食二者禪悅食身不

觀觸一切萬物都不觸犯身心清淨身  
出光明觀本身明珠意不觀空一切萬  
法掃除干淨皈依佛法何故纔是普光  
來光明人人俱有

普天啞地一段光 本來面目細叅詳  
六根清淨原無垢 與天無二放毫光

脩行人 運水火 無停無住  
接八卦 和九宮 針對針行



七星台	採先天	揆轉了	這海水	牟尼珠	闢三關	往上昇	往下降
提正念	入內腑	海中玉	往上潮	無價寶	通九竅	五蘊天	還本位
醍醐灌頂	海底撈明	翻江攪海	八面威風	黃庭徑過	五蘊皆空	三花聚頂	見性明心

撒將去 收將來 無窮無盡

正上山 倒下嶺 玄妙當人

提惺了 古彌陀 三迴九轉

漕法路 水逆流 上下週行

西來意 無字經 常常持誦

二六時 無停住 常轉法輪

常轉法輪晝夜常明普覆大乾坤四相

圍遶八卦週行坎離顛倒五蘊皆空



毫光萬道罩定紫金身

桂枝香



無為玄妙剎那得到雷音寺鐘鼓齊鳴

山頂上蘋伽鳥叫鬧鬧噪噪匕齊聲

歌樂五音六語齊歌唱驚惺聖主跨

鴛鶴匕



西來大意真經無字展放開灌滿十方

在五蘊包天裹地運轉須彌匕毫光

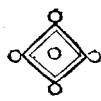


瑞氣步步頭頭皆是道白馬西來見  
真實



法船普度長生徑路大智慧早上法船  
苦海裡無有好處步步登途上漕溪  
正路摩訶般若真禪定刹那潮出洞

庭湖



法船開放度人無量大摩訶般若慈船  
度賢良空中遊蕩化度賢良上道高

無上無極聖祖神通大善男信女一  
船裝

普明如來分第二

說普明如來三世慈尊萬物之祖氣千  
變萬化普度衆生千法萬法皆從一法  
生五千四十八卷盡是一字流出化現  
阿難陀羅睺羅富樓那旃檀迦葉說不  
能盡不可泄漏先煉甲木多寶左金童

普度衆生先度三千徒衆七十二賢五百阿羅漢六萬有餘同出苦海有六萬二千億同名同號普明至今末法之代同超苦海齊登彼岸

普度大地衆群蒙

皈家認祖號普明

普度娑婆塵世苦 來踪去路說分明  
未得為得修行並 未明為明強明人

寶滿聚足毫光現

聚則成相散則風

念佛心毒是非念

佛念弥陀自成真

慈悲喜捨成佛道

誑騙人錢道不真

我勸大地男和女

掃除六慾斷七情

絲毫不染無虧路

六根清淨聚寶盆

聚寶盆內百般有

滿而不溢放光明

聚寶金盆放大光明聚足顯全身聚足

成相散則為風功元果滿五蘊皆空

放大光明原是本來人

五更金字經



一更裡舉彌陀要降魔震大發鼓急摠  
鑼降退魔俐俐羅羅咲呵呵魔兵退

匕九葉金蓮穩坐着

二更裡勇猛功見分明好似離弦箭一  
根射虛空清霄物外去安身恁縱橫

匕難描難画主人公

三更裡正半夜見分明  
觀音老母降來  
臨喜氣生連把善才叫  
幾聲歸家罷  
度盡閻浮多少人

四更裡樂淘淘誦真經  
鉢盂鈴鼓一條  
聲無字經打成一片  
本不分混源躰  
無來無去恁縱橫

五更裡舉真香正行功  
忽聽金雞叫一聲  
慧眼睜東海滾出一粒紅  
真玄妙

人與天地一般同

普靜如來分第三



說普靜如來淨心行善亦無垢穢染污  
是清淨法身與佛無二普靜後代不  
看佛成誑騙人錢逆子非人難離苦  
海小乘樂小智若人上根上智絲毫  
不掛清淨身心意在蘊空無停無住  
常轉法輪不分晝夜湛湛澄澄出明

入暗杳冥冥無形無相意在蘊空  
顯真實相顯智積相淨明相粧嚴為  
相空色同體凡聖同根若修行人失  
悞可得之法是菩薩粧嚴佛上清淨  
意在真空快樂復還本國

普覆週流滿乾坤 無影樹下度賢人

修行人 念彌陀 無塵無垢

心要清 意要淨 好作道場





點起盞

智慧燈

常明不滅



無油燈

懸掛在

般若經堂

經堂內

諷經呪

真人無數

善男女

捨布施

供敬法王

捨身心

碎割體

真實布施

喜歡殺

古彌陀

聖手垂光

諸菩薩

摩訶薩

摩頂授偈

親囑咐

兒和女

早早還鄉



末劫年 苦中苦 無有好處

持長齋 受佛戒 返照迴光

守三皈 五戒清 還鄉故里

無字經 四句偈 普度失鄉

五十三 叅佛祖 高超三界

度盡了 衆生苦 圓滿道場

圓滿道場普度失鄉同共赴道場金沙

鋪地八寶毫光真人無數一來一往

華嚴海會菩薩大道場

柳樾金

○

同心合意衆諸佛同心合意聞正法得  
授持誓願度群迷度盡了娑婆苦再  
不來轉輪迴超凡出世衆仙家超凡  
出世那應時躡掛仙衣ヒ赴龍華同  
緣一會  
卍

休貪塵垢修行人休貪塵垢意真香上

金爐運水火上下週漕溪路週流轉  
摔手到地頭把玄閔闢透大力量把  
玄閔闢透崑崙顯出金牛上清靜躰  
無塵無垢



休覽雜念修行人休覽雜念默默得誦  
真言意掛在九葉蓮得正法超三界  
穩坐在千葉蓮單提正念七星臺單  
提正念那應時纔顯出真仙上在五

蘊毫光一段



休貪塵世脩行人休貪塵世把彌陀着  
力提顯出個古牟尼剎那間超三界  
五蘊天放光輝齊出世衆諸佛一齊  
出世那應時纔得個真實ヒ子母們  
同緣一會



多摩羅跋旃檀香如來分第四

說多摩羅跋旃檀香如來拔濟萬類脫

苦智慧男女休貪塵世意在蘊空合掌  
恭敬一心觀佛即時定時接見多寶佛  
塔高五百由旬金鈴千萬出大音聲見  
塔禮拜古佛全身有塔有佛法王坐定  
全身不散如禪入定巍巍不動恭敬如  
來八寶香爐燒大寶香乃是旃檀香人  
人有真香在此灌滿十方世界  
旃檀般若意真香 恭敬如來法中土

修行人  
意真香  
常常不斷

心要清  
意要靜  
自得清涼

精進心  
勇猛功  
以如神力

一至心  
警動了  
救苦觀音

半夜中  
子時辰  
老母來到

有老母  
緊隨着  
護法金剛

金剛言  
急急起  
老母來到

見老母  
黃金面  
萬道毫光

老母言

叫善才

休貪塵世

手摩頂

親囑咐

早早還鄉

休違願

度男女

重重說法

度盡了

衆生苦

圓滿道場

愚痴人

貢高心

不聞正法

吃酒肉

貪財色

害命殺生

他惹下

無邊罪

難得脫苦

返復間

還命債

怎得還鄉

卍

〇〇



一言未盡老母回宮撇下善才童滿眼  
落淚苦在心中衆生難度害命殺生  
返復還命難脫苦沉淪

風入松



普度閻浮世上人

菩薩言其數多少

其數無

量如微塵多有邪教傍門

邪教傍門都是我

之佛性迷失真性差行道路指與出身徑路

指與徑

路他不聽信邪師胡幹胡行費財費寶

費金銀把地獄當作天宮

無上佛道豈用九

世之財諸佛諸祖出四句妙偈

不拜天地不拜空

盡都是逆子非人老母慈悲放寬心無  
為法劈破傍門千門萬戶一掃空那一  
個再敢胡行妙法蓮華無字經度賢良  
個個成真五百羅漢離紅塵三千佛祖  
後隨跟盡都是護教世尊六萬餘園盡  
歸宮纔順了願滿平生衆諸佛齊唱太

平尾声五十三叅了後事九祖先亡離  
紅塵跟我歸家續長生

旃檀光如來分第五



說旃檀光如來佛性人人俱此佛性不  
能所修胡談假論不能方圓各轉一德  
若修行人得明心見性一心觀佛無二  
無三有二刹海心有二三散亂心疑悔心  
鎖住心猿意馬一禪一定定中有惺三

迴九轉有主有賓出明入暗賓主隨跟  
五蘊皆空白毫玉蕊放大光明如佛知  
見豈有難哉



若知三迴九轉功 出入通達主隨賓

鐘鼓齊鳴發三咚 三性圓明在蘊空

諸弟子 授佛戒 心清踴躍

伏聞佛 有大力 自在神通

出三界 到佛前 劫住一面

○

大慈尊  
說妙法  
普度賢人

一個個  
皈淨土  
無邊法界

無寒暑  
無凋變  
恣意縱橫

七星臺  
憑汝掌  
諸天宮殿

天人師  
在宮中  
盡處虛空

無谿澗  
無溝河  
無諸惡道

無女人  
無淫慾  
身出光明

盡虛空  
徧法界  
普皆金色

卍

念堅固 莊嚴相 菩薩飄鈴  
淨空身 皆具足 二十二相  
有三明 和四暗 八解六通  
修行人 得正法 高超三界  
到這般 聖寶地 冰緒長生  
永續長生自在縱橫唐僧極樂宮無寒  
無暑無夏無冬白毫盡氣放大光明  
各垂寶像混源一氣生

掛金鎖

④

修行之人自惺自己悟搬柴運水晝夜  
無停住白雲山前紫扉齊擁護脚踏  
白毫騰雲又駕霧

妙法蓮華本是波羅密白鵝採精行來  
又行去飛上天台白毫生盡氣放大  
光明本是西來意

苦勸賢良休貪紅塵世類悟真空刹那

超凡世到了家鄉寶無其數無寒無  
暑天臺珊瑚樹

本性彌陀上下週流轉離色離相輓上  
空王殿行來行去出明又入暗眉間

白毫色相成一片

牟尼幢如來分第六



說牟尼幢如來者寶珠也人人俱有因  
為貪塵戀世自損靈光不得出期若



人返照迴光採取先天一炁富樓那  
長者家財浩大寶珠萬億有餘拔濟  
萬類與諸親友因緣之事醉卧不惺  
都不覺知若人惺悟受持三皈五戒  
得三昧禪定忽然有惺親見寶珠滿  
心歡喜

若見真實相 意掛蓮臺上  
晝夜放光明 與佛一合同



脩行人 得正法 普皆金色

成正覺 遍法界 時作道場

五百個 阿羅漢 齊來擁護

優婆塞 優婆夷 上大寶香

普週遍 慧燈明 滿心歡喜

如甘露 真點化 貧得瓊漿

如在海 得了船 同登彼岸

如在暗 得了燈 普照十方

①

卍

如善人	如脩行	如行人	如客人	如在爐	如在渴	如在寒	如在貧
同一心	得正法	得了路	得了主	均火候	得了水	得了火	得了寶
都到西方	高超三界	徑到西方	纔有下落	煉成金剛	寶滿具足	徧体純陽	珊瑚瑪瑙

如同枯木又逢新春花果滿樹紅枝葉  
萬億一根發生一兩津潤一樣成真  
無數佛子同生極樂宮

上小樓

卅

脩行人踴躍精進二六時無暫無停漸  
漸具具上下週行饒益無窮按八卦  
和九宮不錯毫分顯出個牟尼珠在  
五蘊如同明鏡

念佛人單提正念時時的意掛空懸來  
來徃徃週轉循環普覆週天光耀耀  
明歷歷普照乾坤普照他四部洲無  
隔碍那有點浮雲

心清靜禪中入定一時間顯大神通如  
得鑰匙破開天門南樓發鼓北國撞  
鐘响賽虛空按三廻和九轉有主有  
賓撒將去收將來賓主隨跟

脩行人如邪知正休信他外道傍門一  
父一母一氣發生那有傍門四句偈  
無字經出世之因法華經慧燈明諸  
佛之根



歡喜藏牟尼寶積如來分第七

說歡喜藏牟尼寶積寶者是多寶古佛  
積者是智積菩薩乃是善才能女成  
佛天為善地為才天地人三才妙用

普度衆生都是一樣成真修行之人  
按天地運功二六時中一無間斷採  
取先經無寶藏在五蘊皆空人人打  
開寶藏與祖師是一樣成真滿心歡  
喜人人未得

晝夜採取無字經 打開寶藏無盡窮

入佛會 授佛偈 虔心久遠  
守三皈 五戒清 自然明心



行又去	牟尼珠	如在夜	如在晝	採先天	二六時	得正法	大智慧
行又來	放光明	放光明	古彌陀	運水火	無間斷	休放鬆	行方便
採取先經	不分晝夜	智鏡常明	照滿法界	上下週行	漸漸具足	功上加功	皆得佛道



打開了

寶藏庫

甚深微妙

三藏法

傳留世

普度賢人

那賢人

捨布施

真實修煉

一個個

成正覺

續祖傳燈

大慈悲

傳正法

燈燈相續

度盡了

衆生苦

願滿平生

善勇信女早跳紅塵末劫苦臨身早還

家國與佛同明同名同號穩坐蓮心

縱橫自在末劫不下生

画眉序



勸大衆早回心末劫年頭苦難禁我度  
你三廻九轉跳出紅塵蘊空法親來  
接引一個個超凡入聖有功纔得了  
神仙分坐蓮臺永續長生

得正法也不難飛昇自在到空懸盡虛  
空諸天宮殿寶蓋幢幡兩壁廂吹彈

歌舞光耀耀長生寶殿喜歡穩坐在  
金公院受天福無量無邊

四句偈最分明持經功德福無窮咱得  
了真經法語變化無窮本來面普皆

金色無為法超凡入聖你聽休以他

凡情論得正法上下開通

脩行人緊加功悟解就取無字經打開  
了三毛七孔親見分明兩壁廂青龍

白虎能變化真如佛性有功這就是

元來性成正覺穩坐蓮心

劫世間樂見上大精進如來分第八

說一切世間樂見上大精進世間男女

末法之代五濁惡世苦中作樂貪一  
切世間之財貪一切歡樂五慾邪淫  
自招其罪可不悲哉功名蓋世無非  
大夢一場富貴驚人難免無常二字

員外長者多有金銀大限到來赤手  
空拳回去不如吃齋念佛隄防生死  
知來知去西方世界立安身身智慧  
男女勇猛精進一性無移自有個冲  
天志氣剎那得無上佛道苦勸男女  
生死事大緊緊隄防



叮嚀苦勸衆賢良 生死二字緊隄防  
煅煉至寶成佛道 免得閻君論短長

偈云

讚嘆娑婆塵世苦  
不愁生死只愁貧  
有身有苦難得樂  
無身無苦幾人尋  
五百年前不脩善  
末劫臨頭苦難禁  
亂世如麻遭飢饉  
飢寒難忍百病侵  
觀音老母救八難  
親差長子左金童  
你今認得收圓祖  
不得正法撲頑空  
邪教傍門都說道  
休貪塵世早回程

得了正法齊脩證 個個歸家坐蓮心  
得了正法莫要放鬆同共悟長生煅煉  
至寶永續長生皈家認祖自在縱橫  
同歡同樂混源一氣生

### 掛金鎖

念佛之人時時提正念念念不忘輒上  
空王殿本來面目如佛知的見眉間  
白毫忽然成一片

阿彌陀佛慈悲失鄉子真經法語降臨  
在凡世普度男女得了真三昧煉就  
金剛個個還原位

大事因緣普度男和女自在神通聞佛  
有大力度盡衆生果正菩提位到了  
家鄉同赴龍華會

忍耐存心喜捨行方便普度男女個個  
得仙眷到了家鄉無苦無災難自在



縱橫穩坐長生殿

末劫年頭流下恓惶泪  
讚嘆衆生幾時  
超凡世恋酒貪歡  
不想歸家偈我今  
拔濟早早歸家去

真佛真法男女是真僧  
早早皈依與佛  
同一性三教同體三寶同一性  
個個歸家纔得長生分

牟尼幢燈光如來分第九

說牟尼幢燈光如來幢旛寶蓋垂珠瓔  
珞花果鮮明香花燭燈種種諸燈酥  
燈油燈諸香油燈摩訶油燈牟尼油  
燈優鉢羅花燈在天垂相在地成形  
人人有智慧明燈普照法界與佛無  
二亦復如是一樣成真

智慧般若無油燈 普照法界滿乾坤  
脩行人 煉真性 抽添退火

卍



龍若行	右邊有	左邊有	若入禪	若出禪	定中有	採先天	離四相
虎若動	右白虎	左青龍	無停住	徃上昇	玄妙法	入內脯	退魔王
三廻九轉	虎透黃庭	龍翻金鼎	又徃上昇	得見老母	鐘鼓齊鳴	禪中入定	拔屑抽釘

離四相 到五蘊 絕斷命根

大家鄉 各垂相 萬道先生

八萬四 放光明 五色祥雲

修行人 得正法 亦復如是

煉水火 修真性 一樣成真

勸大衆 急急脩 休貪塵世

智慧男 加勇猛 同到家中

勇猛精進功上加功跳出火坑中超凡

①

出世再不投東西方淨土穩坐蓮心  
無憂無慮受福無盡窮

懶畫眉

單提正念往上昇只見白鵝來採精法  
身徧滿恒沙界出禪入禪見分明在  
在處處無間斷好是泥牛大翻身出  
三界恁縱橫蓮華蕊裡去安身  
禪中入定努力行好似離弦箭一根四

維上下無遮擋射透玄關無縫門出  
明入暗人難曉收來放去無暫停盤  
還走徃上昇相伴明月共清風

西來妙法無字經白藕花開幾人明五  
色蓮花各垂相紅的紅來青的青西  
南白蓮車輪大五色毫光排滿空真  
如體妙無窮白雲山裡顯神通

讚嘆愚人不回心只恋娑婆苦沉淪西

方淨土人人有七寶池裡找來人蓮  
華出水人添喜蓮花臺上去安身作  
歡樂喜氣生伴定如來古世尊

慧炬照如來分第十

說慧炬照如來能破一切黑暗能出一  
切苦無處不照無處不顯照破昏衢  
黑暗甚深智慧得妙幢相三昧法華  
三昧淨德三昧宿王戲三昧無緣三

昧智印三昧解一切衆生語言三昧  
集一切功德三昧清淨三昧神通遊  
戲三昧慧炬三昧莊嚴王三昧淨光  
明三昧淨藏三昧日旋三昧普度百  
千萬億恒沙衆生個個超出苦海

慈慧真三昧 普度衆群生

古彌陀 大慈悲 能破黑暗

真三昧 慈悲心 普度衆生





如甘露	真點化	冰消火散
第二處	十九會	枯木逢春
白銀葉	黃金莖	四明大樹
論枝葉	千萬億	大莖大根
滿樹上	無生菓	一雨津潤
成正覺	無二法	一根發生
諸佛祖	度一切	無有二法
度盡了	衆生苦	一處相逢

觀音母 真三昧 能救八難

法華經 度人天 晝夜常明

上照徹 五蘊天 無明無夜

下照徹 恒沙界 海底常明

千江月 千江水 無刹不現

度衆生 無停住 常轉法輪

法輪常轉普度衆生原從一法生華嚴

經典法法皆真四句妙偈出世之因



迷人非識枉看五千經

皂羅袍

通傳了無為妙法真三昧乃是法華一  
船普度百千家愚痴不惺難說話不

愁生死只戀榮華無常二字水上浮

花

我的佛

無常到來都撒下

通傳了無字真經真三昧枯樹逢春點  
化男女個個成貧兒得寶歸寂靜仙

童接引跨鶴飛昇幢幡寶蓋排滿虛  
空我的佛那應時都得長生分

無字經西來大義無為法普度群迷脫  
了凡胎掛仙衣貧人得寶還原位八

寶粧嚴白毫玉蕊普皆金色光明佛

体我的佛金花兩朶珠冠珮

脩行人無窮無盡得正法意掛虛空珊  
瑚寶樹在其中毫光萬道圍遶定白

銀為葉黃金為莖珊瑚瑪瑙滿樹光

明我的佛珊瑚樹下坐個定

海德光明如來分第十一

說海德光明如來是蓮華出水照滿山

川上照五蘊下照海底四海同体九

聖同根修行之人熬鉛煉汞伏虎降

龍煅煉真性海底撈明青龍出現霹

雷一聲闖過三關三花聚頂五炁朝

圓性在天邊命在海底坎離顛倒陰  
陽交合打成一片鉅解不分相伴明  
月性命原根

上照五蘊天外天 海底光明照大千

念佛人 提正念 翻江攪海

海中蓮 往上昇 大如車輪

白鵝現 來戲盞 行來行去

往上昇 往下降 落在黃庭

○



家住處 還有他 左隣右舍  
左邊有 七寶池 七個真人  
右邊有 八功德 弟兄八老  
盡都是 念佛人 護教真人  
擁護咱 靈山會 法王教主  
大慈尊 在塔中 立命安身  
不知道 靈山塔 在於何處  
靈山塔 汝心頭 不肯尋真

有八萬 四千卒 齊來擁護

拔了屑 抽了釘 放大光明

本地上 就是他 極樂世界

五色蓮 分九品 坐在蓮心

海底金蓮滾上崑崙恒沙徹底清無處

不照無處不明八萬四千處處光明

毫光萬道本是法王身

步步嬌





脩行人早早晷皈寂靜太虛空掛起顛  
懸圓鏡行也無字經坐也無字經在  
在處處普放光明恁縱橫子母同一  
性

卍

念佛人清淨心提正念把萬法一筆都  
勾斷行也仔細觀坐也仔細觀意掛  
青霄九葉金蓮好歡然子母同作伴  
念佛人親見真如性清淨宮光耀耀珍

珠鏡行也觀真空坐也觀真空意掛  
五蘊三性圓明放光明本是真如性  
念佛人休恋他凡情世提正念意掛在  
蓮心內行也念阿彌坐也念阿彌提  
惺當人透須彌玄妙機本是真如意  
金剛牢強普散金光如來分第十二  
說金剛牢強普散金光如來金剛者佛  
性也人人俱有佛性悟空有空空色

同體九聖同根色身雖小包裹乾坤  
徹內徹外朗朗光明在天垂相在地  
成形迷人非識錯路修行不掃萬法  
埋了靈根古佛慈悲普散金光點鉄  
成金生死事大休悞了修行行走坐  
卧休離摩訶般若真經常持誦功圓  
果滿赴大羅

卅

般若真空性

晝夜常持誦

忽然認得他

消盡心頭病

煉就金剛不壞體

脩就摩訶不壞身

先煉東方甲乙木

木內暗藏火丙丁

西方庚金藏癸水

水內生蓮照乾坤

戊巳中央生萬物

地長黃芽綠登登

坎離顛倒人難識

混源一氣罩真人

南方丙丁朱八戒

北方壬癸小嬰童

東方甲木孫行者

西方白馬駝真經

唐僧非在西天取 內有三藏無字經  
無字真經放大光明 晉覆大乾坤四相  
採取八卦行功週天火候無暫無停  
法輪常轉普度大地人

側郎兒

①

好歡然ヒ身在苦海意空懸二六時中  
無間斷週轉循環ヒ佛我的清風明月  
在目前



好逍遙ヒ找着西方路一條萬里寒江

成一片一座金橋ヒ佛我的步步登空

休錯了



笑嘻嘻ヒ西方徑路幾人知今朝指你

西來意脫了輪迴ヒ佛我的臍下三分

有牟尼



笑呵呵ヒ無生老母聖手托把手托上

西方去齊唱玄歌ヒ佛我的穩坐金蓮

笑呵呵

大強精進勇猛如來分第十三

說大強精進勇猛如來精進者智慧也  
聞佛有大智慧絲毫不染絲毫不掛  
清淨身心說法人中最高第一愚痴  
衆生貪塵恋世忽生慳吝非精進也  
若修行人勇猛精進一性無移專求  
佛道亦無退步無明無夜漸漸澄澄

推轉乾坤上下週行龍虎左右親見  
分明千變萬化一理相同

無學真經廣無邊 千變萬化度賢良

脩行人 大智慧 勇猛精進

二六時 無停住 功上加功

大力量 勇猛功 乾坤推轉

闖三關 通九竅 顯大神通

牟尼珠 無價寶 通天徹地



往上昇 徑到了 極樂天宮

金沙地 平如掌 一街八道

見老母 黃金面 喜笑歡容

衆諸佛 作道場 華嚴海會

插金花 飲玉酒 每人三鍾

西方境 極樂界 迷人不惺

貪塵世 恋虛花 利慾纏身

末劫年 苦中苦 難得歡樂

堪堪的 白了頭 悞了一生

早早兒 悟真性 皈依佛土

極樂國 坐蓮臺 永續長生

苦勸男女休要瞞心金銀眼中釘休要

外貪苦務庄農風調雨順五谷豐登

天與衣食借假脩成真

五更皂羅袍

一更裡纔然睡下提正念牽拴意馬三

關九竅莫要差上下週流無為法擊  
鼓宣鈴四方求法果證菩提獨站天

涯我的得造化與天一般大

二更裡單提正念纔來到上上三玄花

開花卸滿世間銀河滾滾空王殿本

來自性隨佛運轉我的清風明月常

作伴



三更裡禪中人定無影寺鐘鼓齊鳴好

是春雷吼一聲毫光萬道圍遶定金  
公黃婆姪女嬰童我的普徧乾坤真  
如性



四更裡一禪一定白鸚兒來助音聲鬧

鬧噪噪海合聲五音六語來侍奉吡

吡扭扭尖聲他聲我的人人纔得長

生分



五更裡天明地亮光耀耀輓上太陽毫

光萬道遍十方人與天地一合相金  
雞報曉接引還鄉我的西方端坐蓮  
臺上

大悲光如來分第十四

說大悲光如來以大慈悲出現於世救  
度群生同出三界佛說生死事大汝  
等終日供敬只求福田不來出離生  
死苦海至今五濁惡世樂著苦因如

來愍念衆生超脫三界輪迴故出現  
於世教化衆生始自知有佛知見而  
得本性清淨若人心正以智慧觀照  
自心念念行善即是聞佛知見欲得  
見惟須是入定放下身心一切截斷  
萬法不貪只下返照迴光自己面目  
忽然闖出三界極樂淨土有佛號阿  
彌陀現在說法普度衆生個個超出

苦海

卍

諸佛從本來

常自寂滅相

佛子行道已

個個成佛道

勸衆皈依蓮花樂

老母蓮華展放開

普覆週流度良才

普度善男和信女

相伴老母坐蓮台

念佛須念無字經

功圓果滿顯神通

霹靂一聲金身現

擊碎太極水銀瓶

同生西方極樂國  
亦可降生九世間  
娑婆世界苦中苦  
亂世如麻災禍侵  
因此造下無邊業  
只為衆生昧血心  
財色雙忘光明現  
塵垢不退黑洞洞  
大開方便西方徑  
不生智慧願何人  
六相清淨成佛道  
六波羅蜜最上乘  
皈依佛法僧三寶  
極樂宮中恁縱橫  
家鄉寶具無其數  
珊瑚瑪瑙無盡窮



垂珠纓絡飄鈴帶  
幢旛寶蓋排滿空  
仙衣綬帶身邊掛  
美饌法喜禪悅食  
仙桃仙菓奉仙衣  
金花兩朶插髮中  
諸佛菩薩同聚會  
龍華三會願相逢

# 浪淘沙



修行人要分明休恋紅塵掃盡萬法退  
浮雲六根清淨無塵垢放大光明  
長生路也不難意掛空懸清風明月在

目前打成一片金光現性命足全

我是個好心人端論脩行千辛萬苦勸

化人有人依我真實語個個成真

脩行人悟真空休錯時分時時持誦無

字經真心掛在蓮台上普覆乾坤

慈力王如來分第十五

說慈力王如來愍念衆生末劫大苦古  
佛一大慈悲神通之力阿僧祇劫普

度衆生阿脩羅說法救濟衆生度生  
老病死苦究竟涅槃六波羅密為大  
乘法廣度無邊衆生六度者萬行之  
首皆可到彼岸得六清淨神通大力  
無量無邊不可思議功德如來一切  
所有之法如來一切自在神通之力  
普度男女個個出離苦海

苦勸男女早回心 休恋閻浮苦沉淪

①

脩行人

大慈悲

廣行方便

世情事

休爭論

忍辱存心

世間財

休要貪

柔軟忍讓

二六時

提正念

努力行功

有金橋

和銀橋

本不着地

如天河

如白布

飄在虛空

修行人

無其數

誰人敢走

有一個

真正人

步步空登



一個個	闖玄關	上金橋	橋下邊	上通着	走一步	脩行人	這座橋
成正覺	透天機	般若船	是苦海	五蘊天	如騰雲	在橋頭	十萬八
永續長生	青霄霧外	上下週行	休貪塵世	極樂天宮	休要錯步	漸漸澄澄	由旬高廣

金橋銀橋上下週行十萬八千程單提  
正念刹那之中超出苦海極樂天宮  
縱橫自在纔顯脩行人

黃鶯兒

古彌陀度群迷駕法船放光輝普度男  
女齊出世頓悟菩提體掛仙衣明明  
朗朗西來意玄妙機法輪常轉無處  
不慈悲

卍

勸男女早回心休貪戀苦沉淪時時打  
掃心田淨妙法齊生證果無生明明  
歷歷真如性到家中金花兩朶插在  
兩鬢中



長生路也不難提正念剎那間忽然滾  
上空王殿普照十方亮亮堂堂人與  
天地一合相好風光普皆金色普覆  
滿十方



古彌陀大慈悲三藏法度群迷真訣真  
點傳留世早早皈依同赴瑤池家鄉  
接引還元位休愚痴皈依淨土再不  
來轉輪迴



### 慈藏如来分第十六

說慈藏如来慈者普度萬類脫苦至今  
末法之代無人究竟涅槃是多寶脩  
行有深重願出現於世說法普度衆



生指破玄關徑路如得鎖鑰開大乘  
門即時一時超出苦海諸佛菩薩得  
親眷屬三藏真經是法華經藏此經  
是諸佛菩薩秘要之藏五十三叅亦  
復如是三藏真經傳留在世拔濟萬  
類個個出離苦海急往安樂世界西  
方七寶池蓮花寶座之上堅固永劫  
不壞得無上佛道也

善才度凡世 頭搭雙髻髻

本是牟尼珠 展開撐破世

大慈悲 三藏經 傳留在世

度善男 和信女 常轉法輪

心要清 意要淨 隨佛運轉

採先天 真精炁 晝夜行功

煅煉成 金剛體 萬劫不壞

在空中 放光明 顯大神通





古彌陀

一見他

親來接引

到家中

赴龍華

自在縱橫

不違願

來度你

因緣之事

脩行人

何因緣

意淨心清

勸大衆

早回頭

休貪塵世

守皈皈

五戒清

頓悟真空

功圓滿

證菩提

無上佛道

那應時

纔顯出

了道皈宮

緊隄防 大末劫 三佛换位

大智慧 躲劳劳 同赴雲城

古佛慈悲普度衆生三歲普流通拔濟  
萬類躲過紅塵極樂世界瑞氣騰騰  
毫光萬道罩定紫金身

耍孩兒

脩行人要信心守三皈五戒精無字真  
經常持誦念佛躲了三塗苦徑生西

方極樂宮超三界皈寂靜ト纔是咱  
歸空了道得正法永續長生

脩行人一性剛捨凡身還故鄉一心只  
想先天面發誓大願離苦海就是長  
生不老仙卦龍華蟠桃宴ト兩壁廂  
吹彈歌舞受天福無量無邊

脩行人早回心休貪戀苦沉淪時時打  
掃心田淨退盡浮雲光明顯徹內徹

外一體通好一條出身徑上提一会  
三迴九轉蓮華蓋立命安身

西來意無字經提正念意掛空清風明  
月相伴定晝夜採取先天炁隨佛出  
世轉法輪照乾坤如明鏡上現放着  
歸家徑路念彌陀跳出紅塵

旃檀窟莊嚴勝如來分第十七

說旃檀窟莊嚴勝如來是菩薩莊嚴具

足成相是西方淨土七寶莊嚴脩行  
之人頓悟涅槃正路無四惡道皈依  
西方極樂佛土不可戀世貪塵至今  
末法之代曠劫無明堪堪臨近緊緊  
隄防三佛換位生死事大得個人身  
休要錯過今生一失永失萬劫難逢  
智慧男共女早早皈依佛佛有神通  
力度盡衆生苦同赴龍華會

卐

莊嚴生淨土 大道在一身

煉就金剛體 永劫不壞身

脩行人 煉金丹 萬劫不壞

莊嚴相 菩提子 舍利圓明


在天邊 放光明 各垂寶相

燈明佛 真點化 普度衆生

清淨男 智慧女 休貪塵世

二六時 常持誦 無學真經





光明祖	度盡了	九十二億
古彌陀	大慈悲	愍念衆生
有六萬	二千億	同名同號
大智慧	聞正法	早跳紅塵
成佛道	六根清	白毫玉蕊
掃萬法	居本空	放大光明
修行人	認得他	本來面目
與古佛	一合同	同轉法輪

指與你 出身路 休要退步

如禪定 針對針 默默細行

禪中入定努力行功如來大翻身五蘊  
皆空放大光明通天徹地晝夜常明

如來轉動本是法王身

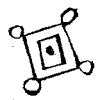
五

清江引



脩行人須要採先天意掛九葉蓮撥轉  
海中玉輓上空王殿無停無住上下

週流轉



普覆乾坤一段光逐朝亮堂堂清風伴  
明月甘露後天降點化男女徧體純  
陽

阿難一教大藏經普度衆群盲智慧男  
共女常把真經誦得正法歸家去永  
續長生

念佛人同共合一心休戀苦沉淪單念

一聲佛自然明心性久以後赴龍華

一處相逢

五

賢善首如來分第十八

說賢善首如來脩行之人得無上佛道  
首為第一脩六波羅密法無為大法  
大乘意者是必發無上菩提心依大  
乘法明心見性說大乘經教化無量  
無邊衆生同到彼岸乃入佛之法門

持戒成道苦煉身心不貪世間有為  
之法是能脩持淨戒六根清淨無有  
貪著超出三界輪迴而成佛道矣福  
智無比說法最為第一五十三叅亦  
復如是最為第一普度一切個個超  
出苦海有何難也

若得明心性 般若真禪定  
得了無為法 個個皈寂靜

清淨身心採先天

禪中入定闖玄關

頓悟涅槃是正路

六根清淨上乘仙

日月燈明三昧起

白毫玉蕊方寸間

泥丸宮裡常常聚

本來面目是佛仙

人人得了無價寶

斬斷輪迴再不貪

長生院裡真快樂

不生不滅自在仙

西方淨土人人有

早皈依淨土天

五百未劫苦中苦

智慧男女早還鄉

智慧男女早早還源隄防那一番各人  
末劫煉就金丹菩提妙覺證果朝圓  
仙童接引同生極樂天

羅江怨



脩行人要分明休貪戀濁世情勇猛精  
進煉真性煉就金剛不壞身光耀耀  
一真人來來徃徃崑崙映法体徧乾  
坤脩就了物外因功圓果滿超凡聖

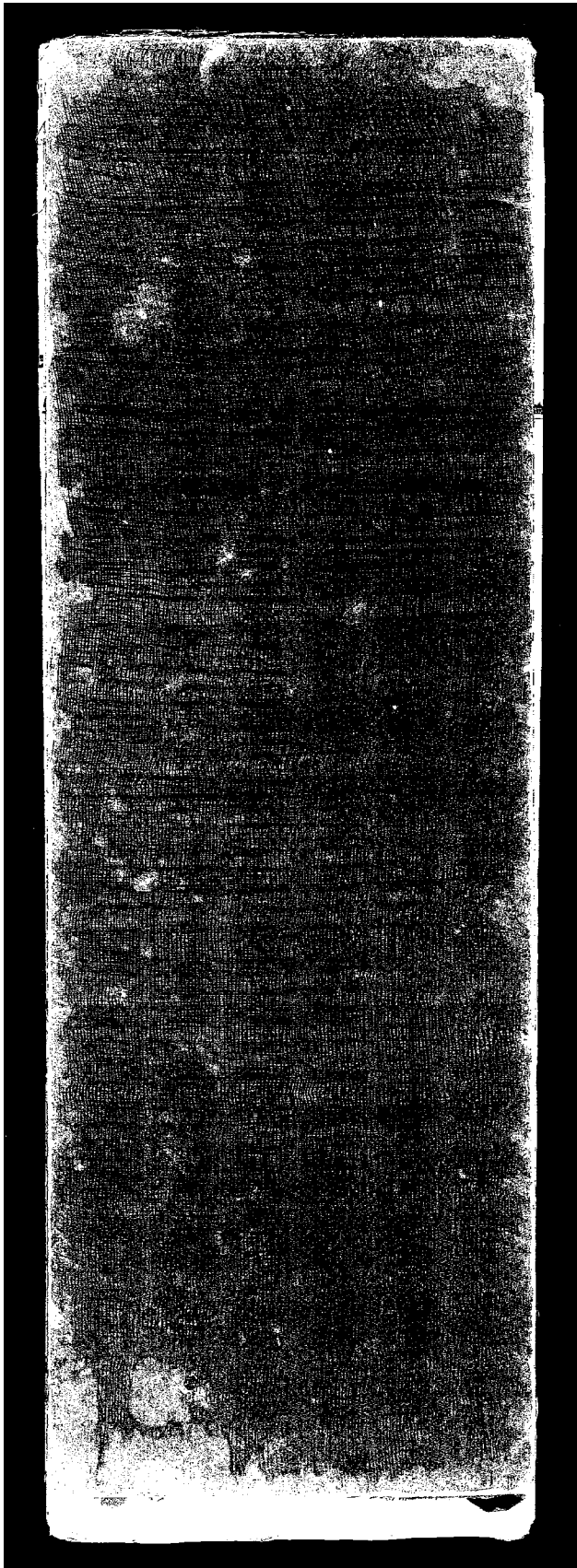
不思善不思惡淨心兒轉摩訶時時刻  
刻休空過行也念彌陀坐也念彌陀  
清風影裡端然坐伴明月笑呵呵採  
先天意通合蓮華蕊裡坐然坐

無為法最為高度賢良上青霄一佛一  
法一乘教出三界樂淘淘聖莊嚴白  
玉毫青霄物外圓頓教衆賢良休悞  
了早早兒跳塵勞何不煅煉成佛道



大道在一身亦可問何人而有此瑞通  
凡聖上照五蘊空下照体玲瓏本來  
面目原清淨掃萬法退浮雲無塵垢  
放光明清風明月為性命

上卷終



普覆週流五十三叅寶卷  
中

普覆週天五十三叅寶卷中

善意如來分第十九

說善意如來天地為善是時日月燈明  
佛說大乘經名無量意教化一切衆  
生入於無量意處三昧身心不動如  
禪入定一心觀佛一名有意二名善  
意三名無量意四名寶意五名增意  
六名除疑意七名響意八名法意發

大乘意持戒五戒清淨意轉龍天纔  
得蘊空大義施法平等無有高下普  
度衆生得無上菩提佛道個個出離  
苦海

⊙

日月燈明佛 愍念因緣事

拔濟萬類苦 同心合一炁

脩行人 要知道 來踪去跡

本來面 生玉蕊 放大光明

⊙



行又來

行又去

無停無住

行在凡

又在聖

進斗穿宮

飛起個

白天鵝

捉住法子

放將去

牧將來

見性明心

脩行人

親得見

知根荅本

大乘意

在蘊空

跟定無生

休求他

有為法

脩寺建塔

渡過河

用船舫

須用橋梁



卍

盡都是有為法  
無用之處

有形相非為真  
火上冰霜

無為法最上乘  
涅槃正路

精進心求佛道  
果證西方

脩就了金剛體  
萬劫不壞

穩坐在蓮華蕊  
大覺法王

善男信女早早回心  
休戀苦沉淪合掌  
瞻仰供敬世尊劫住  
一面永不離分

目不暫捨觀住定南針

哭黃天

羅睺羅佛的子乃是天人脩行人得正  
法樣成真阿脩羅遍法界普覆乾坤  
無量億大乘法度盡衆生一個個成  
正覺離了紅塵一志求佛道果證金  
身人人有玄妙法未嘗睡眠慧燈明  
無缺路萬樣機關撞開了無縫門真



訣真點佛弟子千萬億早早還源進  
佛授佛戒果證金仙無字經常持誦  
意在空懸採先天真陽炁水火俱全  
煉就了金刮躰八寶莊嚴愚痴人昧  
血心迷在世間大智慧行方便不撥  
自轉大慈悲行忍辱白毫輿輦五百  
個阿羅漢護持經典

廣莊嚴王如來分第二十

說廣嚴王如來是西方極樂世界佛土  
清淨八寶莊嚴菩薩妙用無有四相  
無我相無人相無衆生相無壽者相  
佛身無相普皆金色混源一炁自光  
自體佛性人人俱有不能所脩若人  
進步加功只憑弘誓大願三皈保守  
五戒精嚴二六時中亦無停住順天  
而行以如神力剎那之中得成佛道

莊嚴同體與佛無二亦佛如是愚痴  
不惺不看佛成在儒靴帽藍衫在釋  
僧鞋僧帽在道是道冠道衣盡都是  
世景虛花都無用處若人上根上智  
煉就金剛不壞八寶莊嚴成佛道矣

無數諸佛子 頓悟脩無上

八寶莊嚴體 與佛一合相

脩行人 採先天 隨佛運轉

丑

二六時	般若經	定中有	見菩薩	一志心	傳留下	煅煉就	大智慧
運水火	常持誦	出身偈	見佛子	為根本	出世法	金剛體	聞得我
上下週行	禪中入定	無盡無窮	定中活計	證果朝元	涅槃正路	永續長生	四句妙偈

偈內有 出身路 未嘗睡眠

遊三界 伴古佛 境中活計

採真陽 入腹內 三昧發生

先煉他 甲乙木 木生丙火

煉庚金 藏癸水 鉛汞交宮

煉戊己 戊門開 皇極說法

度盡了 衆生苦 三世慈尊

三世慈尊普度衆生三佛九世人歸空

了道地獄皆空十王地藏都得超昇  
亦無文字混源一炁生

集賢賓後帶一串珠

○

勸大衆休戀紅塵指你一條出身徑無

字真經常持誦

無字真經無形無相  
怎麼持誦說與弟子

四句偈常轉法輪晝夜隨佛禪入定

心華現六種震動

何為六種震動  
說與弟子

南北

曰東西週行四維上下為禪頓採五

方坎離交宮

坎離交宮怎麼運離門

浮鐘鼓齊鳴三迴九轉超凡聖放光

明有主有賓

不知賓主形相在抽添於何處說與弟子

退火凡投聖日月燈明為性命功圓

滿三性圓明

幾年功滿說與弟子下落鵲巢頂六

年功程五音六語齊聲奉答言語句

句分宗普明老祖他知迅九年功程

滿十年赴瑤池後代賢良子壽齊福

也齊你知我知皈家徑路在心裡天  
機全泄漏辛苦住閻浮聖意完成了  
絕斷智為初真如寶珠各人生死各  
人悟大限無定準年少也隄防煉成  
天外寶不怕十閻王明陽放光人與  
天地一合相無上平等法以慈度賢  
良智慧男和女早把法船上大衆賢  
良進前來聽我說在你心懷六根清



淨原無垢徑堂堂皈去乘

金華光如來分第二十一

說金華光如來是西方七寶池中之物

生一朵玉蕊蓮華內分九品過去佛

三葉金蓮四字佛號念阿彌陀佛超

出苦海現在佛五葉金蓮六字佛號

念南無阿彌陀佛個個超出苦海世

界皆空未來佛九葉金蓮十字佛號

念天元太寶南無阿彌陀佛未來佛  
號不可提念是三元了義也苦勸大  
衆着力念佛功圓果滿自然出娑婆  
天雨四華雨天曼陀羅華摩訶曼陀  
羅華曼殊沙華摩訶曼殊沙華奉獻  
與佛柔軟之華隨佛運轉常在目前  
否也

八寶蓮華徧乾坤

無影樹下度賢人

七寶池

八功水

蓮華出現

從海底

往上昇

大如車輪

古彌陀

大慈悲

出現於世

無為法

三藏經

普度衆生

諸佛子

在世間

出世何故

六根清

七寶聚

身出光明

清淨體

淨空身

白毫玉蕊

色即空

空即色

体用雙行

卍

九轉丹

赴龍華

金花兩朶

坐蓮臺

不動搖

自在觀音

兩壁廂

幢幡蓋

垂珠瓔珞

自來傘

淨水瓶

花果鮮明

西方境

佛淨土

無邊快樂

迷衆生

貪財色

迷在塵中

掃萬法

悟真性

出世何故

赴龍華

華嚴會

一處相逢

龍華會上諸佛世尊救濟萬類生無數  
佛子早出紅塵躲過末劫跳出紅塵  
無刹不現同生極樂宮

綿搭絮

脩行辦道以慈脩身答本還源煉就金  
剛進金宮一真人進斗穿宮無刹不  
現普覆乾坤果滿功圓入聖還源續  
長生ヒ



古佛慈悲留下真言三藏真經無為妙  
法廣留傳度有緣得上法船同登彼  
岸證果朝元毫光萬道八寶莊嚴坐

金蓮ヒ

卍

末法之代折磨衆生徧界慌慌無處逃  
躲怎脫身遣差下左金童普度衆生  
齊超苦海恁意縱橫智慧男女早早  
回頭悟無生ヒ

家鄉接引妙法齊生無孔鉄笛五音六  
語助音聲無影寺裡鐘鼓鳴響賽虛  
吹大法鼓擊大法鐘响亮一聲折蘆  
過江一陣風ヒ

①

無為真人般若慈船普度男女早早回  
頭上法船大法船無量無邊裝盡失  
鄉稍公是普賢的親眷屬拔濟萬類  
出南閤ヒ

善才傳法度脫良才九祖先亡休戀紅  
塵歸去來選佛場棟梁才各領金牌  
提名掛號仙衣綬帶金花兩朵逍遙  
快樂步金階ヒ

寶蓋照空自在力王如來分第二十二

說寶蓋照空自在力王如來乃是寶相  
如來七珍八寶一蓋包籠普照法界  
能破一切黑暗能度一切衆生如來



有自在神力阿僧祇劫度無量無數  
百千萬億衆生救生老病死苦究竟  
涅槃盡是一根出現盡是一炷發生  
無有二法一法皆真邪教傍門都說  
脩行不知理義胡幹胡行惡慢嫉妬  
誦虛恠邪橫眼衆生造業如山怎得  
脫身古佛觀見讚嘆傷情都是佛性  
迷在塵中古佛慈悲常轉法輪過見

未來三世慈尊度盡衆生無有二法  
一法普流通

天人羅睺羅

地獄鬼畜生

邪教心惡慢

難脫苦沉淪

古彌陀

大慈悲

留下徑路

無字經

是法華

常轉法輪

清淨男

信士女

隨佛運轉

精進心

勇猛力

徑上崑崙

久遠心  
不退心  
皆成佛道

本來面  
生玉蕊  
放大光明

天人師  
羅喉羅  
上首佛子

地獄裡  
人非人  
餓鬼畜生

風魔女  
趙魔女  
畜生餓鬼

狐狸精  
趙姑娘  
餓鬼畜生

佛弟子  
到怕他  
畜生餓鬼

請端公  
磕腦戴  
許命殺牲



我讚嘆 愚痴人 怎得脫苦

佛弟子 成佛道 誑殺閻君

大智慧 休信他 邪魔外道

一性剗 皈淨土 相伴世尊

善勇信女休信邪宗一法普流通一根

出現一炁發生過見未來三藏真經

收圓了道自在古圓通

掛針兒

卍

黃天聖道不容情  
三皈五戒守不清  
偷喫肉酒墮幽冥  
八十一劫怎翻身  
八萬毛孔盡生疔  
自作自受怨何人  
三皈五戒酒為頭  
無耻衆生大鍾甌  
一甌幾甌醉如囚  
倒街卧巷不識羞  
閻王發帖鬼來勾  
鑊湯地獄不抬頭  
持戒破戒愚不猜  
偷喫酒肉赴會來  
伽藍護法兩邊排  
善惡二字造明白

王發帖鬼勾來阿鼻地獄大磨研ヒ  
虛空有個古真人時時刻刻照人心五  
戒清淨最上乘無上大道誓願成發  
誓大願離紅塵青霄物外去安身ヒ  
五百年中遇金仙戊巳門開度賢良善  
男信女還故鄉時時休斷意真香八  
寶香爐般若香供敬如來法中王ヒ  
釋迦文佛棄皇宮不貪口味苦脩行雪

山六年煉成真臘月乙亥去皈宮留  
下真言法華經蓋世無比大能仁ヒ

虛空寶華光如來分第二十三

說虛空寶華光如來是八寶蓮華無塵

無垢朗朗分明在天垂相蓮華出水  
照滿山川四相圍遶八面方圓大運  
門開普度失鄉智慧男女入佛法門  
持戒為道以慈脩真熬鉛煉汞伏虎

降龍六根清淨劉氏夫人口貪美味  
殺害生靈鑊湯地獄舌貪味也持戒  
弟子偷喫酒肉阿鼻地獄身貪觸也  
金剛經云須陀洹惟不入色聲香味  
法五百阿羅漢六根清淨眼不貪色  
耳不貪聲鼻不聞香舌不貪味身不  
貪觸意不貪世間有為法能修持淨  
戒六根清淨無有貪着超出三界輪



而成佛道矣

卅

禪定波羅蜜

常在寂淨處

身心不動時

入於無量意

脩行人一入佛會

休說雜話

學達摩

默無言

內轉真經

說雜話

語言多

休吞妄語

吞妄語

犯五戒

造罪無窮

嘲調人

兩頭空

無有說有

惡毒心 狼虎意 啣血噴人  
 造罪業 如恒沙 自喪自己  
 我勸你 早迴心 辦道修行  
 大慈悲 行方便 柔軟忍讓  
 進合會 論脩行 性命原根  
 一志心 求佛道 超出苦海  
 提一念 無間斷 輒上崑崙  
 若要來 若要去 知根荅本

①

本來面 淨滿月 放大光明

禪入定 努力行 結跏趺坐

清淨體 淨空身 顯大神通

顯大神通變化無窮普覆滿乾坤無刹

不現無處不明行來行去進斗穿宮

無為真人丈六紫金身

耍孩兒



勸大衆早迴心休貪戀苦沉淪無字真

經常持誦晝夜隨佛循環轉採取真  
陽煉花精明明俐俐出身徑ト兩壁  
廂吹彈歌舞頻頻響音樂歌頌

脩行人休恋凡發弘誓跳南閻何不早

把彌陀念念佛超出三界外亦可東

土串房簷採諸精玉爐煉ト煉金丹

全憑九轉超三界七返還丹ト

脩行人一性剛捨凡身煉金剛時時刻

刻休鬆放丹田煉就牟尼寶纔顯都  
斗法中王與古佛一合相ヒ前蓮華  
時時發現後蓮華無為法王ヒ

阿脩羅是天人法華轉無字經打開寶

藏把真經誦無停無住如流水無影  
樹下度賢人好一條出身徑ヒ古彌  
陀出現於世三藏經普度賢人

琉璃莊嚴王如來分第二十四

說琉璃莊嚴王如來是藥師琉璃如來  
普照恒沙世界清淨莊嚴佛體無形  
照滿法界教化饒益無量衆生皈依  
佛土常加精進教化衆生漸漸具足  
菩薩之道有無量阿僧祇二萬億諸  
菩薩衆得大神通四無礙智善能教  
化衆生皆得具足三明六通八解脫  
其佛國土有如是等無量功德莊嚴

成就金銀琉璃為地地平如掌無邊  
法界脩行之人如佛知見

大道在目前 昏盲隔千山

若悟真空理 覷破天外天

人人有 真佛性 昏盲不惺

喫酒肉 貪財色 迷在塵中

論錢財 如糞土 生死事大

入佛門 授佛戒 辨道修行



大智慧

掃萬法

皆成佛道

精進心

勇猛力

跨鶴飛昇

阿僧祇

無量億

漸漸具足

五百個

阿羅漢

護持法門

天人師

阿脩羅

垂光接引

富樓那

老長者

化度衆生

有阿難

三藏經

傳留在世

度盡了

衆生苦

龍華相逢





休要當 等閑話 不作為念

錯過了 真人語 萬劫難逢

我度你 非小可 操心費力

若依我 成證覺 跳出紅塵

善男信女聞聽正法真經是法華法輪

常轉一段紅霞上照五蘊下照恒沙

普覆法界本是大乘法

疊落金錢

勸大衆早迴心休恋濁世情曠劫無明  
堪堪盡各人辦脩行ヒ煉明珠上崑  
崙飛昇直上朝圓洞光耀耀一真人  
ヒ本是真如性我的何不早把金身

種ヒ



脩行六根清掃萬法居本空道正人正  
心要正淨心兒誦真經隨佛轉法輪  
上昇下降真如性大道一體通ヒ那

有三乘分我的青霄物外安身命也

古佛大慈悲誓願度群迷九祖先亡齊

出世太極化皇極說法為第一諸佛

萬祖齊出世衆賢良早皈依也跳塵

勞還源位我的端然坐在蓮華蕊也

脩行要分明急速跳紅塵三闋九竅如

頭百霹靂響一聲也打開了無縫

門龍要動時虎也動如神力顯神通

比徑到極樂宮我的蓮華蕊裡安身

命比

④

普現色身光如來分第二十五

說普現色身光如來是空色同體凡聖

同根普照法界同轉法輪色身小包誰

含天地佛性雖大借假脩真功圓果

滿離色離相有主有賓迷人非識實

主在於何處愚痴衆生生百種愚濁

尚不授持齋戒貢高惡慢嫉妬諂虛  
欺壓良善英雄豪傑毀僧謗佛殺生  
害命造罪如山四生輪轉不得出期  
古佛慈悲出現於世普度衆生勸化  
賢良人身難得佛法難聞道場難遇  
中國難投得個人身休要錯過今生  
脩行辨道煅煉五行煉成至寶身出  
光明照破從前貪塵大病得無上佛

道

卍

苦勸大衆合一心 精持五戒守清貧

衆生無邊誓願度 佛道無上誓願成

持佛戒 授佛偈 出身門路

偈裡有 玄妙法 涅槃皈宮

無字經 常持誦 隨佛運轉

按八卦 和九宮 針對針行

三菩提 不退轉 無上正道



卍



清淨慧

成證覺

言下騰空

牟尼珠

通四海

徹內徹外

性在天

命在海

原是一根

上照徹

五蘊天

不分晝夜

佛放光

眉間毫

瑞炁騰騰

光耀耀

皈家路

迷盲不惺

又貪歡

又貪樂

迷在塵中

上根人

認得他

西來大意

二六時 無間斷 持誦真經

得正法 在剎那 超出三界

極樂國 佛淨土 恁意縱橫

普現色身借假脩真煅煉自成真離色

離相性在虛空白毫玉蕊放大光明

徧滿法界原是本來人

皂羅袍

有川三慈心向善不吃齋賽如神仙脩



下世福廣無邊慈悲喜捨行方便喜  
捨資財能脩福田上根上智不揆自  
轉我的七星臺上提正念

我說得無為大法度善人同赴龍華一

船普度百千家咱把世事不捧掛持  
誦真經妙法蓮華採取先天鉄樹開  
花我的得造化與天一般大

這大道本在一身得正法鐘鼓齊鳴笙

琴細樂一條聲貧人得寶超凡聖三  
闕九竅一箭齊通上昇下降進斗穿  
宮

我的  
我的蓮華蕊裡安身命

佛留下無字真經四句偈放大光明四

十八願度衆生八卦九宮圍遶定闍

過三闕穿透九宮上昇漕溪不至黃

庭

我的  
我的嬰兒姹女為性命

不動智光如來分第二十六

說不動智光如來者是大力量人巍巍  
不動意掛蘊空清淨法身絲毫不染  
萬法皆空有智有光無智愚人忽生  
慳吝非佛弟子壞法愚人聞知如來  
清淨法門那有恠心財色雙忘是真  
實弟子巍巍不動法中王降伏六賊  
擋魔王古佛那有傍門法六根清淨  
度賢良各人聞法悟解休錯過今生

掃盡萬法持誦真經真經無字甘露  
所降採取真經意掛蘊空在在處處  
與佛同明得佛法語無盡無窮是富  
樓那者說法最為第一普度衆生個  
個超出苦海

①

普覆乾坤法中王 逐朝慈愍度失鄉  
諸佛子 千萬億 聞聽正法  
大慈悲 行方便 柔軟脩真

卍



五百個

優婆塞

辟支佛

學無學

學道人

剎那間

光耀耀

阿僧祇

阿羅漢

優婆夷

心歡喜

二千人

清淨體

超三界

西方路

諸佛子

聞法授戒

慈悲聲聞

專求佛道

柔軟清涼

神通妙用

上上三玄

迷人不惺

迷在世間

現如今 大開法 皇極說法

勸大眾 聞正法 早早還圓

至如今 末劫年 無有好處

二六時 採先天 持誦真經

法華經 真精炁 天地骨髓

如甘露 真點化 個個成真

持誦真經意掛蓮心巍巍不動身普皆

金色瑞炁騰騰毫光萬道普覆乾坤

無刹不現本是法王身

紡絲娘

彼岸邊大開法皇極古佛說妙法男女

同赴龍華會

伏 陀 弥

體掛仙衣帶金花

陀 伏 弥

佛弟子廣無邊九祖先亡在世間若知

西來玄妙意

伏 陀 弥

古佛從觀五百年

陀 伏 弥



大衆們你知因皇極古佛是善僧入在

中央戊己土伏弥陀好是春雷吼一聲

陀伏弥

一人真萬人真清淨妙體放光明漸漸

具足菩薩道伏弥陀跟着古佛往家行

陀伏弥



心是佛佛是心自己彌陀認不真道正

一人正心要正伏弥陀足下蓮華步步生



陀伏 伏弥

念佛人要志心徑生西方極樂宮蓮花

蓋裡端然坐伏弥陀巍巍不動古世尊

陀伏 伏弥

阿羅漢五百人收圓了道護教尊度盡

失鄉兒和女伏弥陀八百餘家顯神通

陀伏 伏弥

學無學有八千休戀紅塵急早還跳出

娑婆塵世苦

伏 彌 陀

同生西方極樂天

伏 彌 陀

卍

降伏衆魔王如來分第二十七

說降伏衆魔王如來若脩行人三皈保

守五戒清淨禪中入定巍巍不動意

在蘊空伴定明月朗朗紫牟金色破

魔兵衆擊鼓宣令六種震動南岳發

鼓北國撞鐘滿空聖樂魔兵不侵愚

迷濁子六賊混亂順了魔兵三皈觸  
犯五戒不精偷吃酒肉八萬四千毛  
孔孔生疔八十一劫怎得翻身師  
家一見讚嘆傷情苦勸大衆借假脩  
真六根清淨拔屑抽釘八萬四千孔  
孔光明毫光萬道瑞炁騰騰清淨法  
體那有魔兵自造其罪故意來侵迴  
光返照跳出凡籠成佛道矣

八萬四千魔兵殿 一人真實萬人真

毫光萬道生瑞炁 天魔地魔不來侵

脩行人 禪入定 降伏魔衆

破魔兵 舉金剛 誑殺魔王

降魔王 擊法鑼 吹大法鼓

照妖鏡 舉在空 逼散魔王

七星臺 提正念 左三右四

金剛劍 舉在空 顯大神通



有八萬  
四千卒  
齊來擁護

拔了屑  
抽了丁  
萬道光明

清淨體  
妙莊嚴  
無塵無垢

無字經  
徧法界  
體透玲瓏

無為法  
波羅蜜  
一乘大法

愚痴人  
迷真性  
呼有三乘

一志心  
為根本  
上根上智

成佛道  
皈向西  
大覺世尊

卍

諸佛祖 大慈悲 出現於世

說妙法 度衆生 早出紅塵

善男信女休戀紅塵跳出大坑中家鄉  
聖境無盡無窮無生無死身出光明

紫牟金色混源一炁生

金字經

斬妖寶劍舉在空降伏六賊破魔兵顯  
神通寶劍出鞘賽雷鳴魔兵散匕降

伏擋恠孫悟空ヒ

巍巍不動法中王七個真人八金剛降

魔王逼得陰兵無處藏真手段ヒ其

佛淨土放毫光ヒ

一人真實萬人真那個妖魔敢來侵大

神通震大法鼓擊法鐘魔兵退ヒ顯

出八萬四千星ヒ

一法通時萬法通六根清靜無魔兵体

玲瓏闢透玄關無二門真佛子ヒ青  
霄物外去安身ヒ

無為大法最上乘勇猛精進採諸精在  
五蘊大道原在刹那中超三界ヒ蓮

華蓋裡去安身ヒ

阿難一教大藏經傳留在世度衆生早  
廻程諸佛菩薩在塵中皈家罷ヒ休  
貪聞浮濁世情ヒ



持戒破戒罪無窮八萬毛孔盡生疔大  
魔兵躲過他手會騰空後授戒ト五  
戒清淨放光明ト

多寶古佛按東方化現善才入中央度  
賢良個個早還鄉休貪世ト三佛換  
位謹隄防ト

才光明如來分第二十八

①

說才光明如來者天地人三才妙用天

有才甘露所降地有才萬物發生人  
有才休貪塵世清淨本體而顯神通  
妙用身出光明普照法界此是蓮華  
出水照滿山川此是清淨本體諸佛  
從本來常自寂滅相此是清淨本覺  
菩提真性佛子行道矣個個得成佛  
清淨身心絲毫不染意掛蓮心採取  
真經妙法蓮華真經是諸佛道場所

得之法成就衆生依法出現法法皆  
真一兩津潤一根發生無有二法一  
法普流通個個超出苦海若來若去  
體用雙行若坐若卧持誦真經本無  
間斷上下週行普徧法界一段古光  
明ヒ



堅固無上道 阿耨菩提心  
正心勿生疑 大覺佛世尊



學道人

清淨心

恭敬瞻禮

大摩訶

般若經

常轉法輪

誦真經

如流水

隨佛運轉

若要來

若要去

採取先經

若要坐

若要卧

常明無暗

如是珠

如是燈

智景常明

天金光

人靈光

打成一片

陰返陽

陽返陰

坎離交宮

陰返陽

往上昇

三華聚頂

陽返陰

往下降

海底撈明

尾閭關

往上昇

三廻九轉

七星臺

提正念

鐘鼓齊鳴

夾脊關

玉枕關

無縫金鎖

霹靂霹

响一聲

九竅開通

牟尼珠

無價寶

毫光萬道

纔顯出

脩行人

自在神通



自在神通普放光明八解具六通三身  
四智七寶交宮九轉一性三性圓明  
無刹不現普覆滿乾坤

駐雲飛

普覆乾坤迷人不惺半毫分不除貪塵  
病埋了靈光性俺佛幾時出紅塵指  
與你徑路跟找原來性掃盡萬法自

然明匕



一隻法船娑婆苦海渡有緣男女同上

岸非事休貪恋俺佛輾軻遇金仙說

破玄關同共皈仙眷給孤長者大羅

仙ヒ

智慧賢人斬釘截鉄悟長生財色除乾

淨自然明心性俺佛點起智慧燈明

明朗朗掛起懸圓鏡徹內徹外晝夜

明ヒ



苦勸賢良三佛换位緊隄防二六時休  
鬆放意掛連臺上俺佛隨處顯青黃  
八寶莊嚴無處不明亮寶樹寶華放

寶光ト

卍

智慧勝如來分第二十九

說智慧勝如來此是大慈悲廣行方便  
清淨身心絲毫不吝是智慧也聞知  
如來智慧脩習出世之法無諸慳吝



以慈脩身善如佛慧通達大智此是  
三身四智具八解脫聚六神通以右  
手摩諸菩薩摩訶薩佛頂囑咐汝等  
禁其慳吝之心末法之代阿僧祇劫  
無量無數衆生聞聽正法莫信邪師  
忽生慳吝永墮沉淪苦海不得出期  
善男信女有緣有分聞佛智慧脩習  
無上佛道個個超出苦海

莊嚴大法王 無短亦無長

果成三界外 常聞般若香

會眾人 大慈悲 同心合意

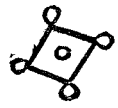
後無始 未得明 利慾纏身

勤習學 出世法 掃除乾淨

大智慧 行方便 自然明心

學張良 大智慧 歸山去了

梁武帝 大智慧 參拜志公



卍

妙善女  
大智慧  
不着駙馬

釋迦佛  
大智慧  
棄捨皇宮

為僧道  
不授戒  
非佛弟子

又喫酒  
又喫肉  
血口噴經

造罪業  
重如山  
難離苦海

又貪財  
又貪色  
慳貪吝心

普明祖  
傳大道  
絲毫不染

勸大衆  
休信他  
外道傍門

卍

大智慧 傳正法 登登相續

二六時 讚真經 晝夜常明

善勇信女聞聽正法真經是法華晝夜  
常明照耀恒沙甘露點化枯樹發芽

春來日煖無花莫怨他

皂羅袍

留真經度人出世無智慧持鉢乞食當  
來古佛度群迷清淨無染出身偈普

明傳法清淨第一迦葉如來收鉢乞  
已我佛手摩其頂重囑咐<sup>比</sup>

西來意無字真經提正念自在神通在  
在處處現全身普徧法界菩提性上

昇下降圍遶中宮金公黃婆鉛汞交

宮<sup>我的</sup>伏<sup>通</sup>天徹地真如性<sup>比</sup>

大智慧迴光返照無礙智通達明了清  
淨法身放白毫漸漸具足菩薩道行

來行去龍虎相交出明入暗那有停

道我的伏一呼一吸黃天道

七星臺單提正念八功水能洗心田沐

浴河裡九股泉三陽開泰蓮華現蓮

花出水照滿山川普天匝地五色金

蓮我的伏車輪大朶空中現比

彌勒仙光如來分第三十

說彌勒仙光如來此是過現未來三世

慈尊過去佛清淨法身佛度了二億  
現在佛釋迦牟尼佛千百億化身佛  
分身無量化現三世諸佛出現於世  
先度見在九祖生天三千徒衆七十  
二賢五百阿羅漢六萬祖都得還源  
多寶當知出現於世說法度生老病  
死阿僧祇劫無量無邊衆生同出苦  
海彌勒掌教圓滿報身佛三教通體

萬類依真九轉一性一法成真

三佛普度九世人

智慧男女跳紅塵

彌勒掌教劫數大

今時錯過永難逢

脩行人

誦真經

休要間斷

晝夜家

如流水

上下週行

口若動

舌若動

不為正念

禪入定

伴明月

意掛蘊空

一自心

觀佛耶

無二無二

卍



若有二  
若有三  
乃是空然

脩行人  
謹隄防  
左三右四

鎖心猿  
拴意馬  
功上加功

忽一時  
九轉丹  
功圓果滿

有仙童  
前引路  
起在虛空

滿空排  
幢幡盖  
垂寶瓔珞

多寶塔  
掛金鈴  
出大音聲

脩行人  
見寶塔  
恭敬禮拜

①

②

他本是 如來體 古佛金身

度盡了 衆生苦 超出三界

彌勒佛 纔掌教 了道歸宮

度盡衆生了道皈宮三佛九世人同超

苦海普度四土衆生業盡佛度縱橫

三教圓滿同共坐蓮心

山坡羊

念佛人單提正念無字經行明行暗五

更頭更更有惺震卦上蓮華出現光  
耀耀照滿山川普天匝地光明現若  
得見真實寶相六根清淨睜開天眼  
忽一時九轉還丹也光耀耀打成一  
片聽言上下週流採取先天聽言具  
足寶滿與世無干

勸大衆早皈家罷得人身生死事大生  
死路謹謹隄防勤習學出世之法採

先天上下週流誦真經圍繞八卦若  
得了心花發現上照五蘊下照恒沙  
如神力推轉乾坤也觀破三千天外  
天聽言山河大地一体同觀聽言本  
來面目無刹不現

善寂月音妙尊智王如來分第三十一  
說善寂月音妙尊智王如來者講說經  
云善寂者是西方極樂世界清淨佛

土與諸佛菩薩聚會一處受天福無  
量作禍者地獄餓鬼畜生月音者是  
日月普照乾坤在天垂相在人身是  
性命陰陽脩行人採取日精月華天  
地真寶四相饒益具足菩薩道出大  
音聲苦出大音聲入禪音樂齊嚮若  
要來若要去鐘鼓齊鳴得無上佛作  
禍者是十五已後月光日日虧缺損

之又損喪盡光明受地獄之苦妙尊  
智王者玄玄在心妙妙在意尊者大  
慈悲救苦天尊東極救苦諸佛子千  
萬億大智慧跳出紅塵同成佛道

佛國土清淨 身出大光明

度盡衆生苦 吞報古佛恩

脩行人 鎖心猿 禪中入定

無影樹 拴意馬 單等來人

卍

忽一時 燈明佛 普照法界

照東方 恒沙界 多寶世尊

古彌陀 大慈悲 親來接引

阿脩羅 救萬類 乃是天人

阿難陀 他大乘法 傳流在世

富婁那 老長者 普度衆生

羅睺羅 是天人 上首佛子

見諸佛 見菩薩 又見天人

〃

纔是咱  
脩行人  
定中活計

多寶塔  
掛金鈴  
出大音聲

清淨男  
信心女  
見塔禮拜

他本是  
如來體  
古佛全身

脩行人  
若認德  
本來面目

清淨體  
大莊嚴  
此是天人

天人  
四重救濟衆生  
個個出紅塵  
一法出現  
法法皆通  
原從一法  
一根發生





一雨津潤本是一眾生

側郎兒

笑哈哈比大道原在一刹那三閉九竅

一齊透親見彌陀我的三迴九轉赴

大羅

好歡然比真性原來在天邊打成一片

誰人會鉛汞交我的枝枝葉葉倒

垂蓮



笑喜喜匕玉瑞三藐三菩提若人親見

西來意普放光輝我的白馬馱經度

群迷

卍

笑盈盈匕白馬馱經遇唐僧真經非在

西天取處處有經我的普徧法界放

光明



世淨光如來分第三十二

說世淨光如來彌勒菩薩當知世界皆

淨亦無女相亦無六趣四生脩一切  
善法清淨圓滿菩提真性無塵無垢  
無煩無惱衆生與諸佛菩薩同此菩  
薩真性得不退轉法輪皆得陀羅尼  
得無上佛道演說經典微妙第一清  
淨柔軟講說正法開悟衆生度生老  
病死苦真實佛子即速悟解大道全  
真心清意淨刹那之中白毫玉瑞放

大光明出身大路你問何人

心清意淨誦真經 禪中入定在蘊空

無影樹下拴意馬 單等來人大翻身

脩行人 清淨心 時刻悟解

不思善 不思惡 淨心誦經

點起盞 智慧燈 常明不滅

晝夜家 亮堂堂 即是道場

日月佛 遍法界 亦無黑暗

五

滿十方

亮堂堂

即是道場

於諸佛

與菩薩

聚會一處

赴龍華

華嚴會

即是道場

慧燈照

大神通

能破黑暗

光耀耀

明朗朗

即是道場

會衆人

大慈悲

同心合意

滅度後

皈極樂

同赴道場

大衆們

進合會

聞經聽法



知有生 還有死 謹謹隄防

煉金丹 天外寶 涅槃正路

有仙童 前引路 放大毫光

會衆男女休恋紅塵個個早迴心合掌

恭敬禮拜慈尊朝朝提念悟性明心

普天匝地一段古光明

清江引



一心觀佛不遠常常在目前忽然認

的他就是如來面提醒了主人公上

下週流轉ヒ

〇

禪中入定定中有醒滾上桃園洞無相  
又顯相無形又顯形飛起個白天鵝

人人有惺ヒ

五

一心信解佛真語把彌陀即即提單念  
一聲佛果證菩提位同生西方極樂

國ヒ



靈山會上諸如來說法度良才願說一  
乘法教化諸如來善男子善女人同  
出苦海

龍種上尊王如來分第三十三

說龍種上尊王如來乾闥婆阿脩羅迦  
樓羅緊那羅摩睺羅迦是上尊王佛  
天龍八部循環週轉普度一切會衆  
比丘比丘尼優婆塞優婆夷五百阿



羅漢衆所知識同脩道果諸脩行得  
道復見諸菩薩摩訶薩種種信解種  
種相貌而有此瑞普照法界希有之  
事神通妙用諸佛菩薩出現於世說  
法甚深為妙善男信女聞聽正法心  
淨踴躍即從座起到於佛前頭面禮  
足劫住一面瞻仰尊顏目不暫捨而  
作是念頭頭頂掛虛空步步踏著實

地無明無夜湛湛澄澄無停無住上  
下週行在天垂相在地成形纔是脩  
行辦道人

無字真經在空懸 禪中入定對面觀

十二時中明了了 一段霞光照大千

脩行人 悟開性 如佛知見

習學了 幾句話 休當明心

學道人 不必你 心高意奧

。四。五



領古佛

尾閼闕

白天鵝

行又來

脩行人

無為法

三藏經

西來意

金鑰匙

夾脊闕

飛都斗

行又去

得正法

最上乘

傳留世

無字經

大開城門

玉枕闕過

大顯神通

穿宮進斗

一樣成真

甚深微妙

普度賢人

慇懃採取

卍

波羅密 常持誦 無為大乘

古彌陀 大乘法 普度一切

後無始 到而今 未出紅塵

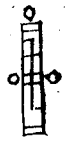
塵世中 苦中苦 出世何故

現而今 度一切 大開法門

善男信女仔細聽經悟解得明心貧兒  
得母乳布實分寶滿具足長大成人

三關九竅撞開無縫門

青天歌



無字真經放毫光接引東土衆賢良衆  
賢良圓滿菩提子白雲山前見法王  
摩訶般若老真空普度衆生早廻程早  
廻程若人認得無生母半夜三更日

月紅



三寶以慈度賢良善男信女進舡倉進  
船倉度盡失鄉兒和女華開九葉是

道場

晝夜持誦無字經採取先天真陽精真  
陽精水火均平玉爐煉煉就金剛不  
壞身

正

多寶如來說妙玄普度大地女共男女  
共男五十三叅了後事個個同皈極  
樂天

善男信女早迴心結跏趺坐煉成真煉

成真寶滿三千真佛子刹那同皈淨

土天



日月光如來分第三十四

說日月光如來此是日月燈明佛初始

至如今若知如來體三世大慈尊度

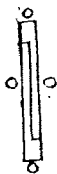
盡衆生苦二元了義經法華最為上

常轉妙法輪聞聽四句偈晝夜無暫

停隨佛循環轉脫離苦海中日月淨

明德佛一慈悲救濟衆生按一年四季交節四時不錯八面方圓春功之境萬物發生開花結果子粒結成佛恩難報不報佛恩到呼小名造業如山難離苦海若人上根上智持經四句妙偈心淨禪定有定前蓮華有退為編正偏知明性足纔是脩行善知識

識





古佛大慈尊  
普度那賢人

得寶超三界  
三世坐蓮心

日月菩薩常出世  
四十八願度衆生

老翁本是蓮華現  
老母掌管一藏經

古佛那有傍門法  
一法度盡世間人

每日送着三叅飯  
到着衆生叫小名

邪教傍門怕日炙  
他脩地穴黑窟籠

魚鼈蝦蟇怕日炙  
地土毫在黑窟籠

螺螄蛤蚌是海味

蠢侷含靈煉太陽

逆子非人不知理

非念彌陀般若香

邪教傍門無耻無羞到處騙人錢罪如

恒沙高如泰山四生六道啣鉄負鞍

用命還債幾時把業還滿

### 掛金鎖

持誦真經鎖住心猿意馬結跏趺坐入  
在無量義熬鉛煉汞寶滿結具足採

取先天本是波羅蜜

復聞諸佛有大神通力妙法蓮華傳留  
在塵世普度衆生個個超凡聖道了  
家鄉同赴龍華會

諸天宮殿亦無諸惡道身出光明毫光  
千萬道混源一炁與佛同歡樂穩坐  
金蓮續上長生道

多寶世尊所說菩薩道普度失鄉個個

成佛道九十二億同皈圓頓教智慧  
男女早把塵牢跳

邪教傍門千佛也難懺不拜真經到拜  
獸爪懺不知香臭逐朝在黑暗初世  
為人真假難分辨

指他徑路拽着脖子言聽得成佛不敢  
未成望迷在紅塵千佛也難懺小乘  
之人怎見真佛面

日月珠光如來分第三十五

說日月珠光如來者是無價寶珠者真  
性也人人具此真性不能所脩胡談  
假論自己不明皈家徑路朗朗光蓮  
華蓋體晝夜常明採取先天上下週  
行羅睺羅阿脩羅名為父母小貧兒  
得母乳食寶滿十分富樓那老長者  
家財浩大有寶珠千萬億打開了寶

截庫普濟衆生無價寶珠於諸親友  
無緣難遇難逢又貪財又貪酒酒醉  
不惺摩尼珠無價寶繫其衣內時卧  
都不覺知識忽然親見滿心歡喜此  
是日月珠光普照法界本來面目亦  
復如是成佛道已

若見法中王 晝夜亮堂堂  
慧燈常不滅 常聞般若香

無字經  
是法華  
普照法界

四部洲  
八卦轉  
普度衆生

迷衆生  
不認真  
只拜假相

後無始  
至如今  
迷在塵中

今遇着  
古彌陀  
點開眼目

悟開了  
天井水  
甘露洒心

多寶佛  
駕法船  
親來接引

富樓那  
無價寶  
普濟衆生



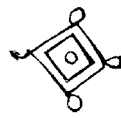
得了寶 不非輕 滿心歡喜  
無為體 妙莊嚴 本性圓明  
求莊嚴 求佛道 休要悞了  
二六時 無間斷 持誦真經  
忽一時 九轉丹 功圓果滿  
有仙童 前引路 起在虛空  
滿虛空 仙樂响 幢幡寶蓋  
那應時 皈淨土 同坐蓮心

卍



般若真經自古常明無始至而今法輪  
常轉普度衆生有緣得遇無緣難逢  
只拜假相個個撲頑空

### 錦庭樂



無為法甚深妙玄誰人叅透解悟多般  
晝夜煅煉着天若把乾坤推轉神力  
多般勇猛功撞透了玄關毫光萬道  
照徹三天白天鵝飛上空玄那應時

人人都惺纔認得真言蘊空法妙理  
玄玄仙童接引寶蓋幢幡兩壁廂音  
樂喧喧六種震動纔顯金仙念佛人  
晝夜無閑行來行去採取先天提一  
念三迴九轉撞開了玄關一竅證果  
朝元無字經般若慈航普度善男信  
女返本還源脩行人要心堅牢拴意  
馬鎖住心降龍虎一處而眠我把魔

王逼散即走無邊纔顯出自在仙光  
明朗普覆十方遍乾坤焚寶香垂珠  
瓔珞恭敬法王衆諸佛早早還鄉休  
貪塵世早皈西方皈寂靜無寒無暑  
諸天宮殿一段金光大智慧早皈淨  
土無邊快樂亦可在人間尾声若人  
認德天人面斬斷輪迴再休貪跟我  
皈家都是自在仙

慧幢勝王如來分第三十六

說慧幢勝王如來脩行人大智慧休恋  
塵世熬煉三年五載現出勝王法體  
遍滿法界幢旛寶蓋排滿虛空鉄樹  
開華萬道光生清淨惠當知圓滿菩  
提性無取亦無證無菩薩衆生是則  
菩薩與衆生同此菩提性也八萬菩  
薩皆於阿耨菩提不退轉者明此真

性也人人具此真性不能所脩迷在  
娑婆苦海貪一切財寶貪一切歡樂  
貪一切酒色心生貪戀意起煩惱自  
今阿僧祇劫五濁惡世所謂劫濁煩  
惱濁衆生濁見濁命生百種愚慳貪  
嫉妬造罪如山難離苦海古佛大慈  
悲出現於世留下真經普度衆生聞  
經悟解個個超出苦海

真經本無字 三藏傳留世

內轉無字經 持誦波羅密

無字經 在空玄 目前問訊

點開了 通天眼 大道分明

本來面 原清淨 白毫玉瑞

六根清 無塵垢 自現金丹

脩行人 掃萬法 自光自体

授佛戒 五戒清 大道觀成



大道正  
人要正  
心正踴躍

提正念  
無間斷  
剎那之中

行正法  
牢收寶  
休要泄漏

忽一時  
丹書詔  
仙榜題名

纔現出  
脩行人  
皈空了道

那應時  
受天福  
自在縱橫

愚痴人  
五濁心  
不生智慧

一個個  
爭名利  
昧已瞞心

卍

●

我勸你 早迴心 恭敬三寶

皈依佛 成證覺 龍華相逢

無字真經晝夜常明悟解得明心清淨  
入定定中有惺六種震動白牛翻身

獅子大吼滾上鉄崑崙

浪淘沙



大摩訶在目前八寶莊嚴垂光接引衆  
賢良若人認得西來意採取先天



波羅密最上乘那有三乘一乘大法度  
衆生有二有三非成道小乘之人

古彌陀大乘經普度衆生點化男女個  
個成銀城取得真甘露點鉄成金

優婆塞優婆夷合掌瞻禮恭敬三寶悟  
須彌採取先天真甘露成佛道已

道開在彼岸邊普度有緣無字真經廣  
留傳清淨寶園花果盛普散諸仙

普度你要有緣火候週天煉成至寶上  
尼丸眉肩白毫生瑞炁依則為難

紡絲娘

中庄村賈老公功名進士悟長生授持

佛偈脩堅固

弥陀伏

佛道無上誓願

成

伏弥陀伏

成佛道在一身無中生有立乾坤丹田

聚下無價寶

弥陀伏

眉肩白毫瑞炁

生  
伏 弥陀 伏

主中主賓裏賓除了說話還有人若人

親見主中主  
弥陀 伏 霞光一段丈六

身  
伏 弥陀 伏



成佛道也不難  
三皈五戒要精嚴頓悟

真空是徑路  
弥陀 伏 同生西方極樂

天  
伏 弥陀 伏

無為法最上乘  
禪中入定鐘鼓鳴滿空

一片細樂嚮弥陀伏無孔鉄笛透玲

玲伏 弥陀伏

葫穿膝幾人明喜鵲噪頂海歌聲盧鴉

報曉金鷄唱弥陀佛分明擁護主人

公伏 弥陀伏

來去路說分明提起正念剎那中三関

九竅一齊透弥陀伏上昇須彌尼九

宮伏 弥陀伏

卍

大智慧早回心晝夜持誦無字經真經

無字毫光顯弥陀伏本來面目與佛

同伏弥陀伏

無字經是法華晝夜常明一段光若人

認得西來意弥陀伏多年枯樹開蓮

華伏弥陀伏

釋迦佛東皇宮懼怕生死苦脩行大地

男女聞佛號弥陀佛上根上智看佛

成  
伏 弥陀 伏

大智慧煉金丹三身四智體中圓八解

六通成佛道  
弥陀 伏 六根清淨自在

仙  
伏 弥陀 伏

從無始至而今生來死去無盡窮今朝

指與西方徑  
弥陀 伏 同往西方極樂

宮  
伏 弥陀 伏

佛淨土福無窮不生不滅無災星無寒

無暑無凋變

彌陀伏

無秋無夏亦無

冬伏彌陀伏

富樓那是天人普度大地衆群生銀城

取得真甘露

彌陀伏

點化男女個個

成伏彌陀伏

會中人你知因九祖先亡在塵中度盡

失鄉兒和女

彌陀伏

古佛後觀五百

春伏彌陀伏

卍

末劫數五百春三佛換位大翻身我今

奉勸文章士弥陀伏隄防早皈極樂

宮伏弥陀伏

脩行人要慇懃休恋閻浮濁世情晝夜

常把真經誦弥陀伏功圓果滿坐蓮

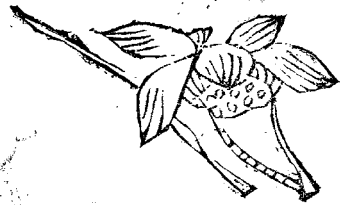
心伏弥陀伏

開法門遇緣人留下紙墨問訊信助宣

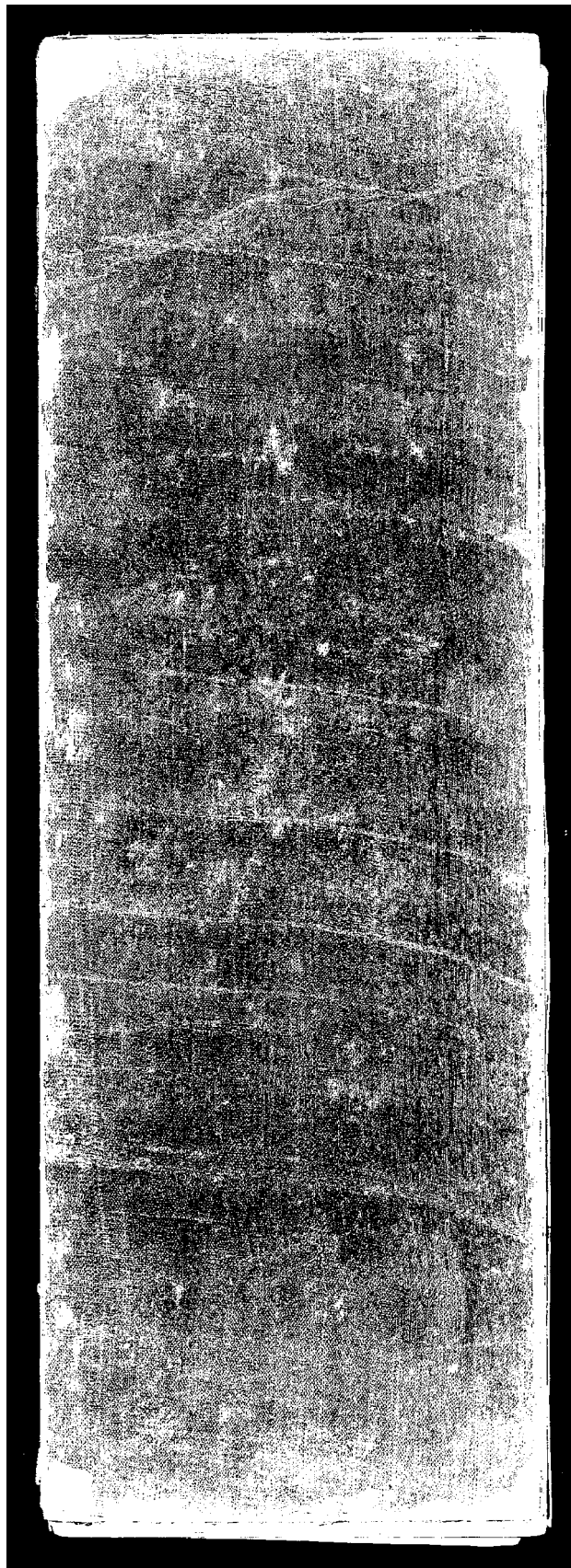
佛道皈無上弥陀伏授持佛戒出沉



淪  
伏  
彌  
陀  
伏



普  
覆  
週  
流  
五  
十  
三  
叅  
寶  
卷  
中



普覆週流五十三叅寶卷  
下

普覆週流五十三叅寶卷下

獅子吼自在力王如來分第三十七  
說獅子吼自在力王如來諸佛菩薩千  
變萬化普度衆生有緣有分親聞悟  
解五十三叅叅見佛四十八願願  
願成佛慤懃瞻禮恭敬如來清淨禪  
定皆得自在神通青龍翻海大吼一  
聲神力廣大起在虛空無量億處魏

巍不動朗朗光明人身有体佛性無  
形毫光萬道瑞氣騰騰真實寶相有  
身非真空色同体借假脩真如佛知  
見色身雖小包含天地本來面目徹  
內徹外明徹海底上下皆同本無差  
錯一樣成真

無為大法王 慈愍度失鄉

合掌瞻仰禮 得見法中王

念佛須念無字經

合掌瞻仰兩足尊

逐朝三叅休空過

禪中入定針對針

一心觀佛成正果

一心不退自成真

一心除亂無缺路

一心清淨誦真經

一心採取先天炁

一心執住定南針

一心念佛佛出現

一心誦經經自明

一心脩行求佛道

一心授戒五戒精

一心頓悟禪入定

有二有三撲頑空

一根清淨無二無三有三是徒然一乘  
大法留得方圓一佛出現普度南閩  
度盡衆生同歸極樂天

鬼睜眼後帶江上歌



苦勸大衆早回心休恋紅塵晝夜隨佛  
轉法輪真經無字普覆乾坤這個就  
是出身偈那裡跟尋採取先天真陽  
精妙法蓮華無字真經晝夜循環如

流水那有暫停朝朝每日度衆生不  
足餓鬼睜開慧眼觀見世尊今朝嬰  
兒得了母喜笑歡容乳哺飽滿丈六  
全身脫了凡胎淨土安身得個人身  
休錯過辨道脩行週天火候煉成聖  
人再不輪迴認母投東堅牢固久長  
生道借假修真煅煉水火鉛汞交宮  
上身出水海底撈明會下手得早下



手休錯過這光陰一寸光陰一寸金  
呼氣難保吸氣難存度盡生老病死  
苦龍華相逢纔顯脩行辦道人同號  
同名那有三乘 江上歌

無字真經在蘊空空在蘊空心清意淨把

真經誦

牙

點起智慧燈晝夜放光明

空即是色色即是空

ヒ

無為大法最上乘打開寶藏把真經誦

牙摩訶般若經妙法普流通度盡間  
浮世界人ト

妙音勝如來分第三十八

卍

說妙音勝如來脩行之人若得音勝果  
勝音鳴心明百鳥來朝五音六語齊  
聲歌唱五更頭更更有惺鐘鼓齊鳴  
三迴九轉霹靂一聲毫光萬道起在  
虛空出明入暗杳杳冥冥幢幡寶蓋

枝樂歌頌無孔鉄笛助大音聲無為  
妙音聲接引脩行之人六根清淨是  
天鼓自然鳴脩行悟開性自然出妙  
聲晝夜禪入定意在蘊空中正心勿  
生疑得到刹那中五慾皆已斷頓悟  
太虛空通達無礙時心生大歡喜纔  
得長生道同皈極樂宮

有人求佛道 空處讀誦經

妙音無其數  
鐘鼓一齊鳴

勤加精進脩佛道  
速得成佛不落空

真經無字是寶相  
叅拜假相錯用心

持經隨佛循環轉  
清淨伴佛慧燈明

無字法華最為上  
普覆週流度衆生

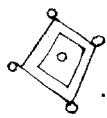
時時採取先天炁  
即得下苦悟長生

醍醐灌頂禪入定  
自然鐘鼓一齊鳴

金鐘不撞連聲响  
空谷傳聲賽雷鳴

無字真經當空現 分明擁護主人公  
無字真經本是天人無始至如今法輪  
常轉普度衆生迷人非識錯路脩行  
登山邁嶺枉看五千經

翻山燕



大衆賢良你是聽饒你講得千經論不  
如悟性大開通九轉還丹皈寂淨燬  
煉四相合五行醍醐灌頂禪入定無

影寺裡鐘鼓鳴叮叮噹噹噹叮叮  
叮噹叮一調聲呀好一個真人起在  
虛空毫光萬道圍遶定牟尼寶珠奉  
當空感應天人來送供百鳥來朝助

音聲噪噪鬧鬧鬧噪噪鬧鬧噪

海歌聲呀好一個鳥聲驚惺了主人

公半夜三更日月紅五音六語齊聲  
奉啞叭說話聾子聽玄妙之法誰知

道丈六葫蘆水上飄忽忽悠悠悠悠  
忽忽忽悠悠忽上青霄呀丈六根苗  
身跨鸞鶴莊嚴聖體霞光照普覆十  
方放光明五百羅漢真經誦鏡鉢鈴  
鼓响玲玲光光刹刹刹光光光刹  
刹光滿空聲呀天耳遙聞未得音聲  
不知不几來不知聖未下辛苦未得  
明點開天眼通九聖多寶佛塔在其

中寶塔金鈴萬億衆風吹金鈴滿空  
聲叮叮噹噹噹叮叮叮噹噹叮滿  
空聲呀

古佛全身出大音聲接引東土衆賢人

個個都有還源分休戀問浮苦沉淪

尾聲

大衆賢良聽我言早皈西方極

樂天躲過娑婆塵世苦跟我皈家都  
是自在仙





常光幢如来分第三十九

說常光幢如来是寶相如来常放光明  
常五勝幡幢幡寶盖常放光明蓮花  
盖体晝夜常明學道之人心清踴躍  
常聚足菩薩之道而得菩提證果其  
意柔軟寂然清淨末後同生西方成  
佛是皆以清淨本体而顯神通妙用  
常然審諦清淨說法普度失鄉後代

佛子得六根清淨成佛道矣有塵有  
垢荒收空田枉有秋智慧男女休錯  
過今生生死事大加功進步脩行得  
道個個明心見性同登彼岸若脩行  
人寶滿三千大千世界七寶聚足持  
誦真經乃至四句偈等皆脩大乘者  
皆得見性成佛大果報是也會麼

六根清淨時

晝夜放光輝

圓滿菩提性 本是舍利子

若人人 成佛道 六根清淨

眼清淨 觀三千 得見法王

耳清淨 聞音聲 鐘鼓齊响

鼻清淨 聞菩薩 般若真香

舌清淨 廣長舌 講經說法

身清淨 顯金身 放大光明

意清淨 無量意 白毫玉蕊

卍



這六根 不清淨 六賊魔王

這六根 不清淨 名為六慾

其中有 真仙子 能破魔王

鎖心猿 拴意馬 自然清淨

清淨體 大莊嚴 自得還鄉

本來面 原清淨 如佛知見

波羅密 無為法 最上一乘

六根清 無缺路 名為六度

勸大衆 休貪世 早早還鄉

六根清淨果報人天無為最牢堅三千  
大千萬古留傳持經四句入聖超凡  
若人惺悟皈家上乘仙

懶畫耳州

善勇信女加精進 早早尋條出身徑休  
恋紅塵無字真經常持誦禪定採取  
明心性亦無退步清風明月常伴定

蓮花蓋裡安身命亦無間斷七量臺  
上提正念遊戲神通諸宮殿親見分  
明本性如佛知得見掃盡萬法光明  
現

智慧男女皈正道家中都有法名號無  
始以來這竅出來入那竅脫骨如山  
難得樂古佛慈悲普度緣人皈極樂  
堅牢固久長生道永續長生龍華會

上同歡樂穩坐金蓮哈哈笑体掛仙  
八寶莊嚴霞光照男女纔得長生道  
觀世燈如來分第四十

說觀世燈如來者日照晝月照夜燈照  
內外能破一切黑暗能救一切衆生  
是時日月燈明佛說大乘經名無量  
億教化無量無邊衆生同登彼岸是  
必發無上菩提心依大乘法明心見

性成佛自修堅固得阿耨菩提而皆  
成佛道欲修梵行善本或持佛戒或  
誦經典或朝夜禪定或修大乘法開  
道群迷或禮念阿彌陀佛同脩淨土  
得聞清淨法名利無濁穢我若滅度  
後次第若說法通達無量億普度諸  
衆生同赴龍華會

若聞清淨法 不敢輕慢時



萬法皆已斷 晝夜放光輝

念佛人 如流水 無停無住

二六時 無間斷 上下週行

提惺了 主中主 坎離顛倒

參透了 三乘法 知上知中

原來性 能通達 來踪去路

脩行人 掃萬法 還問來人

本來面 原清淨 白毫玉蓋



卍

愚痴人  
貪塵垢  
迷在塵中

古彌陀  
大慈悲  
親來轉化

駕一隻  
大法船  
普度衆生

諸佛子  
十萬億  
各加精進

一志心  
求佛道  
跳出紅塵

阿僧祇  
末劫教  
五濁惡世

清淨男  
智慧女  
辨道脩行

久遠心  
不退步  
家鄉接引

有仙童 前引路 起在虛空

無為大法出世之因迷人盡不通只貪  
萬法迷在塵中古佛慈悲留下經文  
若依佛言個個出沉淪

### 浪淘沙

古彌陀大慈悲普度群迷般若慈船繞  
須彌度盡失鄉兒和女同赴瑤池  
修行人要慇懃功上加功煉成至寶上

崑崙漸漸聚足菩薩道体用雙行

勸大衆早回心持誦真經四句妙偈諸

佛根阿難一教大藏法普度衆生

念佛人要心虔佛在目前合掌瞻禮到

佛前嬰兒得見無生母返本還元

慧威燈王如來分第四十一

說慧威燈王如來威燈不滅法中之王

朗朗光明普照十方救濟衆生如寒

得火如暗得燈如貧得寶嬰兒得母  
如民得王如飢得食如渴得水修行  
得道大智慧點起盞智慧明燈晝夜  
常明與佛無二亦復如是脩行人慧  
燈明甘露滿枯木逢春冰散火消徧  
體純陽草木叢林開花結果一兩津  
潤一樣成真諸修行得道不離大摩  
訶中隨佛運轉意掛蓮心久遠成道

同登彼岸



修行慧燈明 採取真陽精

男女飲入腹 佛体得現成

人人有 真佛性 現成佛体

又瞞心 又昧已 迷在塵中

後無始 到如今 未得脫苦

古彌陀 大慈悲 愍念衆生

化現他 多寶佛 善才說法



若思食	若思衣	佛淨土	不思善	把彌陀	善男子	至而今	優婆塞
禪悅食	無價衣	長春景	不思惡	着力提	善女人	末劫數	優婆夷
法喜美饌	八寶莊嚴	無寒無暑	修就天人	不敢輕慢	辦道修行	苦中更苦	聽法聞經

諸菩薩 齊擁護 作佛道場

勸大眾 求佛道 皈依佛土

亦可在 凡世間 苦受艱難

善勇信女即便修行跳出火坑中速得

佛道證果金身普皆金色身出光明

飛行自在堅固緒長生

羅江怨

五

後無始至如今迷衆生不認真生來死



去無窮盡古彌陀大慈愍駕法船度  
衆生來來徃徃常搬運認的他不死  
人伴明月共清風那應時與佛同一  
性

不思善不思惡淨心而念彌陀時時刻  
刻明上坐休離大摩訶無字真經內  
轉着三回九轉黃庭過行也念彌陀  
成等證覺皈極樂

愚痴人不皈法把修行當戲耍發下誓  
願天來大五戒清逕皈家罷犯五戒  
罪恒沙無恥衆生全不怕五戒忽若  
忍他鎖心猿拴意馬一筆勾斷皈家

罷

授佛偈得堅牢發誓願跳塵牢五戒清  
淨成佛道四句偈最為高念佛人牢  
收寶丹田聚足無價寶提正念上青

霄六根清淨放白毫貧人得寶把皮

囊擦



法勝王如來分第四十二

說法勝王如來乃是無為大法三世慈

尊法輪常轉普度衆生大乘平等法

無有高下是名阿耨多羅三藐三菩

提法一法普流通佛法僧三寶原後

一法生度盡失鄉子無有四相無我

相無人相無衆生相無壽者相若有  
我相人相衆生相壽者相即是非相  
若修行人信心清淨即是實相離色  
離相成就第一福智無比福勝果勝  
信心明了自性斬斷輪迴再不貪無  
智愚人貪一切財寶貪一切女色貪  
一切歌樂心生貪戀難躲輪迴若人  
上根上智皈依佛法僧三寶即成佛

道有何難也

卍

罪業本來無 自作墮三塗

萬法皆已斷 皈家何如如

本來面 原清淨 如佛知見

行又來 行又去 進斗穿宮

莊嚴相 生玉蕊 毫光萬道

希有事 難惺悟 迷在塵中

指與你 皈家路 蹭蹬退步





一人退  
人難進  
擋住多人

智慧男  
諸信女  
助宣佛道

一個個  
成證覺  
同赴道場

求佛道  
二六時  
加功進步

調睡眠  
定呼吸  
努力加功

左青龍  
徃上昇  
翻江攪海

主中主  
出玄門  
鐘鼓齊鳴

愚痴人  
難信心  
希有之事



學道人 不下苦 未得心明

脩行人 苦中苦 煉成佛性

得道人 大通達 去路來踪

正信稀有持誦法華普度百千家人人

得道枯木發芽心華發現普照恒沙

春來日暖無樹不放花

下山虎

學道人要心堅三皈五戒要精嚴時時

保守長生道心清意淨誦真言四句  
偈最高玄普度大地女共男摩訶般  
若真父母母養靈山一會人愚痴子  
不迴程遺差甲木左金童度盡失鄉  
兒和女纔是靈山一會人提正念意  
掛空伴定

古佛轉法輪二六時中無停住上下週  
行採陽精如甘露點成金堅牢固久



丈八身人人都有真佛性不肯回頭  
辦脩行喫酒肉昧血心自作自受串  
沉淪古佛慈悲度一切五百年前遇  
真僧無為法普流通九祖先亡在塵  
中休恋娑婆塵世苦早早回頭續傳  
燈得正法剎那中朗然如日照乾坤

須彌光如來分第四十三

說須彌光如來上至須彌為頂下至阿

鼻地獄智慧男女早發菩提善心能  
脩西方淨土亦可東土艱難入佛門  
授佛戒三皈保守五戒清淨熬煉三  
年五載須彌頂上放大光明人與天  
地亦復如是須彌山彌樓山摩訶彌  
樓山鉄圍山大鉄圍山小鉄圍山崑  
崙山六種震動時霹靂震山川顯出  
無價寶朗朗在空玄如佛無物比金

剛真實相其大歡喜有等愚痴人誦  
曲心不實未明謂得道自迷不知迷  
未見性八滅非是善知識若人有大  
智得佛無上慧入滅真實滅成佛原

無二

此經功德勝

悟解得授持

佛子逢石得

拍手笑微微

此經功德最為上

須彌頂上智慧燈

照破魔王八萬四  
恒沙世界透玲瓏

各顯神通垂寶像  
佛子石得笑顏生

左三右四齊擁護  
良馬見鞭疾如風

六陰六陽明了了  
十萬八千剎那中

六丁六甲成一體  
能破黑暗晝夜明

巍巍不動無量億  
三昧禪定渾成真

修行纔得長生道  
毫光罩定紫金身

修行之人降伏其心  
點起智慧燈四維

上下白毫光明所照之處與佛同明  
亦復如是人與天地同

金字經

法船來到倒馬關普度闍會女共男上  
法船一槁到彼岸邊皈淨土皈淨土  
同皈西方極樂天

船開彼岸度眾生五十三叅大乘經最  
分明三寶佛法普流通得解悟ヒ三

世慈尊正教門

千門萬戶一人收多寶如來大船頭把  
圓收度盡衆生離閻浮皀寂淨皀真  
訣一點到地頭

無為大法普流通傳留在世度衆生有  
緣人得聞正法續傳燈皀仙眷皀九  
祖先亡在塵中

須摩那華光如來分第四十四

說須摩那華光如來乃是天人阿修羅  
羅睺羅佛長子密行那蹈七寶華若  
修行人心靜踴躍在無量億處三昧  
禪定那蹈七寶華與天人亦復如是  
只是人人不得真訣胡談假論各轉  
一德不能方圓念經拜懺有為之法  
無用之處無為大乘法六合波羅密  
若人聞此經持誦四句偈認得不死

人得佛無上清佛子何因緣同赴龍

華會

無上大乘法 聞佛皆具足

得了無價寶 同皈極樂國

靜心採取先天炁 須彌頂上亮堂堂

照破從前貪塵病 徧體純陽放毫光

念佛須要鎖心猿 隄防馬劣猴又顛

五戒清淨真佛子 觸犯五戒隨幽冥



地獄受罪犯戒子 八萬毛孔盡生疔  
疔死四大難脫苦 八十一劫怎翻身  
我勸大地男共女 五戒清淨掛仙名  
家中都有法名號 休戀閻浮濁世情  
三皈保守五戒精 嚴煅煉上乘仙四相  
採取八卦週行上 昇下降坎離交宮  
功圓果滿同皈極樂宮

桂枝香



軍城路過度了個師婆既是咱佛家弟  
子把邪法從今改過晝夜家念佛ヒ  
休習師婆假粧神語信口開豁搖頭  
擺腦甚模樣假稱神語信口說ヒ

佛子尊重巍巍不動無量億常在空懸  
伴古佛三昧禪定持誦真經ヒ無邊  
妙用法華無字普覆乾坤若人認得  
西來意皆成佛道剎那中ヒ



無為妙用真禪入定兩壁廂歌舞吹笙  
幢幡蓋兩邊排定顯大神通匕六種  
震動闖過三関穿透九宮霹靂一聲  
雲消散牟尼寶珠捧當空匕

無為法現船開彼岸普度你大地衆生  
大智慧同登彼岸度得是有緣匕同  
皈仙眷無為大法般若慈航東方多  
寶親來度西方白虎化金仙

優曇鉢羅華殊勝王如來今第四十五

說優曇鉢羅華殊勝王如來後無始以  
來至今三千七百八十年明顯顯者  
金輪王出世七九之數明明現明七  
暗九遇金仙戊巳門開傳大道皇極  
古佛說妙玄千變萬化度衆生九祖  
先亡在世間若知古佛玄妙意古佛  
後觀五百年度盡娑婆塵世苦九九

之數總收圓叮寧苦勸大地男共女  
父母俱全好脩行父母皈空難進步  
進步無路最難行趁早尋個安身處  
錯過今生永難逢若脩堅固道空處  
讀誦經皆得見真性清淨古光明

優曇鉢羅華 一年四季開

五百末劫數 慈愍度良才

光明祖 度盡了 九十二億

優婆塞 優婆夷 早早回宮

有五百 阿羅漢 助宣佛法

有九祖 大慈愍 普度衆生

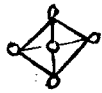
諸佛子 無量億 早出塵世

學無學 辟支佛 一切聲聞

衆知識 度一切 明七暗九

大摩訶 般若船 普度衆生

阿難陀 三藏經 傳留在世



迷衆生 貪塵世 利慾纏身

掃萬法 緊隄防 三佛換位

發弘誓 捨身心 恭敬法王

雙合掌 舉真香 佛前瞻禮

到佛前 親見佛 孤客還鄉

古彌陀 度一切 因緣之事

度盡了 衆生苦 圓滿道場

善才住世留下經文普度納賢人無為

卍

大法普運流通隨喜聞道休戀紅塵  
皈依寂靜同皈極樂宮

掛針兒

船開來到娘子神普度男女有緣人同  
心合意辦脩行煉成至寶放光明照  
得恒沙徹底清果證西方大覺尊  
一船普度百千家其數無量如恒沙千  
門萬戶皈正法無字真經是法華枯



木逢春發靈芽一兩津潤無二法

戊巳門開早還鄉九祖先亡在下方不  
得正法口難開多寶如來按東方三  
寶同体入中央戊巳土上化賢良

一法通時萬法通吾度男女有緣人跟  
定古佛往家行心清意淨日月明禪  
中入定見當人纔是脩行辦道人

大慧力王如來分第四十六

說大慧力王如來得佛無上慧得阿耨  
多羅三藐三菩提偈若人有大自在  
神通之力推轉乾坤陰陽顛倒上下  
昇騰撥轉玄關通開金鎖朗朗光明  
無塵無垢慧眼見月心定見性通達  
無碍智撞開玄關竅得大神通力到  
於佛國土其心大歡喜佛放眉間光  
混源同一炁八寶大莊嚴清淨琉璃

為地以界八道四維上下白毫祥光  
所照之處善男子及清信士女佛國  
好風光早早還源位晝夜誦真經定  
南針對針

讀誦無字經

蓮華蓋內居

晝夜隨佛轉

法華為第一

五十三叅甚深妙

叅透玄關萬法通

掃盡萬法浮雲退

須彌頂上放光明

在天垂相菩提子  
在地成形三聖僧

三極同生常在世  
娑婆苦海度衆生

三寶元來同一炁  
三佛普度九世人

九轉還丹皈原位  
八十一劫續長生

人人纔得長生道  
親聞四句去皈宮

休等老來方學道  
年力精壯好修行

年力精壯水火俱全  
煅煉不老仙四相

圍遶八卦週天抽添  
退火入聖超凡

持經四句果成大羅仙

紡絲娘

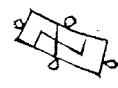
化圪塔女釵裙討要佛曲辦脩行大道  
不在紙上了弥陀伏無字真經在蘊空

陀伏  
伏弥

善男子善女人子午卯酉拜真空每日

三叅休空過弥陀伏跟定古佛往家行

陀伏  
伏弥



無字經是法華晝夜常明一段霞普度

善男和信女弥陀伏心清意淨轉法華

弥陀伏



煉甲木左金童多寶古佛降來臨度盡

失鄉兒和女弥陀伏青霄霧外去安身

弥陀伏



煉南方火丙丁三昧真人在其中煉成

一塊天外寶弥陀伏脫離閻浮苦沉淪

陀伏  
伏弥

煉西方庚辛金普賢菩薩顯神通靈符

一道收天地弥陀伏度盡閻浮世間人

陀伏  
伏弥

卐

煉北方壬癸水水生蓮翻海底上照

五蘊天界外弥陀伏採取真陽坎中取

陀伏  
伏弥



煉中央戊己土皇極說法皈洞府若知

古佛玄妙意弥陀伏身跨鸞鶴白鶴舞

陀伏  
伏弥

阿閼毘歡喜光如來分第四十七

說阿閼毘歡喜光如來乃是東阿閼西

彌陀十三條大罪犯僧婆及波羅勤

懺悔罪消磨如來設教度娑婆東方

扶桑國西方極樂天投東修阿閼不

修極樂天貪着五慾樂迷在九世間



各人生死事大無常迅速如水上浮  
漚速起速滅富貴榮花功名蓋世公  
侯王子都有無常二字忽時鬼王獄  
卒來勾豈容展限一切萬物都丟下  
到頭業報自家當不如念佛成佛道  
三昧真火煉金剛煉就金身無毀壞  
堅牢固久大法王

無上堅固道

金剛不壞身

持經四句偈

佛放大光明

如來佛性人人有

酒色財氣迷塵中

上根上智脩真性

三皈保守五戒精

諸塵不染黃天道

無塵無垢清淨門

休爭世間名和利

柔軟忍讓辦修行

霸王爭名烏江喪

韓信爭名肉有坑

讚嘆英雄豪傑漢

存孝爭名五車爭

榮華富貴難脫苦

功名蓋世總是空

一心修行成佛道 煉成金剛不壞身  
釋迦文佛棄捨皇宮雪山苦修行不貪  
富貴不貪功名六年苦行煉成金身  
智慧男女個個看佛成

浪淘沙

罩里凹李老公訪道修行道在一身問  
何人眉間毫光生玉瑞親見分明  
主中主賓里賓內有真人無中生有立

乾坤若人親見主中主丈六金身

長生路也不難意掛空懸晝夜隨佛轉

循環時時採取先天炁證果朝元

修行人要分明持誦真經此經無子最

分明千變萬化把衆生度個個超生

無量音聲王如來分第四十八

說無量音聲王如來修行之人禪中入

定出禪入禪授持此經讀誦此經以

是清淨耳聞三千大千世界下至阿  
鼻地獄上至有頂其中內外種種語  
言音聲馬聲牛聲車聲啼哭聲愁嘆  
聲鑼聲鼓聲鐘聲鈴聲笑聲語聲男  
聲女聲音童子聲童女聲法聲非法聲  
苦聲樂聲凡夫聲聖人聲喜聲不喜  
聲天聲龍聲夜叉聲乾闥婆聲阿修  
羅聲迦樓羅聲緊那羅聲摩睺羅聲

伽聲火聲水聲風聲地獄聲畜生聲  
餓鬼聲比丘聲比丘尼聲聲聞聲辟  
支佛聲菩薩聲佛聲簫笛聲迦陵頻  
伽聲以要言之三千大千世界中一  
切內外所有諸聲雖未得天耳

無數諸佛子 迷在苦海中

妙音無其數 未得天耳聞

無量佛子授佛戒 持經四句福無窮

蘊空妙法分明現

採取先天真陽精

樓那長者無價寶

普散諸人證無生

貧人得寶還元位

證果丈六紫金身

家鄉接引音樂響

亦如神力剎那中

不下辛苦難成器

定中活計針對針

晝夜隨佛循環轉

無影樹下好修行

出禪入禪毫光現

法體普覆大乾坤

禪中入定努力行功擊碎鉄崑崙泥牛

翻海絕斷命根南嶽發鼓北國撞鐘  
滿空音樂頻頻不絕聲

拾棒鼓



禪中入定調音聲風聲鈴聲ヒ海馬水

牛吼一聲驚惺主公ヒ

忽時有惺打一更親見無生ヒ普天匝

地放光明普覆乾坤ヒ

禪中入定細琢磨擊鼓篩鑼ヒ夢中驚



惺笑哈哈親見彌陀ヒ

心清意淨誦真經鐘鼓齊鳴ヒ好似春

雷吼一聲驚惺當人ヒ

忽然有惺打二更見性明心ヒ毫光萬

道單真人性海寬洪ヒ

頻伽俊鳥美音聲齊唱玄歌ヒ水流風

動演摩訶親見彌陀ヒ

阿脩羅聲菩薩聲乃是天人ヒ聲聲喚

惺主人公纔打三更ヒ

天聲龍聲羅睺羅普度娑婆ヒ善男信

女除五濁親見彌陀ヒ

男聲女聲童子聲音度衆生ヒ畜生餓

鬼吼一聲惺惺當人ヒ

忽然睜眼大天明纔打四更ヒ日月朗

朗照當空迷人不聞ヒ

簫聲笛聲海歌聲接引衆生ヒ迷人不

惺半毫分迷在塵中ヒ

水聲火聲霧騰騰詭了一驚ヒ南樓發

鼓打五更跳出火坑ヒ

才光如来分第四十九

說才光如来有才无光无才无智愚人  
貪塵恋世五慾邪淫自損靈光不得  
出期若人上根上智覷破浮世虛花  
定不長久迴光返照自己悟道成真

乃是棟樑之才自修堅固得無上佛道  
亦無退步無有疑惑其意柔軟寂然  
清淨一心觀佛末後同時於十方國  
各得成佛皆得同名同號若有人聞  
無字真經乃至一偈一句一念隨喜  
得無上佛道真經乃是佛祖之骨髓  
人天眼睛一截真經普度衆生之心  
地堅固又守齋戒五戒清淨再不輪

迴成佛道矣



此經功德最上乘 普度衆生脫苦淪  
若得古佛真三昧 再不輪迴轉四生

勸大衆 早迴心 休貪塵世

二六時 休間斷 持誦真經

心要清 意要淨 隨佛運轉

採先天 真精炁 上下週行

若得了 無價寶 無上佛慧



卍

無價寶

古彌陀

普散諸人

迷衆生

不認真

只拜假像

有形像

非為真

撲了頑空

諸佛祖

都出在

四句偈內

無字經

大摩訶

普度衆生

西來意

玄妙法

無中生有

從無始

到如今

不減不增

無為法

大乘經

傳留在世

波羅密 常持誦 最上一乘

法華經 為根本 古佛骨髓

度盡了 衆生苦 同去皈空

善勇信女休信邪宗本是一炁生法華

臺上妙法齊生三寶通体三性圓明

還丹九轉個個出沉淪

轉洲城



無為奧妙般若心經光明朗朗普覆滿

乾坤上照五蘊天界外下透恒沙徹  
底清真經無字最為上普度大地衆  
群蒙出三界脫苦輪貧人得寶出三  
界徑到了極樂宮

西來大法無字真經在在處處普度有  
緣人法身徧滿三千界二六時中無  
暫停四相圍繞朝元祖八卦週行度  
衆生超三界跳凡籠六根清淨如神



力徑了極樂宮

修行辦道功上加功清淨淨淨隨佛轉  
法輪真意掛在蓮台上無為寶藏在  
蘊空持誦本是被羅密四句妙偈最

上乘度男女脫苦淪努箭離絃射九  
殼闖開了鉄崑崙

佛子無數早早迴程合掌瞻禮信力慧  
燈明採取先天真精炁聚則成相散

則風普天匝地毫光現灌滿乾坤法  
王身離苦海撞崑崙霹靂一聲翻  
海底徑到極樂宮

金海光如來分第五十

卍

說金海光如來者上至頂天下至海底  
從地湧出大蓮華如車輪普照法界  
若修行之人悟開天性明徹海底舍  
利圓明聚足成佛道信力永堅固金

剛寶珠珍寶飾輦輿三界為第一天  
上諸宮殿中上下差別天上阿修羅  
地獄鬼畜生惡毒無其數缺少善知  
識英雄豪傑漢奪人邸店使按着柔  
軟鑿無常若來到罪業無處逃自作  
自受可不悲哉若有善男子善女人  
授持讀誦此經以要言之如來一切  
所有之法如來一切自在神力如來

一切秘要之藏如來甚深之事皆於  
此經救濟萬類脫苦個個超出苦海

不聞出世法 逐朝受苦惱

古佛度一切 生死各人了

諸佛菩薩親來救 出現於世顯神通

垂光暗釣失鄉客 迷人不惺半毫分

貪圓酒色五慾樂 殺猪宰羊隨幽冥

今世不報過世報 喫他八兩還半斤

智慧男女休殺害 免得輪迴墮囚生  
聞經聽法授佛偈 無量功德轉天宮  
有緣得遇黃天道 個個皈家見無生  
一乘大法圓頓教 三世諸佛正教門  
無為大法普度衆生 慈悲留經文四句  
妙偈說得分明 持經功德不墮囚生  
千法萬法皆從一法生

掛金鎖

古佛慈悲普度男和女留下經文持經  
四句偈持誦真經本是波羅密大法  
門開個個還源位

苦勸賢良休要貪塵世晝夜慇懃採取  
先天炁取入紅爐煉成波羅密還礦  
真金都得還元位

愚痴衆生不惺天和地毀僧謗佛造下  
無邊罪昧已瞞心逐朝爭名利無常

到來閻王面前對

父母生前六根原清淨長大成人殺生  
又害命酒色邪淫財色迷真性無常  
到來一命還一命

苦勸衆生休喫他的肉喫他一斤二斤  
還不穀本利填還自作自己受敲骨  
打髓剥皮又刷肉

智慧男女早把彌陀念念念不忘自然

皈仙眷到了家鄉與佛同作伴無寒  
無暑無災亦無難

山海慧自在通王如來分第五十一

說山海慧自在通王如來者是阿難汝

於來世當得作佛號山海慧自在通  
王佛普度九十二億諸佛護持法藏  
然後阿耨多羅三藐三菩提教化二  
十千萬億恒河沙諸菩薩佛國土清



淨常立勝幢琉璃為地亦無大海江  
河及目真隣陀山摩訶目真隣陀山  
鉄圍山大鉄圍山須彌山彌樓山摩  
訶彌樓山崑崙山土山黑山山河大  
地諸山王通為一佛國土是山海慧  
自在通王佛度盡衆生無有二法法  
法皆真邪教傍門一掃無存一乘大  
法圓頓教青霄物外去安身古佛那

有傍門法阿難一教大藏經

世尊甚希布

阿難大慈尊

傳留二藏法

普度納賢人

古佛慈悲度一切

邪教傍門無眼睛

不拜真空拜假相

逆子非人錯用心

多寶如來傳大道

說法第一度娑婆

通達得四無礙智

法救衆生出輪迴

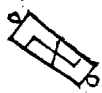
點開慧眼明朗朗

普照法界滿乾坤

七寶池裡蓮華現 無量劫衆恁縱橫  
船開彼岸十九會 五十三叅最上乘  
無為大法波羅密 妙法蓮華無字經  
真經無字常轉法輪普度納賢人有緣  
有分得聞此經四句妙偈說得分明  
持經四句隨佛轉法輪

登落金錢

大衆們早還源休恋九世間慈悲喜捨



行方便淨心兒誦真言比意掛在九  
葉蓮甘露點化心華現照三千及大  
千比徑到了都斗天我的踏罡步斗  
人難見

已

勸大衆早迴心掃萬法退浮雲清清淨  
浮靈光性獨占滿乾坤比本是個神  
光印行來行去無窮盡上昇在泥丸  
宮比擊碎了鉄崑崙我的毫光萬道

伏耶

圍繞定

古佛大慈悲 誓願度群迷 九祖先亡齊  
出世太極化皇極 說法為第一 拔  
濟佛子都出世 男女們早皈依 躲  
離了凡塵世 我的 伏耶 在在處處還源位  
西來意無字 經普度納賢人 心清意淨  
把真經誦隨佛 轉法輪 伴明月 供  
清風當空掛 起懸圓鏡 照得十方明

比本是如来性  
我的来来徃徃崑崙

印

大通光如来分第五十二

說大通光如来若脩行人悟開天性撞

開玄關一竅徹內徹外上通三界下

通海底無處不照無處不通若得明

心見性六根清淨眼不觀色耳不聽

唱鼻不聞香舌不瞭味身不觀觸意

不觀有為法乃為八解六通點開透  
地通天眼大道分明不用叅法身徧  
滿三千界通天徹地法中王真意掛  
在蓮臺上華開九葉是道場華開彼  
岸十九會善能說法度失鄉戊巳門  
開通傳道在家菩薩作道場一乘大  
法圓頓教劈破千門與萬門古佛那  
有傍門法四句無為最上乘度盡失

鄉兒和女三元了義經

卍

無為大法王 慈愍度賢良

證果還源位 同皈極樂邦

修行人 聞得我 四句妙偈

從無始 到如今 晝夜常明

諸佛祖 都出在 四句偈裡

心要清 意要淨 讀誦真經

二六時 無停住 隨佛運轉

卍



伴明月  
共清風  
湛湛澄澄

走連城  
步金堦  
踏罡步斗

羅睺羅  
佛弟子  
乃是天人

多寶佛  
度一切  
善能說法

學無學  
二千人  
早出沉淪

佛弟子  
早迴心  
休貪塵世

古彌陀  
大慈悲  
愍念衆生

善男子  
善女人  
聞經正法



五十三 叅無生 留得分明

三世佛 本來是 一佛之性

度衆生 無二法 一樣成真

三世慈尊普度衆生本是一法生無有

二法一法皆真後代兒孫持誦真經

四句妙偈本是出世因

沽美酒

馮村村曲村村新立起一會人合掌瞻

禮拜真空闔會人  
醉天謝聖俺伏你

真我真古彌陀顯形光耀耀匕真如

佛性

出

無字經在空懸般若經亦如然滾滾銀

河在目前戊巳土金牛出現俺伏左

邊右邊兩意歡然光耀耀匕打成一

片

〇〇

無為法最為高度賢良上青霄接引賢

良是多寶戍門開善說大道俺想  
着依着皈依三寶青霄外也同皈圓  
覺

這大道在一身何故紙上尋自己彌陀

認不真內裡有真如佛性俺脩真

煉真煉成聖人霹靂也輓上崑崙

一切法常滿王如來分第五十三

說一切法常滿王如來一切無為大法

一切有為法修一切富貴難離苦海  
此經功德一切秘要之藏無為寶藏  
在空懸無上甚深之事如來一切神  
通之力普度一切衆生化現三世諸  
佛出現於世說法最為第一多寶古  
佛乃為三寶過現未來佛法僧三寶  
善才東方左金童乃為三極無太共  
皇極三極同生常在世普化衆生出

輪迴九祖先亡出塵世五百羅漢還  
故鄉九十二億皈原位三千諸佛朝  
佛祖六萬餘園認親娘度盡衆生還  
源位纔是咱圓滿道場

無數諸佛子 聞法早還鄉  
持經四句偈 得見法中王

收圓結果蓮華樂

古佛慈悲度一切 智慧男女早還鄉

家鄉接引還元位  
般若慈船度失鄉  
早皈西方極樂國  
免得閻君論短長  
摩頂授偈重囑咐  
末後之代苦難當  
皈去來兮皈去來  
家鄉接引坐蓮台  
家鄉寶貝無其數  
不生不滅永無災  
幢幡寶蓋垂瓔珞  
寶池寶樹寶華開  
寶交露幔徧覆上  
仙桃仙果供如來  
無數千萬億菩薩  
技樂歌頌供如來

家鄉寶貝無其數

珊瑚瑪瑙無盡窮

諸天宮殿多寶塔

善男信女塔下修

寶地平正琉璃砌

諸佛菩薩放毫光

九祖先亡都在世

千辛萬苦把你尋

五百羅漢齊出世

三千佛祖離紅塵

九十二億皇胎子

六萬余園盡皈宮

八百余家呈妙手

諸佛菩薩顯神通

度盡失鄉兒和女

十八佛祖護真經



十方諸佛捨布施  
刻板印造得完成  
布施不在多重寡  
同皈西方掛仙名  
百千萬億同名號  
號曰同名普明尊  
去也去也徃西方  
同皈普明大道場  
青霄物外圓頓教  
第十九會赴仙鄉

側郎兒

⊙

好歡然也功也圓來果也圓五十三叅  
完成了同見先天也  
我的同皈西方  
伏耶

極樂天



脩行人匕禪中入定意在空靜亦動來

動亦定針對針行匕我的微塵一點

刹海心



笑嘻嘻匕珍寶輦輿牟尼珠其中玻璃

質多樹親見真實我的阿吒天裡放

光輝



飯去來匕脫了九胎步金堦無寒無暑

縱橫樂再也不來比我的永續長生

坐蓮臺

卍

多寶如來分第五十四

說多寶如來是東方多寶古佛化顯善

才入在中央戊巳乃為皇極說法慈

愍萬類群生無有解惡之方廣有邪

教傍門五十三叅一乘大法掃盡千

門萬戶萬法皈依一佛一法後有一

僧纔是佛法僧三寶三教化迷人度  
盡衆生苦不度邪教門邪教忤逆子  
永劫墮沉淪持誦法華經蓮華化生  
為父母不拜父母不拜空日月燈明  
佛時時度生佛前有多寶塔得五萬  
由旬後地湧出住在空中種種寶物  
而裝校之五千欄楯龕室千萬無數  
幢幡以為嚴飾垂寶瓔珞寶鈴萬億

而懸其上四面皆出多摩羅跋旃檀  
之香充滿世界以金銀琉璃磔磔瑪  
瑙珍珠玫瑰七寶合成高至四天王  
宮二十三天兩天曼陀羅華摩訶曼  
阿羅華曼殊沙華摩訶曼殊沙華千  
萬億衆以一切華香恭敬多寶佛塔  
塔中出大音聲歎言善哉善哉多寶  
佛有深重願力十方世界在在處處

說法普度衆生善男信女急速回心  
生死事大同修善果同去皈宮成佛  
道矣

多寶佛的塔 白毫瑞炁生

見塔而禮拜 古佛現全身

古彌陀 深重願 普度一切

度盡了 衆生苦 同去皈宮

彼岸邊 大開法 談玄說妙

卍

傳留下  
無為法  
齊了三乘

諸菩薩  
摩訶薩  
摩頂授偈

重囑咐  
兒和女  
早出紅塵

無家經  
是法華  
隨佛運轉

心要清  
意要淨  
持誦真經

誦真經  
禪入定  
醍醐灌頂

忽一時  
心花現  
徑過黃庭

無字經  
在空懸  
意取難解

若有人 解悟開 乃是天人

調睡眠 定呼吸 玄關闖過

修行人 纔知道 去路來踪

精進心 勇猛力 休要退步

有仙童 前引路 起在虛空

多寶如來普度衆生留下無字經持經

讀誦意在蘊空採取先天上下週行

貧人得寶徑到極樂宮

卍



金字經

五十三叅得完成普度閻浮衆群生誦  
真經三世諸佛正教門本無二比一  
乘大法度衆生

無字真經放毫光三天都斗法中王度  
賢良垂着一段紫金光來接引レ有  
惺嬰兒早還鄉

無字真經是法華晝夜常明一段霞跟

定他普覆週流三藏法還源位ヒ智  
慧男女早皈家

多寶如來是善才接引東土衆良才皈  
去來清淨法身步金堦西方路ヒ一  
去還源再不來

爾時善才菩薩說大乘經故時仙人者  
提婆達多善知識具足六波羅密是  
無為大乘法慈悲喜捨廣度衆生恒

河沙衆生得阿羅漢果無量衆生發  
緣覺心恒河沙衆生發無上道心得  
無生忍至不退轉般涅槃正法未來  
世中若有善男子善女人聞五十三  
叅淨心信敬不生疑惑者不墮地獄  
餓鬼畜生生十方佛前所生之處蓮  
華化生於時下方多寶世尊所從菩  
薩名曰智積白多寶佛乃是善才龍

女成佛龍女有一寶珠價直三千大  
千世界持以上佛寶珠佛耶受之大  
地衆生不堪佛成若依佛言刹那得  
無上佛道佛留真言說千家種一人  
收善才傳法在後頭度盡失鄉兒和  
女個個皈家道地頭

苦勸賢良子 持誦無字經  
一時心花現 逕到極樂宮

苦勸大衆早回心

此經功德福無窮

真經無字撐破世

無為體上放光明

持經在天垂寶相

收來放去無盡窮

誦經目前常發現

徹內徹外一躰通

若人得了無價寶

性在天邊月在空

南方丙火為姤女

北方癸水是嬰童

東方甲木青龍性

西方白馬駝着經

大徹大悟留三截

一句無為於佛通

一乘大法普度衆生小智有三乘上根  
上智那有三乘一佛出現一炁發生  
一父一母度盡世界人

掛針兒



高家庄之一會人助宣佛法辦修行不  
撥自轉上船登無始以來到如今今  
歲枯木又逢春開花結果滿園紅  
牢拴意馬鎖心猿禪中入定意空懸推

得乾坤顛倒顛清風明月在目前不  
離左右伴古然纔是修行辦道仙

大道不在紙上尋無字真經在蘊空白  
毫玉瑞霧騰騰人與天地一般通佛  
放眉間大光明足下蓮花步步登

摩訶般若大法王般若慈航度賢良善  
男信女進船艙無數佛子一船裝智  
慧男女早還鄉靈山會上認親娘

五百年前遇真人戊巳門開說修行無  
為大法普留通十方世界化賢人都  
是靈山有分人休貪塵世早還原

三月有個三月三赴罷蟠桃到南沿初

四一歲八十年千辛萬苦度人緣有  
惺賢人早還原同皈西方極樂天

淨土文

佛說辨力不退轉法輪供養無量百千



諸佛所植衆德本常為諸佛之所稱嘆  
以慈修身善入佛會通達大智到於彼  
岸名稱普聞無量世界能度無數百千  
衆生其名曰 南無釋迦牟尼佛

南無觀世音菩薩南無文殊師利菩薩  
南無普賢菩薩南無大勢至菩薩南無  
南無地藏王菩薩南無清淨大海衆菩  
薩南無常精進菩薩南無寶掌菩薩南

無藥王菩薩南無勇施菩薩南無寶月  
菩薩南無月光菩薩南無常滿菩薩南  
無大力菩薩南無量力菩薩南無越三  
界菩薩南無跋陀婆羅菩薩南無彌勒  
菩薩南無寶積菩薩南無導師菩薩摩  
訶薩南無多寶如來南無寶勝如來南  
無妙色身如來南無廣博身如來南無  
離怖畏如來南無甘露王如來南無阿

彌陀如來一報天地蓋載恩二報日月  
照臨恩三報

皇王水土恩四報父母養育恩五報五  
祖傳法恩六報六祖傳法在俗門七報  
七祖大開法八報八方施主恩九報九  
祖出塵世十類孤魂早超昇乃至虛空  
世界盡衆生及業煩惱盡如是四法廣  
無邊願盡回向亦如是南無諸尊摩訶

薩摩訶般若波羅密經

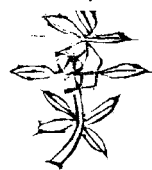
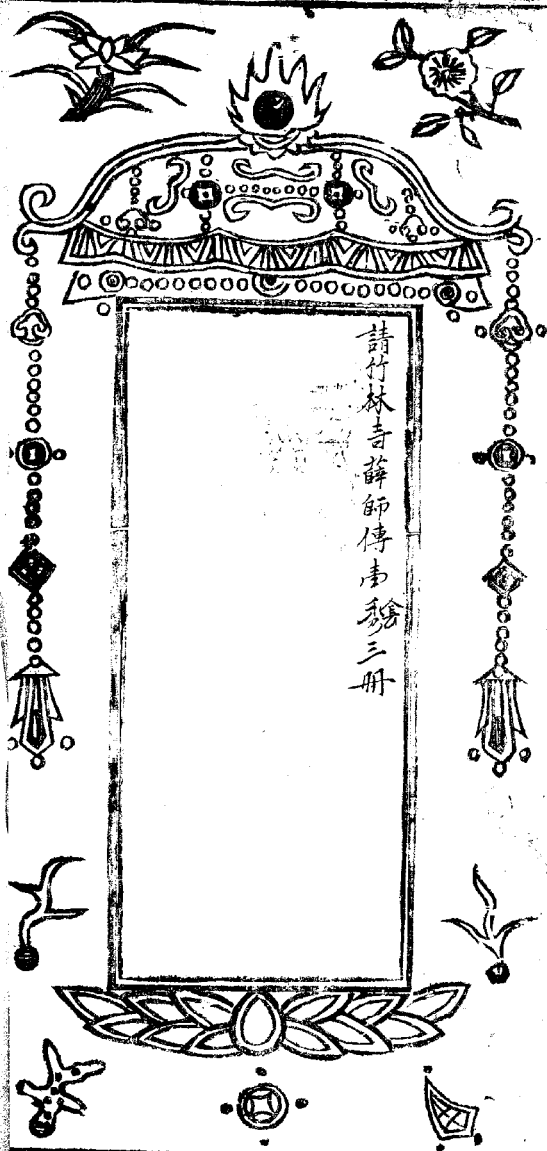
普明佛第十九會孫師一十八歲明心  
見性善才化顯多寶佛發下音樂唱  
經一部二冊辛未年開板癸酉年發  
下五十二卷一部三冊各處善人發  
心施財三月內赴京報國寺党家舖  
開板印造興流天下

大清國直隸宣府南路廣昌所見在城

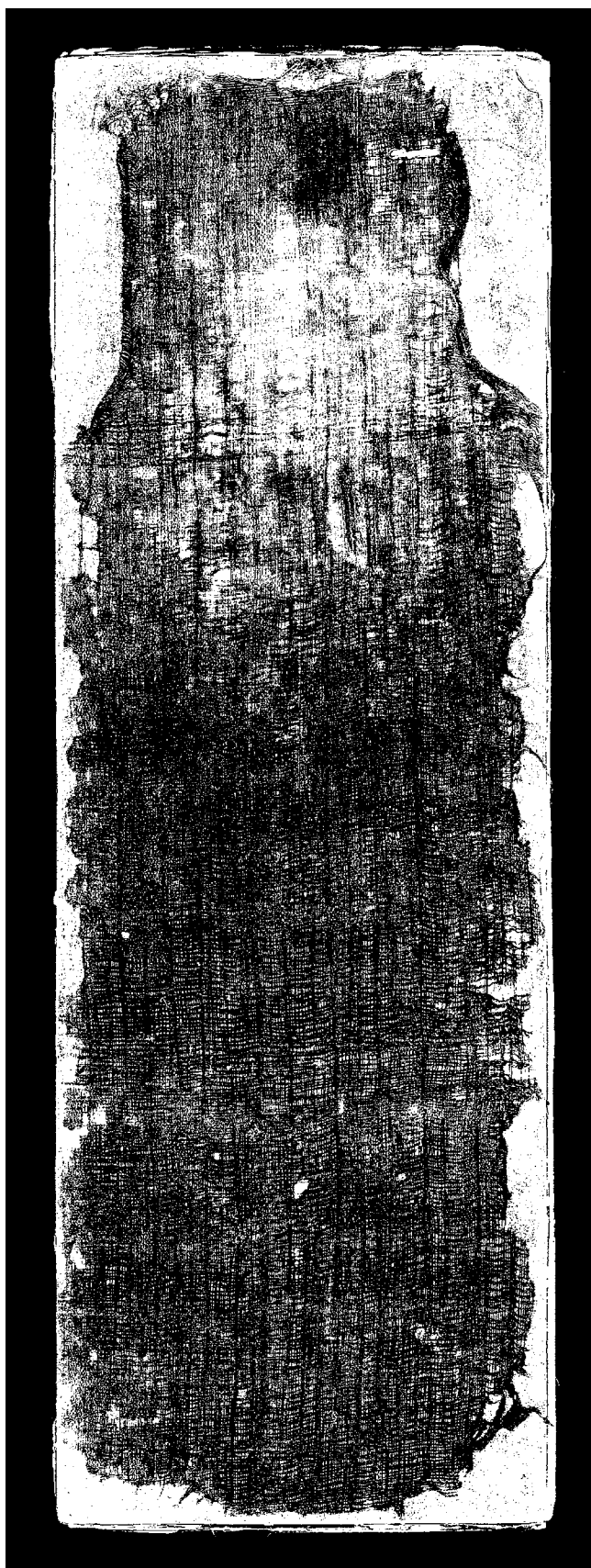
北八百峪孫家庄居住

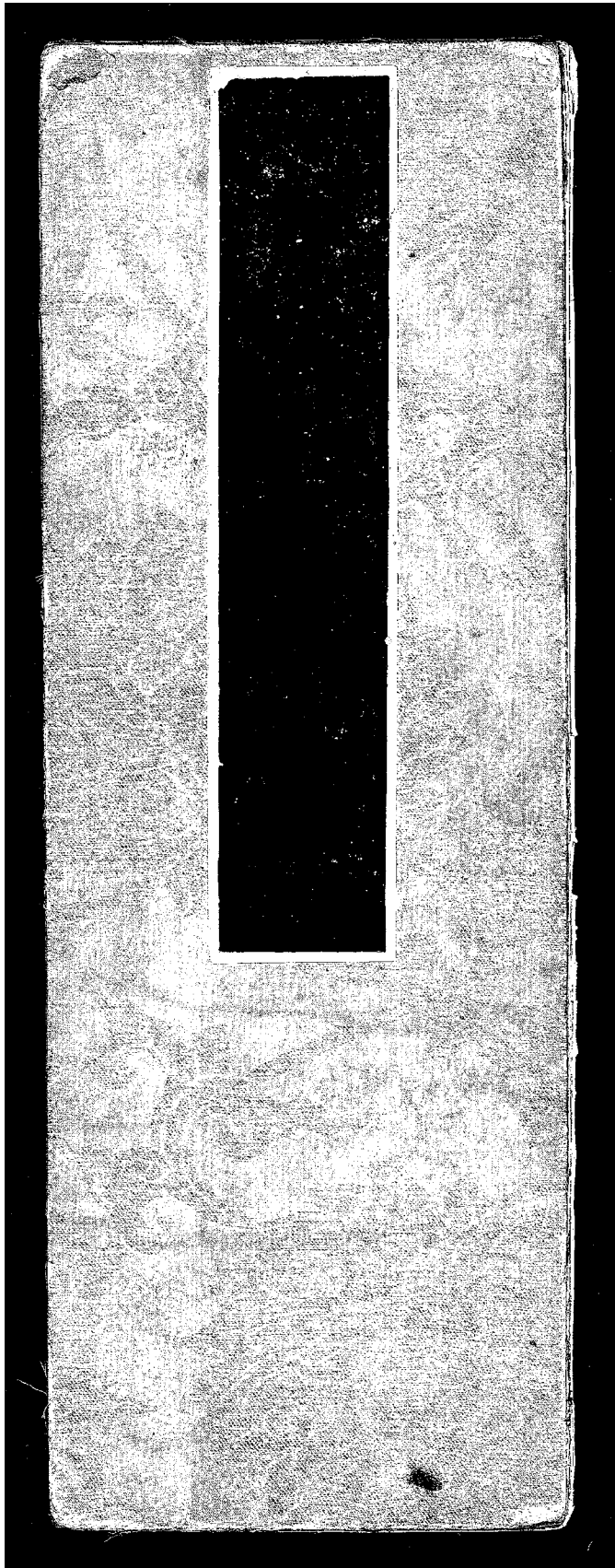
康熙三十二年孟秋刊刻

請竹林寺薛師傳書三冊













姚秦三藏西天取清解論



法



歸命十方一切佛法輪常轉度眾生



僧



無上甚深微妙法

百千萬劫難遭遇

我今見聞得受持

願解如來真實意

將古正尊清淨論解論講以前無

佛無法無天無地上下是箇玄虛

空。寸絲皆無。將其甚明。佛大意。理性  
根源。從根至本。細說一遍。撒手離  
却。無可無量。通身都是。灌滿十方。  
明徹上下。方寸中了。當正祖本。排  
根一遍。頂修百世。餘萬劫。龍天八  
部。無量大衆。諸賢聖菩薩。奉請法  
王。今在一會。合掌酬拜。上告世尊  
禮白佛言。

清淨身	有法身	上下無	一段光	半空中	太虛空	佛也無	想當初
神通廣	無天地	都玄虛	涌出來	光明顯	發大光	那取法	無天地
放大光明	難成世界	化現神通	不分南北	我佛出身	安立世界	去說經文	原無一物

論二

將清氣

上為天

星辰都有

將濁氣

下為地

樹木園林

有了天

有了地

人無一箇

着甚麼

立人緣

去做衆生

正大光

涌出來

光明無數

不着氣

難得活

怎得成形

散光明

遍大地

借土為殼

一氣接

萬般活

都得成身

我佛起智纔掌教。正光涌出明耀耀。  
氣接聞活稱名號。立下諸般都是有。  
任般不少。恐怕修行人路頭差。將  
古正尊。解論講說。印證是實纔得。

論三

分明提真性。證實相。十方總管頭。  
一公案。起初也無天也無地。古佛  
當初獨自立。半空一段光明顯。十  
方世界自一展。立下乾坤無期數。

上下圓通一性掌。靈光為證訴本  
根。照滿上下處處明。又無東西和  
南北。亦無天地共星辰。古佛正光  
為大力。發現遍滿盡都是。上立天  
堂共星斗。下立地府共山林。先治  
人緣和水土。後治五穀養贍人。不  
在坐不在念。不識根本千模亂。多  
攬雜念不成功。枉着撈攘受苦辛。

若你廣通都知會。不着正念怎得  
中。曉了正念和本地。何須出聲又  
啣氣。不舉不念自有佛。萬中裏頭  
無一箇。若還識的這箇佛。不怕地  
府惡閻羅。經文書本無期數。都是  
靈光巧轉成。明明朗朗是乾坤。纔  
是古佛正家風。熬的海枯山倒石  
頭爛。真性不動半毫分。纔是古佛



正大身

∴

打為頭

人喫土

養身過日

次後來

日夕時

土還喫人

立人緣

和水土

山林樹木

命四

立江河

并大海

上下通連

天連人

人連天

至今無離

聖做凡

凡做聖

還照當元

想從前

一根是

不分男女

本無生 又無滅 自古到今

又無老 又無少 每常一例

又無寒 又無熱 不辯秋冬

老古佛 每日家 心中盼望

想衆生 迷了家 不得還鄉

幾番家 稍書信 千萬囑咐

上寫着 分明說 佛祖真空

看罷書 心痛切 兩眼垂淚

死了生 生了死 不得長生

從無始 離家鄉 生死受苦

又無倚 又無靠 到處轉輪

到張家 與張家 為兒做女

命五

到李家 與李家 就做兒孫

捨死命 巴活計 治下產業

到老來 斷了氣 甘費場心

過去了 又過來 從新受苦

到頭來

又不知

那裏安身

高不知

低不曉

如同夢過

自今番

纔曉的

佛是真空

普天下

人念佛

不知理義

透不着

真祖意

難得出塵

若得知

佛祖意

知根達本

不用你

閑啣氣

自然神通

起初無天無地。本體還照當元正

本言前一段光明朗朗照十方。  
不見青。不見黃。無踪無影亮堂堂。  
不可稱。不可量。不可欺。不可降。斧  
難劈。劍難傷。乾坤少有世難藏。風  
不能刮。雨不能濕。火不能燒。水不  
能滄。刀不能砍。箭不能穿。萬般諸  
物都難比。未曾有天先出世。水土  
人緣也曾治。經卷不學都自會。不

告天不求地。曾把虛空踏粉碎。本  
來無生實是強。又無爺又無娘。虛  
空一涌領大綱。古今山河無相立。  
上下一切總承當。



論六

說人人 都有箇 貴寶聖物  
迷衆生 不得省 着相修行  
若不明 摩尼寶 萬劫黑暗  
朝參禪 暮念佛 枉費心勤

每日家

甘慌忙

不知起落

空念佛

不知道

都是虛言

若得省

本來面

無極根本

纔是實

為真正

出世之人

識真佛

玄中事

絕妙之法

頂坐禪

賽念經

萬萬餘春

全容易

不慣想

真空顯現

有當人

為正主

就是真經

這真經

臨危時

無佛無祖

無晝夜

放光明

本體無生

無生體

無邊表

諸佛聚會

堅固身

無管轉

自古常存

古家鄉

真聖境

光明不斷

又無黑

又無暗

普現光明

真寶光

無毀壞

常川法界

亮堂堂

明耀耀

照透乾坤



上告世尊禮百佛言。本六字是真。四字是真。世尊答曰。解論講說。無字是真。有自是假。六字佛是誘引。法門四字佛亦是誘引。法門五千四十八卷。為教化門路。求食之法。不能了道。外念着了聲色。內念捉了裏義。不念着了地獄。怎麼用度。當人發現靈光。發現靈光。發現萬。

億高。一氣綿綿透九霄。不離絲毫  
出三界。也不動。也不搖。萬象森羅  
一性包。無上無下無間斷。周圍滿  
面都通照。好箇清淨玄妙處。永劫

無毀最為高。天地有老皆有壞。自  
是性佛大堅牢。修也不添。不修也  
不減。本是真空常發現。不生不滅  
本如然。自在踪橫玄妙玄。無老無

少同一例。自古常明無二邊。又不

穿。又不喫。無冷無熱無生滅。猛然

一會顯金身。敢和古佛同伴行。有

人會得真面目。歡歡喜喜永無生

合前八

到這里 都是佛 同共一體

把凡聖 都識破 永不占塵

從無始 離了家 輪迴受苦

串四生 和六道 萬死千生

這里死

那里活

改頭換面

行姓張

可姓李

頂帶虛名

認假相

迷失了

娘生真面

呆衆生

着相修

不曉根元

起初分

立人緣

分散去了

在苦海

生死轉

不得還鄉

因為你

迷了家

不得知道

傳五千

四十八

經卷書文

說衆生

本來面

常生不滅

永無生

永無滅

無字真經

這無字

能變化

神通廣大

不占天

不占地

本性虛空

半虛空

光燦燦

難描難畫

半虛空

光燦燦

發現十方

發現大

或又大

撐破世界

發現小

或又小

不見踪影

論九

行又有  
可又無  
隨改隨變

尋遍世  
無物比  
獨自為尊

指無相  
無住所  
可是實相

指有相  
有住所  
道是頑空

若有人  
明自己  
真空法性

不論男  
不論女  
一般都成

正法門  
本無二  
穿連大地

合理性  
無分別  
皆是一同

說本地

好風光

無寒無熱

三千界

買不過

絕是高強

又無面

又無目

春秋不變

佛聖境

貴寶處

永無秋冬

性是佛

佛是性

本源無二

永堅牢

無退轉

證大實根

知根源

明佛意

踏着實地

若曉的

彈指中

就了修行

證法身 成正覺 安身立命  
又不生 又不滅 獨自為尊

悟悟了了。本性不怕閻羅老。無人  
及手提寶劍。我怕誰。生也不怕生。

命十

死也不怕死。上告世尊禮白佛言。  
怎麼生也不怕死。世尊答  
曰。解論講說。凡夫有生有死。我這  
無為真人。無生無死。生也不歡喜。



死也不煩惱。好消息。好消息。無相  
真人幾人知。若還人人都知道。四  
生六道轉與誰。真實意合祖機。本  
是上乘大根基。不占天。不着地。古  
往今來無所住。這箇消息無人識。  
迷人對面不相知。穿山透海無隔  
礙。大地山河徹底明。騰天倒地無  
遮當。意動如飛。賽過風。法身遍滿。

顯神通。遍週沙界一掌中。有人會。  
有人識。就是天神不可欺。是真實。  
不虛說。本是真言真口訣。若還參。  
透真祖意。不論遲早都出期。

命十一

願滿心	稱了意	不死常生
有幾箇	得知道	家鄉大道
頂修行	勝坐禪	萬萬年春
說自己	明為處	圓覺一會

觀三千大千界 如同手掌  
滿十方遍世界 似觀魚鱗  
廣變化真妙用 神通過日  
受風光常快樂 自在真人  
出塵世脫苦海 無上正果  
到當元還本處 不滅不生  
永快樂真受用 無窮無盡  
自己光皆具足 淨妙法身

本性空

無毀壞

堅牢固久

永無生

永無滅

自在縱橫

不忍寒

不受熱

真妙本體

永快樂

無修證

纔見風光

展放開

滿世界

無處不照

收上來

無可比

透過針尖

過百千

大萬劫

從容易轉

古元光

為正尊

不動寶珍

金光現	觀天地	不論男	正根元	參透了	自己光	要堅牢	風又刮
無可比	真法界	不論女	無裏外	無為法	滿十方	要固久	火又燒
古佛家風	明明晃晃	一般神通	元情一體	不滅不生	皆同一體	也是真空	何曾毀壞

命上

自己光

真佛祖

永劫不壞

改山河

換天地

自古常存

本無古

本無今

無新無舊

清淨身

無二法

一體虛空

得出劫

何有緣

正遇祖意

裏頭清

外頭清

徹底都清

提祖根

將從前

細分一遍

頂叅禪

勝念佛

萬倍修行

不明佛性。不明佛意。東扯西蓋。橫  
推煉修。浮雲遮障。執着經書。片口  
張舌。對不着祖本。合不着祖意。死  
後墮在苦淪。不免重罪。着明佛意。  
若知自性。更又坐禪。再又念經。本  
來面目。自然真經。莊嚴千經萬教。  
盡是閑言。有省之人。把這雜法。且  
放一邊。真空妙性。是根源。天下經

卷曾打裏頭轉。說千經萬教。都從  
一字流出。若不明自性。說的閑言。  
是無常法。不是佛法。佛法是不二  
法。自性佛法。諸佛難忖量。自古無  
形相。提起萬般說。收來一字無自  
已。就有三藏法。如何紙上去尋墨。  
禮白佛言。可是那三藏世尊答曰。  
經一藏。文一藏。論一藏。論即是自



性。文亦是自性。經也是自性。文經  
紙也是自性。抄造經元是自性。元  
是無字。造下有字。立下經文。遍滿  
塵世。全憑穿巧。引化迷人。自將相

法看。不知着相法。迷了自性。是真  
後無始以來。佛留無字真經。運轉  
娘生寶藏。正實相亦無佛。穿山透  
海。徹底玄翻。無處不照。上下一氣。

普運十方。普覆十方。普照十方。宣  
流變化。展開含法界。收來不見踪。  
十方都照徹。盡是法王身。不在裏。  
不在外。不在中心。與內外出入縱  
橫無妨礙。行住坐卧觀自在。上不  
占天下。不着地。東不靠邊。西不着  
岸。裏不着境外。不着相。徹上徹下。  
無字真經。晝夜常轉。無有間斷。若

踏着實地。生死永無。不動不搖。常  
放光明。光罩十方。都相見。周圍滿  
面。普光明。如如不動。是真空。勝過  
修行百萬春。無寸草。不占塵。都是  
靈光。巧轉成。古佛玄妙。是真空。不  
變春。夏。共秋冬。無生無死。聖常存。  
多變化。廣神通。無邊世界。一手擎。  
一手擎。天和日月。又帶地府。共山。

林。若收日月如拳指。放出日月觀  
觀紋十方世界如手擎。收來不勾  
一手心。若放開占滿天。收將來不  
見踪。無了又有却為真。自古常明  
無黑暗。錦片靈光蓋世明。天地萬  
轉空不動。永無毀壞貴寶珍。識的  
玄妙名太道了。道為源體皆空。無  
生無死又無窮。快樂常川真受用。

無休無毀真寶駒。交合天地常轉  
輪。諸物遊巡不動空。元是性佛正  
本根。這里立命安身處。十方世界  
現空身。



包裹日月共娑婆。方可名為一聲佛  
若還識得這一佛。不用參禪苦煉磨  
無天無地不見邊。一顆圓光照大千  
自說虛空無倚靠。誰知虛空駕鐵船

摩訶般若頭一科 本來面目在張羅  
有人曉的根源事 不用看經自成佛  
本性彌陀大如天 駕着三千及大千  
無量劫來常生境 未曾有天先在前

靈光持誦更相應 鼓響且既催鐘又鳴  
八萬四千都相轉 分明擁護主人公  
無影等黑鍾鼓響 驚惶轉經念佛人  
不住陞堂吊說法 行住坐卧轉法輪

識得真經一法通  
本是一佛能出現  
去也去也歸本方  
着得心空無所住  
諸佛聚會水團圓  
本地風光絕為貴  
清清亮亮好縱橫  
萬般變化都廣勝

有甚分別俗共僧  
着得歸一都圓成  
參透後前正法王  
心空就是古家鄉  
亮亮堂堂照大千  
普遍乾坤誰再換  
明明朗朗勝如燈  
普運乾坤現金身

識得玄妙本體空

大千沙界逞精神

神通廣大無比賽

乾坤普照獨為尊

無春無夏又無冬

一段金光永無生

永劫無生常快樂

自在逍遙不動身

不動不送自性光

運行大地共名山

運行日月如翻掌

本無名號自在仙

銅胎鐵底不占塵

上下通連共一同

鑄成一架如瓊板

鐵笛無孔一片聲



一聲佛名。四維上下。通身放毫光。  
十方光皎皎。無處不圓明。豁開透  
地。通天眼。現出金剛不壞身。點開  
眼目。人人具足。箇箇圓成。成就無

命十七

毀壞得了。永劫不壞金身。

清淨論解。一週圓。海枯山崩。本不然。  
惟有一般無價寶。輝今耀古。鎮常源。  
清淨論解。不虛言。佛祖玄妙。量無邊。

靈明通透西來意

自有靈光莫外傳

未曾初分我在先

三千大千我立安

天堂地獄從此出

無極太極是假名

能問能答是強名

永斷無名得縱橫

箇裏本無元字脚

空中誰肯強安名

大乘寶卷云



舉起無為莫非真

因圓吞盡大乾坤

娑婆世界為教主

西天東土獨為尊

清淨論解。且是逢源。超過佛祖。仙  
包。裹天地。應遍三千人。解論便是  
架法船。

心淨越諸天 體淨自然安

心動終有二 不動自週圓

天龍八部。羅漢聖僧。人非人等。諸  
大菩薩。聲聞緣覺等衆。無法可得。  
信受奉行。作禮而退。

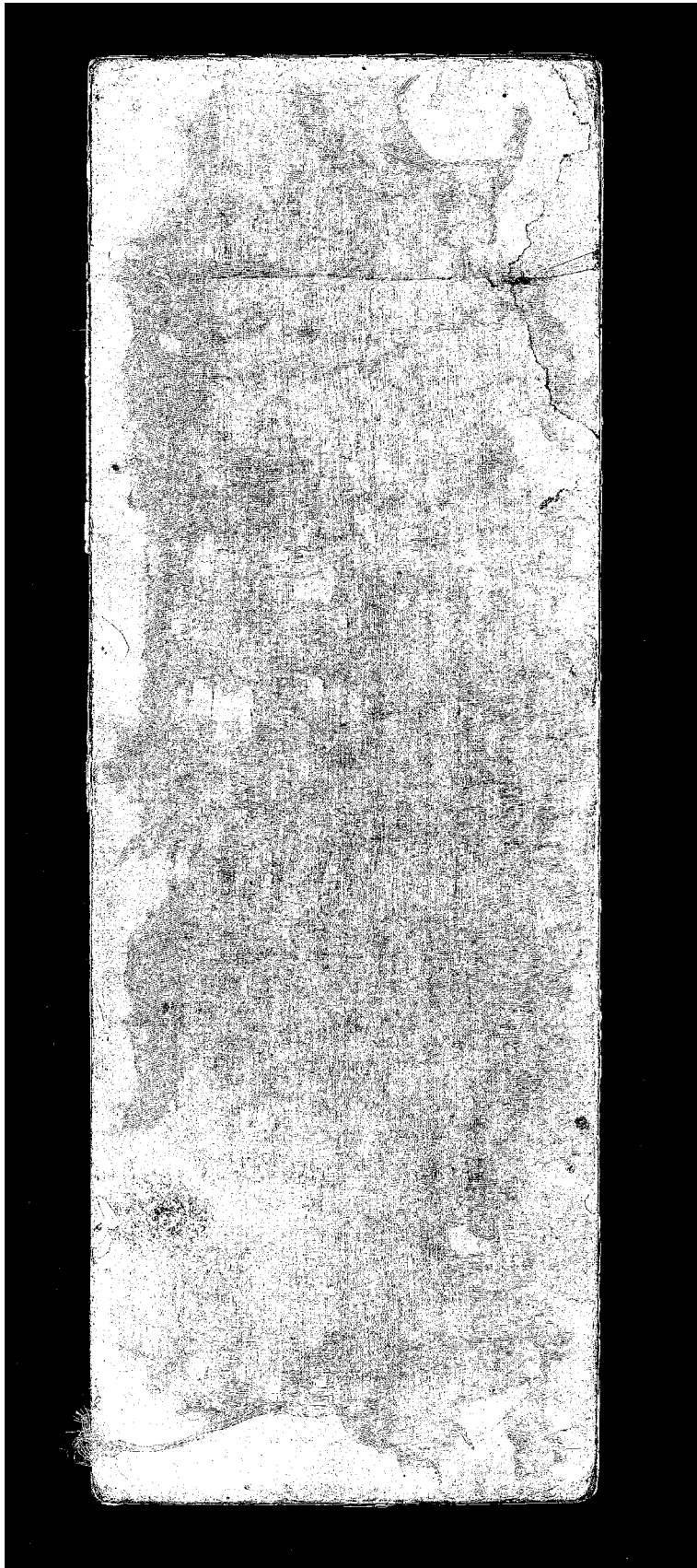
一報天地蓋載恩  
二報日月照臨恩

三報皇王水土恩  
四報爺娘養育恩

諸尊菩薩摩訶薩  
摩訶般若波羅密

萬曆壬子孟秋校証  
乙酉年重刊





CNEAS



**CENTER FOR NORTHEAST ASIAN STUDIES  
TOHOKU UNIVERSITY**